

令和7年度		令和 年 月 日 財政課 課長 審査 設計者 北山 松本 中田 蓮野			
工事実施設計書					
工 事 名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）				
工事場所	羽咋郡宝達志水町 吉野屋地内 他				
工事概要	配水管布設工事 L= 777.4 m 配水管布設工事 φ 200 DIP.GX L= 220.4 m φ 150 DIP.GX L= 0.1 m φ 100 DIP.GX L= 3.5 m φ 100 HPPE L= 251.1 m φ 75 HPPE L= 219.7 m φ 50 HPPE L= 82.6 m 給水管接続工事 N= 32 戸 φ 20 PE L= 12.0 m φ 30 PE L= 0.5 m 消火栓設置工事 N= 2 基 仮設配管工事 L= 1078.5 m 仮設配水管工事 φ 50 ｼﾝﾀﾙ管 L= 90.0 m φ 80 ｼﾝﾀﾙ管 L= 1.0 m φ 100 ｼﾝﾀﾙ管 L= 295.0 m (237.0+4.0+54.0) φ 150 ｼﾝﾀﾙ管 L= 2.0 m φ 200 ｼﾝﾀﾙ管 L= 274.5 m (160.5+114.0) φ 30 PE L= 250.0 m (109.0+52.0+49.0+40.0) φ 40 PE L= 166.0 m (29.0+61.0+76.0) 仮設給水管工事 N= 35 戸 (5+1+3+9+2+4+2+4+2+3) φ 20 PE L= 184.5 m (27.0+2.0+8.0+39.0+3.5+18.5+2.5+17.5+2.0+64.5) 配水管復旧工事 L= 11.0 m φ 30 PPW L= 2.0 m (1.0+1.0) φ 40 HIVP L= 2.0 m φ 50 HIVP L= 2.0 m φ 75 HIVP L= 1.0 m φ 100 HIVP L= 4.0 m (1.0+1.0+2.0)				
工事日数	日	完成期限	令和 8 年 11 月 30日		
附属図面	23 枚				
工事仕様					

設計年月日 年 月 日

設 計 書

件

志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その２）

名

実施設計書

設計金額

变更前

円也

変更後

円也

設

本設施工箇所：羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他

工事概要(本設) : $\phi 200$ DIP.GX L=220.4m, $\phi 150$ DIP.GX L=0.1m, $\phi 100$ DIP.GX L=3.5m, $\phi 100$ HPPE L=251.1m, $\phi 75$ HPPE L=219.7m, $\phi 50$ HPPE L=82.6m

地下式単口消火栓 N=2基 給水件数 N=32戸(φ20 PE L=12.0m, φ30 PE L=0.5m)

工事概要(仮設)：(路線1) φ200 レンタル管 L=160.5m、φ30 PE L=40.0m (路線2) φ200 レンタル管 L=114.0m、φ150 レンタル管 L=2.0m、φ100 レンタル管 L=4.0m

仮設給水件数 N=5戸 (φ 20 PE L=27.0m)、φ 30 PPW L=1.0m

仮設給水件数 N=1戸 ($\phi 20$ PE L=2.0m)、 $\phi 100$ HIVPW-RR L=1.0m、 $\phi 150$ HIVPW-RR L=1.0m

(路線3) $\phi 50$ レンタル管 $L=90.0\text{m}$

(路線4) $\phi 80$ レンタル管 L=1.0m、 $\phi 40$ PE L=29.0m

仮設給水件数 $N=3$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=8.0$ m)、 $\phi 50$ HIVPW-RR $L=2.0$ m

$\phi 75$ HIVPW-RR L=1.0m, $\phi 40$ HIVPW-RR L=2.0m

(路線5) $\phi 100$ レンタル管 $L=237.0\text{m}$

(路線6) $\phi 30$ PE L=109.0m

仮設給水件数 $N=9$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=39.0$ m)、 $\phi 100$ HIVPW-RR $L=1.0$ m

仮設給水件数 $N=2$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=3.5$ m)

(路線7) $\phi 40$ PE L=61.0m

(路線8) $\phi 30$ PE L=52.0m

仮設給水件数 $N=4$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=18.5$ m)

仮設給水件数 $N=2$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=2.5$ m)

(路線9) $\phi 40$ PE L=76.0m

(路線10) $\phi 30$ PE L=49.0m

仮設給水件数 $N=4$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=17.5$ m)

仮設給水件数 $N=2$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=2.0$ m)、 $\phi 30$ PPW $L=1.0$ m

(路線11) $\phi 100$ レンタル管 L=54.0m

仮設給水件数 $N=3$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=64.5$ m)、 $\phi 100$ HIVPW-RR $L=2.0$ m

信

概

要

工 種 名 称		形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
	直接工事費									
	200mm配水管 (DIP)		式	1						1号設計書
	150mm配水管 (DIP)		式	1						2号設計書
	100mm配水管 (DIP)		式	1						3号設計書
	100mm配水管 (HPPE)		式	1						4号設計書
	75mm配水管 (HPPE)		式	1						5号設計書
	50mm配水管 (HPPE)		式	1						6号設計書
	消火栓設置工事		式	1						7号設計書
	給水管接続工事		式	1						8号設計書
	既設管撤去工事		式	1						9号設計書
	仮設配水管工事		式	1						10号設計書
	仮設給水管工事		式	1						11号設計書
	配水管復旧工事		式	1						12号設計書
	交通誘導員		式	1						13号設計書

[illegible]

[illegible]

200mm配水管 (DIP)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 200 DIP. GX L=220. 4m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 120 GX形S種, φ 200× 5, 000L 内面珪 粉体塗装	本	49						
二受T字管	JWWA G 121 GX形, φ 200× φ 200 内面珪 粉体塗装	個	1						
二受T字管	JWWA G 121 GX形, φ 200× φ 100 内面珪 粉体塗装	個	1						
受挿し片落管	JWWA G 121 GX形, φ 200× φ 150 内面珪 粉体塗装	個	1						
45° 曲管	JWWA G 121 GX形, φ 200 内面珪 粉体塗装	個	12						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

設計書

一金 円也

1. 設計図面との対象番号 (1)一般平面図

(2) 工事別構造図

2. 工事計画概要

[illegible]

[illegible]

100mm配水管 (DIP)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 100 DIP. GX L=3.5m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 120 GX形S種, φ 100× 4,000L 内面球 [°] 珪粉体塗装	本	1						
45° 曲管	JWWA G 121 GX形, φ 100 内面球 [°] 珪粉体塗装	個	2						
異形管接合材料	JWWA G 121 GX形, φ 100	個	2						
G-Linkセット	JWWA G 121 GX形, φ 100	個	1						
VCジョイント	離脱防止付, φ 100 粉体塗装	個	1						

[illegible]

100mm配水管 (HPPE)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 100 HPPE L=251.1m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道配水用 ^ホ リエチレン管 EF受口付直管	呼び径100mm, 125×11.4mm×5m	本	38						
水道配水用 ^ホ リエチレン管 プレーンエンド	呼び径150mm, 180×16.4mm×5m	本	1						
水道配水用 ^ホ リエチレン管 プレーンエンド	呼び径100mm, 125×11.4mm×5m	本	1						
水道配水用ポリエチレン管継手 EFソケット	φ 100	個	1						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受45° ベンド	φ 100	個	22						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受22 1/2° ベンド	φ 100	個	1						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF片受45° ベンド	φ 100	個	4						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受チーズ	φ 100× φ 75	個	3						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF片受レギュラー	φ 150× φ 100	個	1						
PE両受形 ソフトシール仕切弁	7.5K, φ 100	基	2						
PVジョイント	離脱防止付, φ 150 粉体塗装	個	1						
PVジョイント	離脱防止付, φ 100 粉体塗装	個	3						
PVジョイント	離脱防止付, φ 75 粉体塗装	個	2						
PE両受形 鋳鉄製フランジ付T字管	RF形 7.5K, φ 100× φ 75	個	2						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) φ150mm 加算する 4%	m	2.6						施工 第0-098号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ100mm 加算する 4%	m	247.6						施工 第0-097号
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ75mm 加算する 4%	m	0.6						施工 第0-096号
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(継手工)	設置(1.0) Φ100mm 2口(標準) 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-100号
ポリエチレン管(融着接合) 布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ150mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-104号
ポリエチレン管(融着接合) 布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ100mm 加算する 4%	口	88						施工 第0-103号
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工	設置(1.0) Φ150mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-108号
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工	設置(1.0) Φ100mm 加算する 4%	口	11						施工 第0-107号
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工	設置(1.0) Φ75mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-106号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ150mm以下 加算する 4%	口	1						施工 第0-094号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ100mm以下 加算する 4%	口	3						施工 第0-093号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ75mm以下 加算する 4%	口	2						施工 第0-092号
ポリエチレン管切断工	150mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-112号
ポリエチレン管切断工	100mm 加算する 4%	口	32						施工 第0-111号
管明示シート工	(材工共)	m	251.1						施工 第0-091号

[illegible]

75mm配水管 (HPPE)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 75 HPPE L=219.7m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道配水用 ^ホ リエチレン管 EF受口付直管	呼び径75mm, 90×8.2mm×5m	本	33						
水道配水用 ^ホ リエチレン管 プレーンエンド	呼び径75mm, 90×8.2mm×5m	本	10						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受45° ベンド	φ 75	個	15						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受22 1/2° ベンド	φ 75	個	2						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF片受45° ベンド	φ 75	個	4						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受チーズ	φ 75× φ 75	個	1						
PE両受形 ソフトシール仕切弁	7.5K, φ 75	基	4						
PVジョイント	離脱防止付, φ 75 粉体塗装	個	6						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ75mm 加算する 4%	m	219.1						施工 第0-096号
ポリエチレン管 (融着接合)布設工(継手工)	設置(1.0) Φ75mm 2口(標準) 加算する 4%	箇所	1						施工 第0-099号
ポリエチレン管(融着接合) 布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ75mm 加算する 4%	口	71						施工 第0-102号
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工	設置(1.0) Φ75mm 加算する 4%	口	14						施工 第0-106号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ75mm以下 加算する 4%	口	6						施工 第0-092号
ポリエチレン管切断工	75mm 加算する 4%	口	24						施工 第0-110号
管明示シート工	(材工共)	m	219.7						施工 第0-091号

[illegible]

50mm配水管 (HPPE)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 50 HPPE L=82.6m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道配水用 ^ホ リエチレン管 EF受口付直管	呼び径50mm, 63×5.8mm×5m	本	15						
水道配水用 ^ホ リエチレン管 プレーンエンド	呼び径50mm, 63×8.2mm×5m	本	2						
水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受45° ベンド	φ 50	個	4						
PE両受形 ソフトシール仕切弁	7.5K, φ 50	基	1						
PVジョイント	離脱防止付, φ 50 粉体塗装	個	2						

[illegible]

[illegible]

消火栓設置工事

設計書

一金 円也

1. 設計図面との対象番号 (1)一般平面図

(2) 工事別構造図

2. 工事計画概要

[illegible]

[illegible]

給水管接続工事

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- 給水件数 N=32戸(φ 20 PE L=12. 0m, φ 30 PE L=0. 5m)

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
サドル分水栓 耐震型	DIP用, φ 200× φ 30	基	2						
サドル分水栓 耐震型	DIP用, φ 200× φ 20	基	5						
サドル分水栓 耐震型	HPPE用, φ 100× φ 20	基	10						
サドル分水栓 耐震型	HPPE用, φ 75× φ 20	基	7						
サドル分水栓 耐震型	HPPE用, φ 50× φ 20	基	3						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
水道用ポリエチレン管	1種二層管, φ 30	m	205.2						
水道用ポリエチレン管	1種二層管, φ 20	m	16.1						
ポリエチレン管金属継手 エルボ	呼び径30mm	個	8						
ポリエチレン管金属継手 エルボ	呼び径20mm	個	2						
ポリエチレン管金属継手 おねじ付ソケット	呼び径30mm	個	8						
ポリエチレン管金属継手 分止水栓用	呼び径30mm	個	3						
ポリエチレン管金属継手 分止水栓用	呼び径20mm	個	25						
ポリエチレン管金属継手 ソケット	呼び径30mm	個	6						
ポリエチレン管金属継手 ソケット	呼び径20mm	個	31						
ポリエチレン管金属継手 径違いソケット	呼び径30mm×20mm	個	2						
ポリエチレン管金属継手 チーズ	呼び径30mm×20mm	個	4						
密着コア	φ 30	個	2						
密着コア	φ 20	個	5						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K, φ 30	個	4						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
止水栓筐		個	4						
計									
(労務費)									
サドル分水栓建込み歩掛	鋳鉄管 200mm 30mm 電動式穿孔機 を使用する 加算する 4%	箇所	2						施工 第0-128号
サドル分水栓建込み歩掛	鋳鉄管 200mm 20mm 電動式穿孔機 を使用する 加算する 4%	箇所	5						施工 第0-127号
サドル分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 100mm 20mm 加算する 4%	箇所	10						施工 第0-129号
サドル分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 75mm 20mm 加算する 4%	箇所	7						施工 第0-130号
サドル分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 50mm 20mm 加算する 4%	箇所	3						施工 第0-131号
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ30mm 加算する 4%	m	205.2						施工 第0-015号
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m	16.1						施工 第0-014号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	19						施工 第0-027号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口	33						施工 第0-026号

[illegible]

既設管撤去工事

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要
- φ 200 DIP.K L=220.4m, φ 100 DIP.K L=3.5m, φ 100 HIVP L=251.1m, φ 75 HIVP L=219.7m, φ 50 HIVP L=82.6m, φ 30 PPW L=204.7m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(労務費)									
鋳鉄管 吊上げ積込み（機械力）（撤去管）	Φ200mm以下 4% 加算する	m	220.4						施工 第0-117号
鋳鉄管切断工 （エンジンカッター使用）（撤去管）	ダクタイル鋳鉄管（FCD） Φ200mm	口	36						施工 第0-118号
鋳鉄管 吊上げ積込み（機械力）（撤去管）	Φ100mm以下 4% 加算する	m	3.5						施工 第0-116号
硬質塩化ビニル管 吊上げ積込み（撤去管）	Φ100mm 割増無し 加算する 4%	m	251.1						施工 第0-121号
硬質塩化ビニル管 切断工（撤去管）	Φ100mm 加算する 4%	口	40						施工 第0-124号

[illegible]

[illegible]

仮設配水管工事

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
仮設配水管工事(路線1)		式	1						1 号明細書
仮設配水管工事(路線2)		式	1						2 号明細書
仮設配水管工事(路線3)		式	1						3 号明細書
仮設配水管工事(路線4)		式	1						4 号明細書
仮設配水管工事(路線5)		式	1						5 号明細書
仮設配水管工事(路線6)		式	1						6 号明細書

[illegible]

一金 円也

仮設配水管工事(路線1) 明 細 書

φ 200 レンタル管 L=160.5m、 φ 30 PE L=40.0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 30 (3回使い)	m	40.0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 30 (3回使い)	個	1						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 30 (3回使い)	個	2						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ 30 (3回使い)	個	4						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ 30 (3回使い)	個	1						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ 30 (3回使い)	個	1						
レンタル資材	(路線1)	式	1						
フランジ継手材	RFカ ^ス ケット 7.5K B・N(SUS), φ 200	組	2						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
フランジ蓋	φ 200, 7. 5K, RF	枚	2						
不断水分岐用T字管	ソットシル弁付, φ 200× φ 200, DIP用	個	2						
不断水弁	内外面粉体塗装, φ 200, DIP用	基	1						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1. 0) Φ30mm 加算する 4%	m	40. 0						施工 第0-015号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0. 4) Φ30mm 加算する 4%	m	40. 0						施工 第0-021号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1. 0) Φ30mm 加算する 4%	口	13						施工 第0-018号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0. 4) Φ30mm 加算する 4%	口	13						施工 第0-024号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	5						施工 第0-027号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1. 0) Φ32mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-031号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0. 4) Φ32mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-035号

[illegible]

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	43						施工パッケージ代価表
バックホーによる 舗装版直接掘削・積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	16						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホー山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.6						施工 第0-005号
バックホー掘削積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	8						施工 第0-001号
床掘り(人力)	土砂 現場制約あり	m3	4						施工パッケージ代価表
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3 砂(良質)〔クッション用〕 山代・積込(運搬費含む)	m3	6						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3	m3	4						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホー山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	8						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クワッシャーラン RC-40	m2	4						施工 第0-008号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 10cm 再生クワッシャーラン RC-40	m2	12						施工 第0-007号
上層路盤工	1.8m未満 上層路盤 12cm 粒度調整碎石 M-30	m2	4						施工 第0-006号

[illegible]

[illegible]

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
レンタル管布設工(人力据付)	G200A(撤去含む)	m	114						施工 第0-047号
レンタル管継手工	G200A(撤去含む)	口	90						施工 第0-052号
レンタル管継手工	G100A(撤去含む)	口	1						施工 第0-050号
レンタル管取出し短管設置工	G200A(撤去含む)	基	1						施工 第0-055号
レンタル管仮設バルブ設置工	G200A(撤去含む)	基	4						施工 第0-058号
フランジ継手	設置(1.0) J W W A 7.5K Φ 200mm以下 新設 加算する 4%	口	2						施工 第0-068号
フランジ継手取外し工	撤去(仮設配管、再使用する) (0.4) J W W A 7.5K Φ 200mm以下 加算する 4%	口	1						施工 第0-071号
不断水連絡工	Φ200×Φ200mm 加算する 4%	箇所	1						施工 第0-064号
レンタル管布設工(人力据付)	G150A(撤去含む)	m	2.0						施工 第0-046号
レンタル管継手工	G150A(撤去含む)	口	4						施工 第0-051号
レンタル管 マルチジョイント継手工	G150A(撤去含む)	口	1						施工 第0-165号
レンタル管布設工(人力据付)	G100A(撤去含む)	m	4						施工 第0-045号
レンタル管継手工	G100A(撤去含む)	口	6						施工 第0-050号
レンタル管仮設バルブ設置工	G100A(撤去含む)	基	1						施工 第0-057号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
レンタル管 マルチジョイント継手工	G100A(撤去含む)	口	1						施工 第0-062号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	120						施工パッケージ代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対応型(第2次基準値)	m2	37						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	1						施工 第0-005号
バックホよ掘削積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 排ガス対応型(第2次基準値)	m3	21						施工 第0-001号
床掘り(人力)	土砂 現場制約あり	m3	1						施工パッケージ代価表
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	6						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3	m3	9						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	13						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クランシャラン RC-40	m2	17						施工 第0-008号

[illegible]

第 3 号

一金 円也

仮設配水管工事(路線3) 明 細 書

φ 50 レンタル管 L=90. 0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
レンタル資材	(路線3)	式	1						
計									
(労務費)									
レンタル管布設工(人力据付)	G50A(撤去含む)	m	90						施工 第0-043号
レンタル管継手工	G50A(撤去含む)	口	60						施工 第0-048号
レンタル管取出し短管設置工	G50A(撤去含む)	基	3						施工 第0-053号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
レンタル管仮設バルブ設置工	G50A(撤去含む)	基	3						施工 第0-056号
レンタル管 マルチジョイント継手工	G50A(撤去含む)	口	2						施工 第0-060号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	43						施工パッケージ 代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	13						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.5						施工 第0-005号
バックホ掘削積込	バックホ山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	5						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホ)	埋戻し+締固め バックホ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	1						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホ)	埋戻し+締固め バックホ山0.28(平0.20)m3	m3	1						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	3						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クッシャーラン RC-40	m2	6						施工 第0-008号

[illegible]

一金 円也

仮設配水管工事(路線4) 明 細 書

φ 80 レンタル管 L=1.0m、φ 40 PE L=29.0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 40 (3回使い)	m	29.0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 40 (3回使 い)	個	2						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 40 (3回使 い)	個	8						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ 40×φ 40 (3回使い)	個	1						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ 40 (3回使い)	個	6						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ 40 (3回使い)	個	2						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ 40 (3回 使い)	個	4						
レンタル資材	(路線4)	式	1						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ40mm 加算する 4%	m	29.0						施工 第0-016号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	m	29.0						施工 第0-022号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口	37						施工 第0-019号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口	37						施工 第0-025号
ポリエチレン管切断工	40mm 加算する 4%	口	8						施工 第0-028号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-032号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-036号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 40mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-039号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 40mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-042号
レンタル管布設工(人力据付)	G80A(撤去含む)	m	1						施工 第0-044号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
レンタル管継手工	G80A(撤去含む)	口	8						施工 第0-049号
レンタル管 マルチジョイント継手工	G80A(撤去含む)	口	1						施工 第0-061号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	32						施工パッケージ 代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	9						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.3						施工 第0-005号
バックホ掘削積込	バックホ山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	4						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホ)	埋戻し+締固め バックホ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	0.7						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホ)	埋戻し+締固め バックホ山0.28(平0.20)m3	m3	1						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	2						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クッシャーラン RC-40	m2	5						施工 第0-008号

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明細書

ϕ 30 PE L=109.0m

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一金 円也

仮設配水管工事(路線7) 明 細 書

φ 40 PE L=61. 0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 40 (3回使い)	m	61. 0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 40 (3回使い)	個	1						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 40 (3回使い)	個	3						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	径違いチーズ φ 40×φ 20 (3回使い)	個	4						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ 40 (3回使い)	個	4						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ 40 (3回使い)	個	1						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ 40 (3回使い)	個	3						
不断水弁	内外面粉体塗装, φ 75, DIP用	基	1						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ40mm 加算する 4%	m	61.0						施工 第0-016号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	m	61.0						施工 第0-022号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口	26						施工 第0-019号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口	26						施工 第0-025号
ポリエチレン管切断工	40mm 加算する 4%	口	5						施工 第0-028号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-032号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-036号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 40mm 加算する 4%	箇所	3						施工 第0-039号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 40mm 加算する 4%	箇所	3						施工 第0-042号
不断水弁設置工	φ 75, DIP用	箇所	1						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	59						施工パッケージ 代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	19						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンブトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.7						施工 第0-005号
バックホよ掘削積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	7						施工 第0-001号
床掘り(人力)	土砂 現場制約あり	m3	2						施工パッケージ 代価表
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込 (運搬費含む)	m3	2						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3	m3	3						施工 第0-002号
発生土処理 タンブトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	6						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クッシャーラン RC-40	m2	8						施工 第0-008号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 10cm 再生クッシャーラン RC-40	m2	11						施工 第0-007号

[illegible]

[illegible]

明細書

φ 30 PE L=52.0m

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明細書

ϕ 40 PE L=76.0m

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ30mm 加算する 4%	m	49.0						施工 第0-015号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ30mm 加算する 4%	m	49.0						施工 第0-021号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ30mm 加算する 4%	口	11						施工 第0-018号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ30mm 加算する 4%	口	11						施工 第0-024号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-027号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 30mm 加算する 4%	箇所	2						施工 第0-038号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 30mm 加算する 4%	箇所	2						施工 第0-041号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	26						施工パッケージ 代価表

[illegible]

[illegible]

一金

円也

仮設配水管工事(路線11)

明 細 書

φ100 レンタル管 L=54.0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
レンタル資材	(路線11)	式	1						
計									
(労務費)									
レンタル管布設工(人力据付)	G100A(撤去含む)	m	54.0						施工 第0-045号
レンタル管継手工	G100A(撤去含む)	口	47						施工 第0-050号
レンタル管継手工	G80A(撤去含む)	口	1						施工 第0-049号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
レンタル管取出し短管設置工	G100A(撤去含む)	基	3						施工 第0-054号
レンタル管仮設バルブ設置工	G100A(撤去含む)	基	3						施工 第0-057号
レンタル管消火栓設置工	G 単口(撤去含む)	基	1						施工 第0-059号
レンタル管 マルチジョイント継手工	G100A(撤去含む)	口	2						施工 第0-062号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	100						施工パッケージ代価表
バックホーによる 舗装版直接掘削・積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	30						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 ダンプトラック4t	バックホー山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	1						施工 第0-005号
バックホー掘削積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	12						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	3						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3	m3	3						施工 第0-002号

[illegible]

[illegible]

仮設給水管工事

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
仮設給水管工事(路線1)		式	1						1 号明細書
仮設給水管工事(路線2)		式	1						2 号明細書
仮設給水管工事(路線3)		式	1						3 号明細書
仮設給水管工事(路線5)		式	1						4 号明細書
仮設給水管工事(路線6)		式	1						5 号明細書
仮設給水管工事(路線7)		式	1						6 号明細書

[illegible]

一金 円也

仮設給水管工事(路線1) 明 細 書

仮設給水件数 N=5戸 (φ 20 PE L=27.0m)

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 20 (3回使い)	m	27.0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 20 (3回使 い)	個	4						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 30 (3回使 い)	個	1						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 20 (3回使 い)	個	8						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 30 (3回使 い)	個	2						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	メータ用ソケット φ 20 (3回使 い)	個	4						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	メータ用ソケット φ 30 (3回使 い)	個	1						
SGPブッシング	φ 20× φ 13 (3回使い)	個	3						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
フレキシブル継手	(ユニオン×平行ナット) φ13 L=400 (3回使い)	個	3						
フレキシブル継手	(ユニオン×平行ナット) φ20 L=400 (3回使い)	個	1						
フレキシブル継手	(ユニオン×平行ナット) φ30 L=400 (3回使い)	個	1						
メーターユニオン+ HIソケット	φ13 (3回使い)	個	3						
メーターユニオン+ HIソケット	φ20 (3回使い)	個	1						
メーターユニオン+ HIソケット	φ30 (3回使い)	個	1						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ20 (3回 使い)	個	4						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ30 (3回 使い)	個	1						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m	27.0						施工 第0-014号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	m	27.0						施工 第0-020号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	16						施工 第0-017号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	16						施工 第0-023号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ30mm 加算する 4%	口	3						施工 第0-018号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ30mm 加算する 4%	口	3						施工 第0-024号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口	8						施工 第0-026号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-027号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ13mm 加算する 4%	口	9						施工 第0-029号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ13mm 加算する 4%	口	9						施工 第0-033号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	5						施工 第0-030号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	5						施工 第0-034号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ32mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-031号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ32mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-035号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-037号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-040号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 30mm 加算する 4%	箇所	1						施工 第0-038号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 30mm 加算する 4%	箇所	1						施工 第0-041号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	160						施工パッケージ 代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	47						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	2						施工 第0-005号
バックホよ掘削積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	14						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	3						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3	m3	2						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	12						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生クッシャーラン RC-40	m2	23						施工 第0-008号

[illegible]

明細書

仮設給水件数 N=1戸 (φ 20 PE L=2.0m)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一金 円也

仮設給水管工事(路線3) 明 細 書

仮設給水件数 N=3戸 (φ 20 PE L=8. 0m)

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 20 (3回使い)	m	8. 0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 20 (3回使 い)	個	3						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 20 (3回使 い)	個	6						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	メータ用ソケット φ 20 (3回使 い)	個	3						
SGPブッシング	φ 20× φ 13 (3回使い)	個	1						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オジ) φ 13 L=400 (3回使い)	個	1						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オジ) φ 20 L=400 (3回使い)	個	2						
メーターユニオン+ HIソケット	φ 13 (3回使い)	個	1						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
メーターユニオン+									
HIソケット	φ20 (3回使い)	個	2						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ20 (3回 使い)	個	3						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m	8.0						施工 第0-014号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	m	8.0						施工 第0-020号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	12						施工 第0-017号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	12						施工 第0-023号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-026号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ13mm 加算する 4%	口	3						施工 第0-029号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ13mm 加算する 4%	口	3						施工 第0-033号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	5						施工 第0-030号

[illegible]

一金 円也

仮設給水管工事(路線5) 明 細 書

仮設給水件数 N=9戸 (φ 20 PE L=39.0m)

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 20 (3回使い)	m	39.0						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付ソケット φ 20 (3回使い)	個	9						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 20 (3回使い)	個	18						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	メータ用ソケット φ 20 (3回使い)	個	9						
SGPブッシング	φ 20×φ 13 (3回使い)	個	2						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オシヅ) φ 13 L=400 (3回使い)	個	2						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オシヅ) φ 20 L=400 (3回使い)	個	7						
メーターユニオン+ HIソケット	φ 13 (3回使い)	個	2						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
メーターユニオン+									
HIソケット	φ20 (3回使い)	個	7						
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ20 (3回 使い)	個	9						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m	39.0						施工 第0-014号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	m	39.0						施工 第0-020号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	36						施工 第0-017号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	36						施工 第0-023号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口	18						施工 第0-026号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ13mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-029号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ13mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-033号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	16						施工 第0-030号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	16						施工 第0-034号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	9						施工 第0-037号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	9						施工 第0-040号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	86						施工パッケージ代価表
バックホーによる 舗装版直接掘削・積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	26						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 ダンプトラック4t	バックホー山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.9						施工 第0-005号
バックホー掘削積込	バックホー山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	8						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込 (運搬費含む)	m3	2						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホー)	埋戻し+締固め バックホー山0.28(平0.20)m3	m3	1						施工 第0-002号
発生土処理 ダンプトラック4t	バックホー山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	6						施工 第0-004号

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仮設給水件数 $N=4$ 戸 ($\phi 20$ PE $L=18.5$ m)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一金 円也

仮設給水管工事(路線9) 明 細 書

仮設給水件数 N=4戸 (φ 20 PE L=17. 5m)

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管 φ 20 (3回使い)	m	17. 5						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付ソケット φ 20 (3回使い)	個	8						
ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	メータ用ソケット φ 20 (3回使い)	個	4						
SGPブッシング	φ 20× φ 13 (3回使い)	個	2						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オネジ) φ 13 L=400 (3回使い)	個	2						
フレキシブル継手	(ユニオンナット×平行オネジ) φ 20 L=400 (3回使い)	個	2						
メーターユニオン+ HIソケット	φ 13 (3回使い)	個	2						
メーターユニオン+ HIソケット	φ 20 (3回使い)	個	2						

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
青銅製仕切弁	仕切弁 ねじ込み 10K φ20 (3回 使い)	個	4						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m	17.5						施工 第0-014号
ポリエチレン管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	m	17.5						施工 第0-020号
ポリエチレン管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	12						施工 第0-017号
ポリエチレン管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	12						施工 第0-023号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口	8						施工 第0-026号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ13mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-029号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ13mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-033号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-030号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用す る)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口	6						施工 第0-034号

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-037号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P 用 20mm 加算する 4%	箇所	4						施工 第0-040号
計									
(土工費)									
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	13						施工パッケージ 代価表
バックホよによる 舗装版直接掘削・積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)	m2	4						施工 第0-010号
アスファルト塊処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 19.0km以下 アスファルト塊(0.30)	m3	0.1						施工 第0-005号
バックホよ掘削積込	バックホよ山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値)	m3	1						施工 第0-001号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3 砂(良質) [クッション用] 山代・積込(運搬費含む)	m3	0.3						施工 第0-003号
管路埋戻工 (機械埋戻・バックホよ)	埋戻し+締固め バックホよ山0.28(平0.20)m3	m3	0.2						施工 第0-002号
発生土処理 タンポトラック4t	バックホよ山0.28(平0.20)m3 D I D 区間無し 20.0km以下	m3	1						施工 第0-004号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生ク ラッシャー RC-40	m2	2						施工 第0-008号

[illegible]

明細書

仮設給水件数 $N=2戸$ (φ 20 PE L=2.0m)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

配水管復旧工事

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
配水管復旧工事(路線1)		式	1						1 号明細書
配水管復旧工事(路線2)		式	1						2 号明細書
配水管復旧工事(路線3)		式	1						3 号明細書
配水管復旧工事(路線4)		式	1						4 号明細書
配水管復旧工事(路線5)		式	1						5 号明細書
配水管復旧工事(路線10)		式	1						6 号明細書

[illegible]

第 1 号

一金 円也

配水管復旧工事(路線1) 明 細 書

φ 30 PPW L=1. 0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管, φ 30	m	1. 0						
ポリエチレン管金属継手 ソケット	呼び径30mm	個	2						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1. 0) Φ 30mm 加算する 4%	m	1. 0						施工 第0-015号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-027号

[illegible]

第 2 号

一金 円也

配水管復旧工事(路線2)

明細書

ϕ 100 HIVPW-RR L=1.0m, ϕ 150 HIVPW-RR L=1.0m

[illegible]

[illegible]

一金 円也

配水管復旧工事(路線3) 明 細 書

φ 50 HIVPW-RR L=2.0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用硬質塩化ビニル管	φ 50	m	2.0						
VSジョイント	離脱防止付, φ 50 粉体塗装	個	4						
計									
(労務費)									
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ50mm 割増無し 加算する 4%	m	2.0						施工 第0-137号
硬質塩化ビニル管切断工	50mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-141号

[illegible]

第 4 号

一金 円也

配水管復旧工事(路線4)

明細書

ϕ 75 HIVPW-RR L=1.0m, ϕ 40 HIVPW-RR L=2.0m

[illegible]

[illegible]

一金

円也

配水管復旧工事(路線5)

明 細 書

φ 100 HIVPW-RR L=1.0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用硬質塩化ビニル管	φ 100	m	1.0						
VSジョイント	離脱防止付, φ 100 粉体塗装	個	2						
計									
(労務費)									
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ100mm 割増無し 加算する 4%	m	1.0						施工 第0-139号
硬質塩化ビニル管切断工	100mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-143号

[illegible]

一金 円也

配水管復旧工事(路線10) 明 細 書

φ 30 PPW L=1. 0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用ポリエチレン管	1種二層管, φ 30	m	1. 0						
ポリエチレン管金属継手 ソケット	呼び径30mm	個	2						
計									
(労務費)									
ポリエチレン管布設工(据付工)	据付(1. 0) Φ 30mm 加算する 4%	m	1. 0						施工 第0-015号
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口	1						施工 第0-027号

[illegible]

一金

円也

配水管復旧工事(路線11)

明 細 書

φ 100 HIVPW-RR L=2. 0m

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(材料費)									
水道用硬質塩化ビニル管	φ 100	m	2. 0						
VSジョイント	離脱防止付, φ 100 粉体塗装	個	4						
計									
(労務費)									
管布設工(据付工)	据付(1. 0) Φ100mm 割増無し 加算する 4%	m	2. 0						施工 第0-139号
硬質塩化ビニル管切断工	100mm 加算する 4%	口	2						施工 第0-143号

[illegible]

交通誘導員 設 計 書

一金 円也

1. 設計図面との対象番号 (1)一般平面図

(2) 工事別構造図

2. 工事計画概要

[illegible]

運搬費(積上げ)

設 計 書

一金

円也

1. 設計図面との対象番号
- (1)一般平面図
- (2)工事別構造図
2. 工 事 計 画 概 要

工 種 名 称	形 状 寸 法	単位	変 更 前			変 更 後			摘 要
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
(レンタル管)									
仮設材運搬	10t積	式	1						
(鋼材)									
仮設材運搬	往路 L=10km	t	0.8						
仮設材運搬	復路 L=10km	t	0.8						
仮設材運搬	往路	t	0.8						

[illegible]

設計書

一金 円也

1. 設計図面との対象番号 (1)一般平面図

(2) 工事別構造図

2. 工事計画概要

[illegible]

[illegible]

φ 150GX

[illegible]

配水管 数量計算書

φ 100GX

[illegible]

	種 別	形状・寸法	単位	合計	路線5 分岐	路線5 分岐	排泥 接続	路線11												
工事延長		φ75		251.1	189.12	19.98	0.31	0.31	41.38											
【材料】																				
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	直管 JWWA K 144 φ100×5,000L	本	38	31				7											
			Σ 本	38																
	水道配水用ポリエチレン管 ブレーションエンド	乙切管 JWWA K 144 φ150×5,000L	本	(2.06m) 1	2.06															
			Σ 本	1																
	水道配水用ポリエチレン管 ブレーションエンド	乙切管 JWWA K 144 φ100×5,000L	本	(46.25m)	0.30 2.09 4.51 0.37 0.58 0.54 1.34 0.45 1.01 0.44 3.22 0.56 0.48 0.41 4.61	4.15 0.40 0.74 1.60 2.22 0.80 1.99 0.50 3.05 0.39 0.95 0.81 0.44 1.94			1.96 1.93 1.47											
	水道配水用ポリエチレン管継手 EFソケット	JWWA K 145 φ100	個	1	1															
	水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受45° ベンド	JWWA K 145 φ100	個	22	21			1												
	水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受22° 1/2ベンド	JWWA K 145 φ100	個	1	1															
	水道配水用ポリエチレン管継手 EF片受45° ベンド	JWWA K 145 φ100	個	4	3			1												
	水道配水用ポリエチレン管継手 EF両受チーズ	JWWA K 145 φ100×φ75	個	3	3															
	水道配水用ポリエチレン管継手 EF片受レデューサ	JWWA K 145 φ150×φ100	個	1	1															
	PE両受形 ソフトシール仕切弁	7.5K φ100	基	2	2															
	PVジョイント	離脱防止付 φ150 粉体塗装	個	1	1															
	PVジョイント	離脱防止付 φ100 粉体塗装	個	3	1			2												
	PVジョイント	離脱防止付 φ75 粉体塗装	個	2			1	1												
	PE両受形 鋳鉄製フランジ付T字管	離脱防止付,7.5K,RF φ100×φ75 粉体塗装	個	2	1			1												
【労務】																				
	ポリエチレン管(融着接合)据付工	150mm	m	2.56	2.56															
	ポリエチレン管(融着接合)据付工	100mm	m	247.58	186.21	19.98		41.38												
	ポリエチレン管(融着接合)据付工	75mm	m	0.6			0.31	0.31												
	ポリエチレン管(融着接合)継手工	2口継手 100mm	箇所	4	4															
	ポリエチレン管(融着接合)継手工	150mm	□	1	1															
	ポリエチレン管(融着接合)継手工	100mm	□	88	78			10												
	ポリエチレン管メカニカル継手工	150mm	□	1	1															
	ポリエチレン管メカニカル継手工	100mm	□	11	7			4												
	ポリエチレン管メカニカル継手工	75mm	□	2			1	1												
	メカニカル継手工	150mm	□	1	1															
	メカニカル継手工	100mm	□	3	1			2												
	メカニカル継手工	75mm	□</																	

φ 75HPPE

[illegible]

配水管 数量計算書

φ 50HPPE

[illegible]

消火栓 数量計算書

[illegible]

既設管撤去 数量計算書

	種 別	形状・寸法	単位	合計	路線1	路線2	路線3	路線4	路線5	路線6	路線7	路線8	路線9	路線10	路線11				
	【労務】																		
	鋳鉄管吊込撤去工	機械力 200mm	m	220.4	118.3	102.1													
	既設鋳鉄管切断工	エンジンカッター 200mm	□	36	19	17													
	鋳鉄管吊込撤去工	機械力 100mm	m	3.5		3.5													
	硬質塩化ビニル管撤去工	100mm	m	251.1				209.7							41.4				
	既設塩化ビニル管切断工	100mm	□	40				34							6				
	硬質塩化ビニル管撤去工	75mm	m	219.7			35.8			80.8		103.2							
	既設塩化ビニル管切断工	75mm	□	35			5			13		17							
	硬質塩化ビニル管撤去工	50mm	m	82.6			82.6												
	既設塩化ビニル管切断工	50mm	□	13			13												
	ポリエチレン管撤去工	30mm	m	204.7	27.6					83.8		50.8		42.5					
	既設ポリエチレン管切断工	30mm	□	32	4					13		8		7					
	【処分】																		
		モルタルライニング付き φ 250mm0.043t/m、φ 200mm0.035t/m φ 150mm0.026t/m、φ 100mm0.018t/m φ 75mm 0.014t/m																	
	鋳鉄管処分		t	7.8	7.78														
	廃プラスチック(塩ビ管)処分		m3	4.2			0.23	0.22	2.14		0.50		0.64		0.42				
	廃プラスチック(ポリ管)処分		m3	0.2	0.02					0.06		0.04		0.03					

[illegible]

本設

[illegible]

本設
給水集計表

[illegible]

本設
給水集計表

本設

[illegible]

[illegible]

本設
給水集計表

[illegible]

本設
給水集計表

[illegible]

本設

給水集計表																
			小計		㉔φ20		㉔φ20		㉔φ13		㉔φ13					
名称	形状寸法	単位	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後		
材 料	サドル分水栓 耐震型 φ250×φ20 DIP用	基														
	サドル分水栓 耐震型 φ200×φ30 DIP用	基														
	サドル分水栓 耐震型 φ200×φ20 DIP用	基														
	サドル分水栓 耐震型 φ150×φ20 DIP用	基														
	サドル分水栓 耐震型 φ100×φ20 HPPE用	基														
	サドル分水栓 耐震型 φ75×φ20 HPPE用	基	4		1		1		1		1					
	サドル分水栓 耐震型 φ50×φ20 HPPE用	基														
	ポリエチレン管 φ30	m														
	ポリエチレン管 φ20	m	2.0		0.5		0.5		0.5		0.5					
	PE継手(90°)	個														
	PE継手(90°)	個														
	PE継手(オシヅ付)	個														
	PE継手(分止水栓用)	個														
	PE継手(分止水栓用)	個	4		1		1		1		1					
	PE継手(ソケット)	個														
	PE継手(ソケット)	個	4		1		1		1		1					
	PE継手(ソケット)	φ30×φ20	個													
PE継手(チーズ)	φ30×φ20	個														
密着コア	φ30	個														
密着コア	φ20	個														
ゲートバルブ	φ30 両杉込	個														
止水栓筐		個														
労 務	分水栓建込工	本管鑄鉄管250mm, 20mm	箇所													
	分水栓建込工	本管鑄鉄管200mm, 30mm	箇所													
	分水栓建込工	本管鑄鉄管200mm, 20mm	箇所													
	分水栓建込工	本管鑄鉄管150mm, 20mm	箇所													
	分水栓建込工	本管HPPE100mm, 20mm	箇所													
	分水栓建込工	本管HPPE75mm, 20mm	箇所	4		1		1		1		1				
	分水栓建込工	本管HPPE50mm, 20mm	箇所													
	ポリエチレン管据付工	30mm	m													
	ポリエチレン管据付工	20mm	m	2.0		0.5		0.5		0.5		0.5				
	ポリエチレン管切断工	30mm	口													
ポリエチレン管切断工	20mm	口	4		1		1		1		1					
ポリエチレン管継手工	30mm	口														
ポリエチレン管継手工	20mm	口	12		3		3		3		3					
密着コア取付工		箇所														
止水栓設置工	30mm栓及び筐															

本設
給水集計表

[illegible]

本設

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

仮設管数量計算書(路線1)

仮設配水管工事 φ30

路線1

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図							数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30 (3回使い)	m	40.0							40
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	2							2
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ30 (3回使い)	個	4							4
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ30 (3回使い)	個	1							1
	ゲートバルブ	φ30 (3回使い)	個	1							1
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ30	m	40.0							40.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ30	口	13							13.0
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	5							5
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ30	口	1							1
	止水栓取付工	(撤去含む) φ30	箇所	1							1
(管土工)											
	仮A11町道As (埋設)	φ30	m	2.5							2.5
	仮A12町道As (撤去)	φ30	m	2.5							2.5
	仮A21町道As (埋設)	φ30	m	0.5							0.5
	仮A22町道As (撤去)	φ30	m	0.5							0.5

配水管復旧工事

路線1

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
PPW	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30	m	1.0							1.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ30	個	2							2
(管布設)											
PPW	ポリエチレン管据付工	φ30	m	1.0							1.0
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	1							1
	ポリエチレン管継手工	φ30	口	4							4

仮設給水管工事

路線1

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	1	2	3	4	5						数 量
(材料費)				φ13	φ13	φ13	φ20	φ30						
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ20 (3回使い)	m	8.5	4.5	4.5	6.5	3.0						27.0
	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30 (3回使い)	m											-
	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ40 (3回使い)	m											-
	ポリエチレン管金属継手 鋼管用めねじ	耐震性能強化型 コア一体型 φ20 (3回使い)	個	1	1	1	1							4
	ポリエチレン管金属継手 鋼管用めねじ	耐震性能強化型 コア一体型 φ30 (3回使い)	個					1						1
	ポリエチレン管金属継手 鋼管用おねじ	耐震性能強化型 コア一体型 φ20 (3回使い)	個	2	2	2	2							8
	ポリエチレン管金属継手 鋼管用おねじ	耐震性能強化型 コア一体型 φ30 (3回使い)	個					2						2
	ポリエチレン管金属継手 メーター用ソケット	耐震性能強化型 コア一体型 φ20 (3回使い)	個	1	1	1	1							4
	ポリエチレン管金属継手 メーター用ソケット	耐震性能強化型 コア一体型 φ30 (3回使い)	個					1						1
	ポリエチレン管金属継手 径違いチーズ	耐震性能強化型 コア一体型 φ40×20 (3回使い)	個											-
	ポリエチレン管金属継手 径違いソケット	耐震性能強化型 コア一体型 φ40×30 (3回使い)	個											-
	ポリエチレン管金属継手 90° エルボ	耐震性能強化型 コア一体型 φ20 (3回使い)	個											-
	SGPブッシング	φ20×13 (3回使い)	個	1	1	1								3
	フレキシブル継手	L=400 φ13 (3回使い)	個	1	1	1								3
	フレキシブル継手	L=400 φ20 (3回使い)	個				1							1
	フレキシブル継手	L=400 φ30 (3回使い)	個					1						1
	メーターユニオン+HIソケット	φ13 (3回使い)	個	1	1	1								3
	メーターユニオン+HIソケット	φ20 (3回使い)	個				1							1
	メーターユニオン+HIソケット	φ30 (3回使い)	個					1						1
	ゲートバルブ	φ20 (3回使い)	個	1	1	1	1							4
	ゲートバルブ	φ30 (3回使い)	個					1						1
(管布設)														
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ20	m	8.5	4.5	4.5	6.5	3.0						27.0
	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ30	m											-
	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ40	m											-
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ20	口	4	4	4	4							16
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ30	口					3						3
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ40	口											-
	ポリエチレン管切断工	φ20	口	2	2	2	2							8
	ポリエチレン管切断工	φ30	口					2						2
	ポリエチレン管切断工	φ40	口											-
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ13	口	3	3	3								9
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ20	口	1	1	1	2							5
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ30	口					2						2
	止水栓取付工	(撤去含む) φ20	箇所	1	1	1	1							4
	止水栓取付工	(撤去含む) φ30	箇所					1						1

仮設給水管工事

路線1

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	1	2	3	4	5						数 量
(管土工)														
	仮A25町道As(埋設)	φ 20	m	6.2	3.5	3.7	4.0	2.1						19.5
	仮A26町道As(撤去)	φ 20	m	6.2	3.5	3.7	4.0	2.1						19.5
	仮A11町道As(埋設)	φ 30	m	6.2	3.5	3.7	4.0	2.1						19.5
	仮A12町道As(撤去)	φ 30	m	6.2	3.5	3.7	4.0	2.1						19.5

仮設管土工数量表

路線1 宝達志水

[illegible]

仮設給水管土工数量表

路線1 宝達志水

管 土 工	呼び径	土 工 断 面 形 状									土 延 工 長	舗 装 取 壊 工 関 連 数 量				土 工				舗 装 仮 復 旧・路 盤 工 等					備 考	
		上幅	下幅	掘削深	管 外 径		掘削高	舗装復旧厚	埋 戻 高			As切断	As取壊し		As殻処分	機械掘削	機械埋戻	機械埋戻	残土処分	下層路盤			上層路盤	細粒度AS(13F)		
									購入砂	流用土										(RC-40)	(RC-40)	(RC-40)	(M-30)	車道		
					D1	D2			t	b1	b2					土砂	砂	流用土		t=15cm	t=16cm	t=10cm	t=12cm	t=3cm		
		A	B	h	(m)						(m)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
仮A25As (埋設)	φ 20	0.60	0.60	0.33	0.03		0.29	0.13	0.13	0.07	0.30	19.5	39.0	11.70		0.47	3.39	1.51	0.82	2.57			11.70		11.70	
仮A26As (撤去)	φ 20	0.60	0.60	0.33		0.03	0.30	0.30		0.03	0.30	19.5	39.0		11.70	0.35	3.50		0.35	3.15	11.70			11.70	11.70	
仮A11As (埋設)	φ 30	0.60	0.60	0.34	0.04		0.30	0.13	0.14	0.07	0.30	19.5	39.0	11.70		0.47	3.51	1.61	0.82	2.69			11.70		11.70	
仮A12As (撤去)	φ 30	0.60	0.60	0.34		0.04	0.31	0.30		0.04	0.30	19.5	39.0		11.70	0.35	3.60		0.47	3.13	11.70			11.70	11.70	
合 計												78.0	156.0	23.40	23.40	1.64	14.00	3.12	2.46	11.54	23.40		23.40	23.40	46.80	

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線2)

配水管復旧工事

路線2

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ 100	m	1.0							1.0
	VSジョイント	φ 100	個	2							2
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ 150	m	1.0							1.0
	VSジョイント	φ 150	個	2							2
(管布設)											
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ 100	m	1.0							1.0
	ビニル管切断工	φ 100	口	1							1
	メカニカル継手工	φ 100	口	4							4
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ 150	m	1.0							1.0
	ビニル管切断工	φ 150	口	1							1
	メカニカル継手工	φ 150	口	4							4

仮設給水管工事

路線2

[illegible]

仮設管土工数量表

路線2 宝達志水

管 土 工	呼び径	土 工 断 面 形 状										土 延 工 長	舗 装 取 壊 工 関 連 数 量					土 工					舗 装 仮 復 旧・路 盤 工 等					備 考	
		上幅	下幅	掘削深	管 外 径		機 械 掘 削 高	人 力 掘 削 高	舗 装 復 旧 厚	埋 戻 高			As切断 t=15cm まで	As取壊し			As殻 処分	機 械 掘 削	人 力 掘 削	機 械 埋 戻	機 械 埋 戻	残土 処分	下層路盤			上層路盤	細粒度 AS(13F)		
										購 入 砂	流 用 土												(RC-40)	(RC-40)	(RC-40)	(M-30)	車道		
		A	B	h	D1	D2	h1	h2	t	b1	b2							土砂	土砂	砂	流用土		t=47cm	t=15cm	t=10cm	t=12cm	t=3cm		
		(m)										(m)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
仮A1As(埋設)	φ 200	0.60	0.60	0.52	0.22		0.48		0.13	0.32	0.07	0.30	26.7	53.4		16.02		0.64	7.69		4.11	1.12	6.57			16.02		16.02	
仮A2As(撤去)	φ 200	0.60	0.60	0.52		0.22	0.49		0.30		0.22	0.30	26.7	53.4			16.02	0.48	6.83			3.52	3.31		16.02		16.02	16.02	
不断水土工 (T字管)a	φ 200	1.20	1.20	1.22	0.22	0.22	0.26	0.92	0.13	0.72	0.37	0.60	1.2	2.4		1.44		0.06	0.37	1.28	0.95	0.53	1.12			1.44		1.44	
不断水土工 (T字管)b	φ 200	0.80	0.80	1.11	0.22		1.07		0.13	0.61	0.37	0.60	1.7	3.4		1.36		0.05	1.46		0.76	0.50	0.96			1.36		1.36	
仮A1As(埋設)	φ 150	0.60	0.60	1.37	0.17		1.33		0.13	0.32	0.92	1.20	2.0	4.0		1.20		0.05	1.60		0.34	1.10	0.50			1.20		1.20	
仮A2As(撤去)	φ 150	0.60	0.60	1.37		0.17	1.34		0.30		1.07	1.20	2.0	4.0			1.20	0.04	1.56			1.28	0.28		1.20		1.20	1.20	
仮B1Gr(埋設)	φ 100	0.60	0.60	0.42	0.12		0.42		0.10	0.22	0.10	0.30	1.7					0.43		0.21	0.10	0.33			1.02				
仮B2Gr(撤去)	φ 100	0.60	0.60	0.42		0.12	0.42		0.10		0.32	0.30	1.7					0.41			0.33	0.08			1.02				
仮B3Gr(埋設)	φ 100	0.60	0.60	0.72	0.12		0.72		0.10	0.22	0.40	0.60	0.5					0.22		0.06	0.12	0.10			0.30				
仮B4Gr(撤去)	φ 100	0.60	0.60	0.72		0.12	0.72		0.10		0.62	0.60	0.5					0.21			0.19	0.02			0.30				
合 計													64.7	120.6		20.02	17.22	1.32	20.78	1.28	6.43	8.79	13.27		17.22	22.66	17.22	37.24	

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線3)

仮設配管数量集計表 $\phi 50$ SUSレンタル管 路線3

[illegible]

仮設配管工事 レンタル管料金計算表 路線3

[illegible]

総重量	50A 331 kg	A kg	A kg	A kg	総重量計 331 kg
運搬費	数量	単価	金額		
4t車	台		4t車 円		
10t車	1 台		10t車 円		
			運搬費計 円		

配水管復旧工事

路線3

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ 50	m	2.0							2.0
	VSジョイント	φ 50	個	4							4
(管布設)											
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ 50	m	2.0							2.0
	ビニル管切断工	φ 50	口	2							2
	メカニカル継手工	φ 50	口	8							8

仮設給水管工事

路線3

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線4)

仮設配管数量集計表 $\phi 80$ SUSレンタル管 路線4

[illegible]

仮設配管工事 レンタル管料金計算表 路線4

[illegible]

総重量	80A 24 kg	A kg	A kg	A kg	総重量計 24 kg
運搬費	数量	単価	金額		
4t車	台		4t車 円		
10t車	1 台		10t車 円		
			運搬費計 円		

仮設配水管工事 φ40

路線4

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図	仮設平面図						数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ40 (3回使い)	m	22.0	7.0						29.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	1	1						2
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	6	2						8
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ40×φ40 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ40 (3回使い)	個	4	2						6
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ40 (3回使い)	個	1	1						2
	ゲートバルブ	φ40 (3回使い)	個	3	1						4
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ40	m	22.0	7.0						29.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ40	口	26	11						37
	ポリエチレン管切断工	φ40	口	5	3						8
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ40	口	1	1						2
	止水栓取付工	(撤去含む) φ40	箇所	3	1						4
(管土工)											
	仮A9町道As (埋設)	φ40	m	3.3	3.1						6.4
	仮A10町道As (撤去)	φ40	m	3.3	3.1						6.4
	仮A19町道As (埋設)	φ40	m	0.5	0.5						1.0
	仮A20町道As (撤去)	φ40	m	0.5	0.5						1.0

配水管復旧工事

路線4

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ 75	m	1.0							1.0
	VSジョイント	φ 75	個	2							2
	水道用硬質塩化ビニル管	φ 40	m	2.0							2.0
	VSジョイント	φ 40	個	4							4
(管布設)											
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ 75	m	1.0							1.0
	ビニル管切断工	φ 75	口	1							1
	メカニカル継手工	φ 75	口	4							4
	ビニル管据付工	φ 40	m	2.0							2.0
	ビニル管切断工	φ 40	口	2							2
	メカニカル継手工	φ 40	口	8							8

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線5)

配水管復旧工事

路線5

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ100	m	1.0							1.0
	VSジョイント	φ100	個	2							2
(管布設)											
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ100	m	1.0							1.0
	ビニル管切断工	φ100	口	1							1
	メカニカル継手工	φ100	口	4							4

仮設給水管工事

路線5

[illegible]

仮設給水管工事

路線5

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	10	11	12	13	14	15	16	17	18		数 量
(管土工)														
	仮A25町道As(埋設)	φ20	m		4.0		4.0		4.0	4.0	4.0	1.5		21.5
	仮A26町道As(撤去)	φ20	m		4.0		4.0		4.0	4.0	4.0	1.5		21.5

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線6)

仮設配水管工事 φ30

路線6

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図							数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30 (3回使い)	m	109.0							109.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	3							3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ30 (3回使い)	個	3							3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ30×φ20 (3回使い)	個	1							1
	ゲートバルブ	φ30 (3回使い)	個	2							2
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ30	m	109.0							109.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ30	口	15							15
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	7							7
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ30	口	1							1
	止水栓取付工	(撤去含む) φ30	箇所	2							2
(管土工)											
	仮A11町道As (埋設)	φ30	m	8.2							8.2
	仮A12町道As (撤去)	φ30	m	8.2							8.2

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線7)

仮設配水管工事 φ40

路線7

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図							数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ40 (3回使い)	m	61.0							61.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	3							3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ40×φ20 (3回使い)	個	4							4
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ40 (3回使い)	個	4							4
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ40 (3回使い)	個	1							1
	ゲートバルブ	φ40 (3回使い)	個	3							3
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ40	m	61.0							61.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ40	口	26							26
	ポリエチレン管切断工	φ40	口	5							5
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ40	口	1							1
	止水栓取付工	(撤去含む) φ40	箇所	3							3
(管土工)											
	仮A9町道As (埋設)	φ40	m	14.1							14.1
	仮A10町道As (撤去)	φ40	m	14.1							14.1

仮設給水管工事

路線7

[illegible]

仮設給水管工事

路線7

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	21	22	23	24							数 量
(管土工)														
	仮A25町道As (埋設)	φ 20	m		1.0		2.5							3.5
	仮A26町道As (撤去)	φ 20	m		1.0		2.5							3.5

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線8)

仮設配水管工事 φ30

路線8

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図							数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30 (3回使い)	m	52.0							52.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	3							3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ30 (3回使い)	個	2							2
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ30×φ20 (3回使い)	個	1							1
	ゲートバルブ	φ30 (3回使い)	個	2							2
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ30	m	52.0							52.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ30	口	10							10
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	6							6
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ30	口	1							1
	止水栓取付工	(撤去含む) φ30	箇所	2							2
(管土工)											
	仮A11町道As (埋設)	φ30	m	8.2							8.2
	仮A12町道As (撤去)	φ30	m	8.2							8.2

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線9)

仮設配水管工事 $\phi 40$

路線9

管種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図						数 量
(材料費)										
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ40 (3回使い)	m	76.0						76.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	めねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	1						1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ40 (3回使い)	個	3						3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ40×φ20 (3回使い)	個	4						4
	ゲートバルブ	φ40 (3回使い)	個	2						2
(管布設)										
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ40	m	76.0						76.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ40	口	12						12
	ポリエチレン管切断工	φ40	口	5						5
	ねじ込み接合工	(撤去含む) φ40	口	1						1
	止水栓取付工	(撤去含む) φ40	箇所	2						2

仮設給水管工事

路線9

[illegible]

仮設給水管工事

路線9

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線10)

仮設配水管工事 φ30

路線10

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設平面図							数 量
(材料費)											
PE	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30 (3回使い)	m	49.0							49.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ30 (3回使い)	個	1							1
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	おねじ付きソケット φ30 (3回使い)	個	3							3
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	エルボ φ30 (3回使い)	個	2							2
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	チーズ φ30×φ20 (3回使い)	個	1							1
	ゲートバルブ	φ30 (3回使い)	個	2							2
(管布設)											
PE	ポリエチレン管据付工	(撤去含む) φ30	m	49.0							49.0
	ポリエチレン管継手工	(撤去含む) φ30	口	11							11
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	6							6
	止水栓取付工	(撤去含む) φ30	箇所	2							2
(管土工)											
	仮A11町道As (埋設)	φ30	m	6.1							6.1
	仮A12町道As (撤去)	φ30	m	6.1							6.1
	仮A23町道As (埋設)	φ30	m	0.5							0.5
	仮A24町道As (撤去)	φ30	m	0.5							0.5

配水管復旧工事

路線10

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
PPW	水道用ポリエチレン管	1種(軟質)二層管 φ30	m	1.0							1.0
	ポリエチレン管 伸縮可とう離脱防止金属継手	ソケット φ30	個	2							2
(管布設)											
PPW	ポリエチレン管据付工	φ30	m	1.0							1.0
	ポリエチレン管切断工	φ30	口	1							1
	ポリエチレン管継手工	φ30	口	4							4

仮設給水管工事

路綫10

[illegible]

仮設管土工数量表

路線10 宝達志水

[illegible]

令和7年度 志雄処理区下水道災害復旧工事
に伴う水道管布設替工事(その2)

数量計算書(路線11)

[illegible]

			仮設直管部布設工				仮設分岐管設置工				仮設仕切弁設置工				仮設片落管設置工				仮設消火栓設置工 (露出用)				仮設空気弁設置工				仮設露出埋設切替工				仮設既設管連絡工 (断水90°取出)				仮設既設管連絡工 (断水テーク取出)				仮設既設管連絡工 (不断水分岐部連絡)				仮設給水取出口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
主管口径			100				100				100				100				100				100				100				100				100				100				100				100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
×口径(分岐等)			100				80				50								80				50				65				80				100				100				80				50				100				20				25				30				40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
延長・箇所数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	路線11	54	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	合計	54	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	単位	m	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所

仮設配管工事 レンタル管料金計算表 路線11

[illegible]

総重量	100A 490 kg	80A 5 kg	A kg	A kg	総重量計	494 kg
運搬費	数量	単価	金額			
4t車	台		4t車 円			
10t車	1 台		10t車 円			
			運搬費計 円			

配水管復旧工事

路線11

管 種	名 称	形 状 ・ 寸 法	単 位	仮設配水管 継手詳細図							数 量
(材料費)											
HIVPW-RR	水道用硬質塩化ビニル管	φ100	m	2.0							2.0
	VSジョイント	φ100	個	4							4
(管布設)											
HIVPW-RR	ビニル管据付工	φ100	m	2.0							2.0
	ビニル管切断工	φ100	口	2							2
	メカニカル継手工	φ100	口	8							8

仮設給水管工事

路綫11

仮設給水管工事

路線11

[illegible]

仮設給水管土工数量表

路線11 宝達志水

管 土 工	呼び径	土 工 断 面 形 状									土 被 り	土 延 工 長	舗 装 取 壊 工 関 連 数 量				土 工				舗 装 仮 復 旧・路 盤 工 等					備 考
		上幅	下幅	掘 削 深	管 外 径		掘 削 高	舗 装 復 旧 厚	埋 戻 高				As切断 t=15cm まで	As取壊し		As殻 処分	機 械 掘 削 土砂	機 械 埋 戻 砂	機 械 埋 戻 流用土	残土 処分	下層路盤			上層路盤	細粒度 AS(13F)	
									購 入 砂	流 用 土				t=4cm	t=3cm						(RC-40)	(RC-40)	(RC-40)	(M-30)	車道	
		A	B	h	D1	D2	h1	t	b1	b2			t=15cm まで	t=4cm	t=3cm	土砂	砂	流用土	t=15cm	t=16cm	t=10cm	t=12cm	t=3cm			
		(m)											(m)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	
仮A25As (埋設)	φ 20	0.60	0.60	0.33	0.03		0.29	0.13	0.13	0.07	0.30	4.8	9.6	2.88		0.12	0.84	0.37	0.20	0.64			2.88		2.88	
仮A26As (撤去)	φ 20	0.60	0.60	0.33		0.03	0.30	0.30		0.03	0.30	4.8	9.6		2.88	0.09	0.86		0.09	0.77	2.88			2.88	2.88	

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ掘削積込	ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 排ｶﾞｽ対型(第2次基準値)	m3		実務必携 P161 施工 第0-001号
管路埋戻工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ)	埋戻し＋締固め ﾎﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3	m3		実務必携 P163 施工 第0-002号
管路埋戻工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ)	埋戻し＋締固め ﾎﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 砂(良質)〔ｸｳｼｵﾝ用〕 山代・積込(運搬費含む)	m3		実務必携 P163 施工 第0-003号
発生土処理 ﾀﾝﾌﾞﾄﾗｯｸ4t	ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 ＤＩＤ区間無し 20.0km以下	m3		実務必携 P174 施工 第0-004号
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処理 ﾀﾝﾌﾞﾄﾗｯｸ4t	ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 ＤＩＤ区間無し 19.0km以下 ｱｽﾌｧﾙﾄ塊(0.30)	m3		実務必携 P177 施工 第0-005号
上層路盤工	1.8m未満 上層路盤 12cm 粒度調整碎石 M-30	m2		実務必携 P169 施工 第0-006号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 10cm 再生ｸﾗｯｼｬｰｼｮﾝ RC-40	m2		実務必携 P169 施工 第0-007号
下層路盤工	1.8m未満 下層路盤 15cm 再生ｸﾗｯｼｬｰｼｮﾝ RC-40	m2		実務必携 P169 施工 第0-008号
舗装工(人力施工)	車道及び路肩 30mm 細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 細粒度ｱｽｺﾝ(13F) 再生材混入率30%以下 ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 プﾗｲﾑｺｰﾄ用	m2		実務必携 P179 施工 第0-009号
ﾊﾞｯｸﾌｵﾘによる舗装版直接掘削・積込	ﾊﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ｶﾞｽ対型(第2次基準値)	m2		実務必携 P167 施工 第0-010号
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)	掘削深 2.0m以下 ﾎﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 排ｶﾞｽ対型(第2次基準値)	m		実務必携 P46 施工 第0-011号
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	掘削深 2.0m以下 ﾎﾞｯｸﾌｵﾘ山0.28(平0.20)m3 排ｶﾞｽ対型(第2次基準値)	m		実務必携 P46 施工 第0-012号
支保材設置・撤去(軽量金属製)	設置・撤去 1段(掘削深2.0m以下) 水圧式ﾊﾞｲﾌﾞｻﾎﾟｰﾄ	m		実務必携 P49 施工 第0-013号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ20mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-014号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ30mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-015号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ40mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-016号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-017号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ30mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-018号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-019号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-020号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ30mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-021号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(据付工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-022号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-023号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ30mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-024号
ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝ管布設工(継手工)	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-025号
ポリエチレン管切断工	20mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-026号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
ポリエチレン管切断工	30mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-027号
ポリエチレン管切断工	40mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-028号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ13mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-029号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ20mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-030号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ32mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-031号
鋼管小口径管ねじ込み接合	設置(1.0) Φ40mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-032号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ13mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-033号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ20mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-034号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ32mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-035号
鋼管小口径管ねじ込み接合	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	口		実務必携 P66 施工 第0-036号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P用 20mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-037号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P用 30mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-038号
止水栓取付け工	止水栓のみ取付け P P用 40mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-039号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P用 20mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-040号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P用 30mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-041号
止水栓撤去工	止水栓のみ取付け P P用 40mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-042号
レンタル管布設工(人力据付)	G50A(撤去含む)	m		施工 第0-043号
レンタル管布設工(人力据付)	G80A(撤去含む)	m		施工 第0-044号
レンタル管布設工(人力据付)	G100A(撤去含む)	m		施工 第0-045号
レンタル管布設工(人力据付)	G150A(撤去含む)	m		施工 第0-046号
レンタル管布設工(人力据付)	G200A(撤去含む)	m		施工 第0-047号
レンタル管継手工	G50A(撤去含む)	口		施工 第0-048号
レンタル管継手工	G80A(撤去含む)	口		施工 第0-049号
レンタル管継手工	G100A(撤去含む)	口		施工 第0-050号
レンタル管継手工	G150A(撤去含む)	口		施工 第0-051号
レンタル管継手工	G200A(撤去含む)	口		施工 第0-052号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
レンタル管取出し短管設置工	G50A(撤去含む)	基		施工 第0-053号
レンタル管取出し短管設置工	G100A(撤去含む)	基		施工 第0-054号
レンタル管取出し短管設置工	G200A(撤去含む)	基		施工 第0-055号
レンタル管仮設バルブ設置工	G50A(撤去含む)	基		施工 第0-056号
レンタル管仮設バルブ設置工	G100A(撤去含む)	基		施工 第0-057号
レンタル管仮設バルブ設置工	G200A(撤去含む)	基		施工 第0-058号
レンタル管消火栓設置工	G 単口(撤去含む)	基		施工 第0-059号
レンタル管マルチジョイント継手工	G50A(撤去含む)	口		施工 第0-060号
レンタル管マルチジョイント継手工	G80A(撤去含む)	口		施工 第0-061号
レンタル管マルチジョイント継手工	G100A(撤去含む)	口		施工 第0-062号
不断水連絡工	Φ150×Φ150mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P62 施工 第0-063号
不断水連絡工	Φ200×Φ200mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P62 施工 第0-064号
フランジ継手	設置(1.0) J W W A 7.5K Φ75(80)mm以下 新設 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-065号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
フランジ継手	設置(1.0) J W W A 7.5K Φ100mm以下 新設 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-066号
フランジ継手	設置(1.0) J W W A 7.5K Φ150mm以下 新設 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-067号
フランジ継手	設置(1.0) J W W A 7.5K Φ200mm以下 新設 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-068号
フランジ継手取外し工	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) J W W A 7.5K Φ100mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-069号
フランジ継手取外し工	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) J W W A 7.5K Φ150mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-070号
フランジ継手取外し工	撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) J W W A 7.5K Φ200mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P54 施工 第0-071号
吊込み据付(機械力)	据付(1.0) Φ100mm以下 4% 加算する	m		実務必携 P51 施工 第0-072号
吊込み据付(機械力)	据付(1.0) Φ150mm以下 4% 加算する	m		実務必携 P51 施工 第0-073号
吊込み据付(機械力)	据付(1.0) Φ200mm以下 4% 加算する	m		実務必携 P51 施工 第0-074号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ100mm 直管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-075号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ200mm 直管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-076号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ100mm 異形管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-077号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ150mm 異形管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-078号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
GX形継手接合	設置(1.0) Φ200mm 異形管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-079号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ100mm G-Linkを用いた異形管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-080号
GX形継手接合	設置(1.0) Φ200mm G-Linkを用いた異形管の接合 加算する 4%	口		実務必携 P56 施工 第0-081号
鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用)	Φ100mm タイヤモンタプレート 損料の直接入力	口		実務必携 P90 施工 第0-082号
鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用)	Φ200mm タイヤモンタプレート 損料の直接入力	口		実務必携 P90 施工 第0-083号
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦・横型)	設置(1.0) 縦型 Φ100mm以下 クレーン付トラック4〜4.5t積2.9t吊(標準) 割増無し 加算する 4%	基		実務必携 P96 施工 第0-084号
鋳鉄製仕切弁設置(機械力)(縦・横型)	設置(1.0) 縦型 Φ200mm クレーン付トラック4〜4.5t積2.9t吊(標準) 割増無し 加算する 4%	基		実務必携 P96 施工 第0-085号
仕切弁・バタフライ弁設置(人力)(縦・横型)	設置(1.0) Φ50mm 割増無し 加算する 4%	基		実務必携 P97 施工 第0-086号
消火栓設置	設置(1.0) 機械施工 地下式 単口 フランジ接合加算無 加算する 4%	箇所		実務必携 P99 施工 第0-087号
ポリエチレンスリーブ被覆工	Φ100mm以下 4% 加算する タキタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ ポリエチレンスリーブ 固定用ゴムパッド 呼び径100mm JWWA K 158	m		実務必携 P60 施工 第0-088号
ポリエチレンスリーブ被覆工	Φ150mm以下 4% 加算する タキタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ ポリエチレンスリーブ 固定用ゴムパッド 呼び径150mm JWWA K 158	m		実務必携 P60 施工 第0-089号
ポリエチレンスリーブ被覆工	Φ200mm以下 4% 加算する ポリエチレンスリーブ φ200 固定用ゴムパッド	m		実務必携 P60 施工 第0-090号
管明示シート工	(材工共)	m		実務必携 P64 施工 第0-091号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
メカニカル継手	設置(1.0) Φ75mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P52 施工 第0-092号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ100mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P52 施工 第0-093号
メカニカル継手	設置(1.0) Φ150mm以下 加算する 4%	口		実務必携 P52 施工 第0-094号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ50mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-095号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ75mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-096号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ100mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-097号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(据付工)	据付(1.0) Φ150mm 加算する 4%	m		実務必携 P84 施工 第0-098号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)	設置(1.0) Φ75mm 2口(標準) 加算する 4%	箇所		実務必携 P84 施工 第0-099号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)	設置(1.0) Φ100mm 2口(標準) 加算する 4%	箇所		実務必携 P84 施工 第0-100号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ50mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-101号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ75mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-102号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ100mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-103号
ポリエチレン管(融着接合)布設工(継手工)(1口当り)	設置(1.0) Φ150mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-104号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
ポリエチレン管(継手)布設工	設置(1.0) Φ50mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-105号
ポリエチレン管(継手)布設工	設置(1.0) Φ75mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-106号
ポリエチレン管(継手)布設工	設置(1.0) Φ100mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-107号
ポリエチレン管(継手)布設工	設置(1.0) Φ150mm 加算する 4%	口		実務必携 P84 施工 第0-108号
ポリエチレン管切断工	50mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-109号
ポリエチレン管切断工	75mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-110号
ポリエチレン管切断工	100mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-111号
ポリエチレン管切断工	150mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-112号
仕切弁室工	H=600(材工共)	箇所		施工 第0-113号
仕切弁室工	H=1200(材工共)	箇所		施工 第0-114号
消火栓室工	H=600(材工共)	箇所		施工 第0-115号
铸铁管吊上げ積込み(機械力)(撤去管)	Φ100mm以下 4% 加算する	m		実務必携 P106 施工 第0-116号
铸铁管吊上げ積込み(機械力)(撤去管)	Φ200mm以下 4% 加算する	m		実務必携 P106 施工 第0-117号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
铸铁管切断工(エンジンカッター使用)(撤去管)	ダクタイル铸铁管(FCD) Φ200mm	口		実務必携 P104 施工 第0-118号
硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管)	Φ50mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P106 施工 第0-119号
硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管)	Φ75mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P106 施工 第0-120号
硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管)	Φ100mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P106 施工 第0-121号
硬質塩化ビニル管切断工(撤去管)	Φ50mm 加算する 4%	口		実務必携 P104 施工 第0-122号
硬質塩化ビニル管切断工(撤去管)	Φ75mm 加算する 4%	口		実務必携 P104 施工 第0-123号
硬質塩化ビニル管切断工(撤去管)	Φ100mm 加算する 4%	口		実務必携 P104 施工 第0-124号
ポリエチレン管吊上げ積込み(撤去管)	Φ30mm 加算する 4%	m		実務必携 P106 施工 第0-125号
ポリエチレン管切断工(撤去管)	Φ30mm 加算する 4%	口		実務必携 P104 施工 第0-126号
1/2分水栓建込み歩掛	铸铁管 200mm 20mm 電動式穿孔機を使用する 加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-127号
1/2分水栓建込み歩掛	铸铁管 200mm 30mm 電動式穿孔機を使用する 加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-128号
1/2分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 100mm 20mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-129号
1/2分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 75mm 20mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-130号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
ナール分水栓建込み歩掛	ポリエチレン管 50mm 20mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-131号
止水栓取付け工	止水栓・管取付け P P 用 30mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P191 施工 第0-132号
コア取付け工歩掛	加算する 4%	箇所		実務必携 P190 施工 第0-133号
通水試験工 Φ800mm以下:1日当り	既設管と連絡して給水車が必要 4% 加算する	日		実務必携 P127 施工 第0-134号
不断水連絡工	Φ150×Φ100mm 加算する 4%	箇所		実務必携 P62 施工 第0-135号
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ40mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P82 施工 第0-136号
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ50mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P82 施工 第0-137号
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ75mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P82 施工 第0-138号
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ100mm 割増無し 加算する 4%	m		実務必携 P82 施工 第0-139号
硬質塩化ビニル管切断工	40mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-140号
硬質塩化ビニル管切断工	50mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-141号
硬質塩化ビニル管切断工	75mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-142号
硬質塩化ビニル管切断工	100mm 加算する 4%	口		実務必携 P95 施工 第0-143号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
バックホウ(排-2) 山0. 28 (平0. 20)m3		時間		施工 第0-144号
タンバ 60`80kg		日		施工 第0-145号
ダンプトラック 4 t 積		日		施工 第0-146号
タンバ 60`80kg		日		施工 第0-147号
振動ローザ ハンドカイト式0. 5`0. 6t (舗装)		日		施工 第0-148号
振動コンバクタ 40`60kg (舗装)		日		施工 第0-149号
トラック クレーン装置付4〜4. 5t積2. 9t吊		時間		施工 第0-150号
鉄蓋設置	設置(1. 0) 円形 1号 250mm 無収縮モルタルを計上する	個		実務必携 P100 施工 第0-151号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1 号	設置(1. 0) 上下部壁 高さ300mm	個		実務必携 P103 施工 第0-152号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1 号	設置(1. 0) 底版	個		実務必携 P99 施工 第0-153号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1 号	設置(1. 0) 上部壁	個		実務必携 P103 施工 第0-154号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1 号	設置(1. 0) 中部壁 高さ200mm	個		実務必携 P103 施工 第0-155号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1 号	設置(1. 0) 下部壁 高さ300mm	個		実務必携 P103 施工 第0-156号

全代価一覧

名 称	規 格	単 位	単 価	摘 要
鉄蓋設置	設置(1.0) 角形 3号 700×500mm 無収縮 ^① タルを計上する	個		実務必携 P100
レジンコンクリート製ボックス設置(角形)3号	設置(1.0) 高さ200mm	個		施工 第0-157号 実務必携 P104
レジンコンクリート製ボックス設置(角形)3号	設置(1.0) 底 版	個		施工 第0-158号 実務必携 P104
調整リング		個		施工 第0-159号
上部壁		個		施工 第0-160号
中部壁		個		施工 第0-161号
下部壁		個		施工 第0-162号
底 版		個		施工 第0-163号
レンタル管マルチジョイント継手工	G150A(撤去含む)	口		施工 第0-164号
管布設工(据付工)	据付(1.0) Φ150mm 割増無し 加算する 4%	m		施工 第0-165号 実務必携 P82
硬質塩化ビニル管切断工	150mm 加算する 4%	口		施工 第0-166号 実務必携 P95
				施工 第0-167号

管路埋戻工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾌﾙ) 埋戻し+締固め ﾎﾞｯｸﾌﾙ山0.28(平0.20)m ³ 砂(良質)〔ｸﾞﾗｼｮﾝ用〕 山代・横込 (運搬費含む)	100	m ³ 当り
---	-----	-------------------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ(排-2)山0.28(平0.20)m3		時間			施工 第0-144号
クシハ 60~80kg		日			施工 第0-145号
砂(良質)〔クッション用〕 山代・積込(運搬費含む)		m3			2025年10月 石川県単価

発生土処理 タンク トラック4t 実務必携 P174
バックホウ0.28(平0.20)m3 D I D区間無し 20.0km以下
10 m3 当り

[illegible]

施工 第0-005号

代価表

アスファルト塊処理 タンクトラック4t	実務必携 P177
ベック峠山10.28(平0.20)m3 D I D区間無し 19.0km以下 アスファルト塊	(0.30)
10	m3 当り

[illegible]

施工 第0-006号

代価表

上層路盤工	実務必携 P169
1.8m未満 上層路盤 12cm 粒度調整碎石 M-30	
100	m2 当り

[illegible]

舗装工(人力施工)	実務必携 P179
車道及び路肩 30mm 細粒度アスファルト混合物 細粒度アスコン(13F) 再生材混入率30%以下 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
100	m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
細粒度アスコン(13F) 再生材混入率30%以下		t			2025年10月 石川県単価
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		L			2025年10月 石川県単価
振動ローラ ハンドガイド式0.5~0.6t (舗装)		日			施工 第0-148号
振動コンパクタ 40~60kg (舗装)		日			施工 第0-149号
諸雑費 (率+まるめ)		%			

ハックホウによる舗装版直接掘削・積込 実務必携 P167
ハックホウ山0.28(平0.20)m3 0cmを超え10cm以下 排ガス対型(第2次基準値)
100 m2 当り

[illegible]

施工 第0-011号	代価表	軽量鋼矢板たて込み工(両側分) 掘削深 2.0m以下 ハック砂山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値) 100 m 当り	実務必携 P46
------------	-----	--	----------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ハック砂(排-2)山0.28(平0.20)m3		時間			施工 第0-144号
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-012号	代価表	軽量鋼矢板引抜工(両側分) 掘削深 2.0m以下 ハック砂山0.28(平0.20)m3 排ガス対型(第2次基準値) 100 m 当り	実務必携 P46
------------	-----	--	----------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ハック砂(排-2)山0.28(平0.20)m3		時間			施工 第0-144号
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-027号	代価表	ポリエチレン管切断工 30mm 加算する 4%	実務必携 P95
		1	口 当り

[illegible][illegible]

施工 第0-035号

代価表

鋼管小口径管ねじ込み接合 撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ32mm 加算する 4%	実務必携 P66
2	口 当り

[illegible]

施工 第0-036号

代価表

鋼管小口径管ねじ込み接合 撤去(仮設配管、再使用する)(0.4) Φ40mm 加算する 4%	実務必携 P66
2	口 当り

[illegible]

施工 第0-053号

レンタル管取出し短管設置工 G50A(撤去含む)	10	基 当り
-----------------------------	----	------

[illegible]

施工 第0-054号

レンタル管取出し短管設置工 G100A(撤去含む)	10	基 当り
------------------------------	----	------

[illegible]

施工 第0-059号

レンタル管消火栓設置工 G 単口(撤去含む)	1	基 当り
---------------------------	---	------

[illegible]

施工 第0-060号

レンタル管マルチジョイント継手工
G50A(撤去含む)

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-063号

代価表

不断水連絡工
Φ150×Φ150mm 加算する 4%

実務必携 P62

1箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
配管工		人			
普通作業員		人			
不断水穿孔機 200mm以下		日			
諸雑費 (率+まるめ)		%			

施工 第0-064号

代価表

不断水連絡工
Φ200×Φ200mm 加算する 4%

実務必携 P62

1箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
配管工		人			
普通作業員		人			
不断水穿孔機 200mm以下		日			
諸雑費 (率+まるめ)		%			

施工 第0-073号

吊込み据付(機械力)
据付(1.0) Φ150mm以下 4% 加算する

実務必携 P51

10 m 当り

[illegible]

施工 第0-074号

吊込み据付(機械力)
据付(1.0) Φ200mm以下 4% 加算する

実務必携 P51

10 m 当り

[illegible]

鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用) Φ200mm 9'イヤント'ブレード 損料の直接入力	実務必携 P90
1	口 当り

[illegible]

1 基 当 り
 設置(1.0) 縦型 Φ100mm以下 クレン付トラック4～4.5t積2.9t吊(標準) 割増無し 加算する 4%

[illegible]

施工 第0-085号

鑄鉄製仕切弁設置(機械力)(縦・横型) 設置(1.0) 縦型 Φ200mm クレン付トラップ4～4.5t積2.9t吊(標準) 割増無し 加算する 4%	実務必携 P96
1	基 当 り

[illegible]

施工 第0-086号

仕切弁・ハタライ弁設置(人力)(縦・横型) 実務必携 P97
設置(1.0) Φ50mm 割増無し 加算する 4%
1 基 当り

[illegible]

施工 第0-087号	代価表	消火栓設置 設置(1.0) 機械施工 地下式 単口 フランジ 接合加算無 加算する 4% 1 箇所 当り	実務必携 P99
------------	-----	--	----------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
トラック クレーン装置付4～4.5t積2.9t吊		時間			施工 第0-150号
諸雑費 (率+まるめ)		%			

施工 第0-088号	代価表	ポリエチレンスリーブ被覆工 Φ100mm以下 4% 加算する タタイル 鋳鉄管用ホリエチレンスリーブ ホリエチレンスリーブ 固定用ゴム バンド 呼び径100mm JWWA K 158 100 m 当り	実務必携 P60
------------	-----	---	----------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
ホリエチレンスリーブ		本			
タタイル 鋳鉄管用ホリエチレンスリーブ ホリエチレンスリーブ 固定用ゴムバンド 呼び径100mm JWWA K 158		個			2025年10月号 96a建設物価(全国) ㊟ Y140 建築資料電子版P118(全国) ㊟ Y140
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-089号	代価表	ポリエチレンスリーブ被覆工 Φ150mm以下 4% 加算する ダクタイル鋳鉄管用ボリエチレンスリーブ ボリエチレンスリーブ 固定用ゴム ハット 呼び径150mm JWWA K 158	実務必携 P60
		100	m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
ボリエチレンスリーブ		本			
ダクタイル鋳鉄管用ボリエチレンスリーブ ボリエチレンスリーブ 固定用ゴムハット 呼び径150mm JWWA K 158		個			2025年10月 号 %A建設労働(全国) ② %104) 建築費料電子版P118(全国) ② %104)
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-090号	代価表	ポリエチレンスリーブ被覆工 Φ200mm以下 4% 加算する ボリエチレンスリーブ φ200 固定用ゴムハット	実務必携 P60
		100	m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
ボリエチレンスリーブ		本			
ボリエチレンスリーブ φ200 固定用ゴムハット		組			2025年10月 石川県単価
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-109号		ポリエチレン管切断工 50mm 加算する 4%	実務必携 P95
	代価表		1 □ 当り

[illegible]

施工 第0-110号	代価表	ポリエチレン管切断工 75mm 加算する 4%	実務必携 P95
			1 口 当り

[illegible]

ポリエチレン管切断工 100mm 加算する 4%	実務必携 P95
1	口 当り

[illegible]

ポリエチレン管切断工
150mm 加算する 4%

実務必携 P95

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-113号	代価表	仕切弁室工 H=600(材工共)	1 箇所 当り
------------	-----	---------------------	---------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仕切弁鉄蓋 円形1号 H=250～350		組			
レジンコンクリート上下部壁 円形1号 H=300		個			
レジコン座台 円形1号 H=50		個			
鉄蓋設置 設置(1.0) 円形 1号 250mm 無収縮モルタルを計上する		個			実務必携 P100 施工 第0-151号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 上下部壁 高さ300mm		個			実務必携 P103 施工 第0-152号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 底版		個			実務必携 P99 施工 第0-153号
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-114号	代価表	仕切弁室工 H=1200(材工共)	1 箇所 当り
------------	-----	----------------------	---------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仕切弁鉄蓋 円形1号 H=250～350		組			
レジンコンクリート上部壁 円形1号 H=200		個			
レジンコンクリート中部壁 円形1号 H=200		個			
レジンコンクリート下部壁 円形1号 H=200		個			
レジコン座台 円形1号 H=50		個			
鉄蓋設置 設置(1.0) 円形 1号 250mm 無収縮モルタルを計上する		個			実務必携 P100 施工 第0-151号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 上部壁		個			実務必携 P103 施工 第0-154号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 中部壁 高さ200mm		個			実務必携 P103 施工 第0-155号
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 下部壁 高さ300mm		個			実務必携 P103 施工 第0-156号

施工 第0-114号	代価表	仕切弁室工 H=1200(材工共)	1箇所 当り
------------	-----	----------------------	--------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
レジンコンクリート製ボックス設置(円形) 1号 設置(1.0) 底板		個			実務必携 P99 施工 第0-153号
諸雑費 (まるめ)		式			

施工 第0-115号	代価表	消火栓室工 H=600(材工共)	1箇所 当り
------------	-----	---------------------	--------

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
消火栓鉄蓋(φ500) 角形3号		組			
レジンコンクリート 角形3号 H=200		個			
レジンコンクリート底板 角形3号 H=40(2枚1組)		個			
鉄蓋設置 設置(1.0) 角形 3号 700×500mm 無収縮モルタルを計上する		個			実務必携 P100 施工 第0-157号
レジンコンクリート製ボックス設置(角形) 3号 設置(1.0) 高さ200mm		個			実務必携 P104 施工 第0-158号
レジンコンクリート製ボックス設置(角形) 3号 設置(1.0) 底 版		個			実務必携 P104 施工 第0-159号
諸雑費 (まるめ)		式			

鋳鉄管吊上げ積込み（機械力）（撤去管） Φ100mm以下 4% 加算する	10	m 当り	実務必携 P106
---	----	------	-----------

[illegible]

10 m 当り
 10 m 当り

[illegible]

鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用)(撤去管) 鋳鉄管(FCD) Φ200mm	実務必携 P104
1	口 当り

[illegible]

硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管) 実務必携 P106
Φ50mm 割増無し 加算する 4%
10 m 当り

[illegible]

施工 第0-120号

硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管) 実務必携 P106
Φ75mm 割増無し 加算する 4%
10 m 当り

[illegible]

施工 第0-121号

硬質塩化ビニル管吊上げ積込み(撤去管)	実務必携 P106
Φ100mm 割増無し 加算する 4%	
10	m 当り

[illegible]

施工 第0-122号	代価表	硬質塩化ビニル管切断工(撤去管) Φ50mm 加算する 4%	実務必携 P104
		1	口 当り

[illegible]

施工 第0-123号	代価表	硬質塩化ビニル管切断工(撤去管) Φ75mm 加算する 4%	実務必携 P104
			1 口 当り

[illegible]

施工 第0-132号

代価表

止水栓取付け工	実務必携 P191
止水栓・簾取付け P P用 30mm 加算する 4%	
1	箇所 当り

[illegible]

施工 第0-133号

代価表

27 取付け工歩掛 加算する 4%	実務必携 P190
1	箇所 当り

[illegible]

施工 第0-134号

代価表

通水試験工 Φ800mm以下:1日当り
既設管と連絡して給水車が不要 4% 加算する
実務必携 P127
1 日 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費 器具損料及び諸雑費 (率+まるめ)		%			

施工 第0-135号

代価表

不断水連絡工
Φ150×Φ100mm 加算する 4%
実務必携 P62
1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
配管工		人			
普通作業員		人			
不断水穿孔機 200mm以下		日			
諸雑費 (率+まるめ)		%			

施工 第0-142号		代価表	硬質塩化ビニル管切断工 75mm 加算する 4%	実務必携 P95
			1	口 当り

[illegible]

施工 第0-143号	代価表	硬質塩化ビニル管切断工 100mm 加算する 4%	実務必携 P95
			1 口 当り

[illegible]

ダンブトラック 4 t 積	
	1 日 当 り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(一般)		人			
軽油 1.2号		L			2025年10月 石川県単価
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級		供用日			建設機械等損料表 R7 P03-1
タイヤ損耗費及び補修費 ダンプトラック 4t(良)		供用日			2025年10月 石川県単価
諸雑費 (まるめ)		式			

7/ハ° 60~80kg

1 日 当 り

[illegible]

第1号 施工パッケージ代価表

舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下						積算単価 標準単価	m m	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位		補正情報	出典等
K								
K1	コンクリートカット[バキューム式(超低騒音型)・湿式]	切削深20cm級プレート径φ56cm			供用日 日			
その他	その他(機械)							
R								
R1	特殊作業員				人 人			
R2	土木一般世話役				人 人			
R3	普通作業員				人 人			
その他	その他(労務)							
Z								
Z1	コンクリートカット(プレート)	径18インチ			枚 枚			
Z2	ガソリン	レギュラー			L L			
その他	その他(材料)							

第2号 施工パッケージ代価表

床掘り(人力) 土砂 現場制約あり						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位		補正情報	出典等
R								
R1	普通作業員				人 人			

鋼材質料算出

不断水

(1) 軽量鋼矢板賃料算定計算書

	名 称	形状	使用回数 (N)	矢板種類 (矢板幅)	1枚当たり矢 板長 (m/枚)	矢板枚数 (枚)	賃料条件 (日以内)	m当り重量 (t/m・枚)	使用矢板重 量 (t)	供用日数 (a)	賃料 (円/t・日)	1現場当たり 修理費及び 損耗費 (c)	補正率 (N+1)/2	賃料金額 (F)
鋼 矢 板	軽量鋼矢板Ⅱ型	250×5.0×36h		0.250	2.0	26		0.0148	0.770					
合計									0.770					

(2) 切梁・腹起こし材等の鋼材質料算定

	名 称	形状	使用数量	単位	単位重量 (t/段)		賃料条件 (日以内)	基本料 (段・日)	支保材重量 (t)	供用日数 (日)	賃料 (段・日)			賃料金額
支 保	水圧四面梁1S	1200～1620	4	本	0.0192				0.0768		395			
	水圧手動ポンプ	タンク容量15～19ℓ	1	台							154			
合計									0.0768					

重量合計

賃料合計額

0.847 t

志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その２）
特 記 仕 様 書

1、工事内容

- 1)、位置 羽咋郡宝達志水町 吉野屋地内 他
- 2)、工事概要 本工事は志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その２）であり、その概要は工事設計書の通りである。

2、工事材料の規格

工事材料の規格は以下のとおりとする。なお、メーカー表示のものは、同等品以上の性能を有するものとする。

【本設工事】

铸铁管	水道用ダクタイル铸铁管 GX 形(第 1 種、第 S 種)	JDPA G 1049
	水道用ダクタイル铸铁異形管 GX 形(内面粉体塗装)	JDPA G 1049
	水道用ダクタイル铸铁管 NS 形(第 1 種、第 3 種)	JWWA G 113
	水道用ダクタイル铸铁異形管 NS 形(内面粉体塗装)	JWWA G 114
	水道用ダクタイル铸铁管 (第 1 種、第 3 種)	JIS G 5526 ・ JWWA G 113
	水道用ダクタイル铸铁異形管 K 形(内面粉体塗装)	JIS G 5527 ・ JWWA G 114
ダクタイル铸铁曲管	NS 形 ロングベンド クロダイト	
	両受けベンド (特押内蔵型) コスモ工機(S ロック)	
特殊押輪	大成機工(TN-30W) コスモ工機(CM-B) 川崎機工 水研	
特殊押輪(耐震用)	大成機工(TN-30R) コスモ工機(CMH)	
鋼管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116
鋼管継手	水道用ねじ込み式管継手 樹脂被覆	JIS B 2301
ビニル管	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129 ・ JIS K 6742
ビニル管継手	水道用硬質塩化ビニル管用 FCD 製異形管(抜止機構内蔵形) 積水 クボタ	
VC ジョイント等	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)	
ポリエチレン管	配水：水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 114
	給水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742
ポリエチレン管継手	配水：水道配水用ポリエチレン管継手	JWWA K 115 PTC K 13
	給水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装	
仕切弁	ソフトシル仕切弁 (水道用 0.74MPa、FCD 製)	JWWA B 120
	NS 形・K 形 受挿しソフトシル仕切弁 前沢工業 クボタ 栗本 清水合金	
	NS 形 両受けソフトシル仕切弁 前沢工業 クボタ 栗本 清水合金	
	水道配水用ポリエチレン管用受挿しソフトシル仕切弁 前沢工業 清水合金	
	水道配水用ポリエチレン管用両受けソフトシル仕切弁 前沢工業 清水合金	
空気弁	エアリス弁 前沢工業 明和工業又は同等品以上	

消火栓	地下式単口(浅層埋設対応型)	前沢工業	クボタ	JWWA B 103
	内外面粉体塗装			
ボール式副弁	φ75 H=100 FCD レバー式内面粉体塗装	前沢工業	森田	清水合金
仕切弁筐	町指定品 草竹 トミス			
消火栓筐	町指定品 草竹			
空気弁筐	町指定品 草竹 ダイモン			
給水管材	町指定品			
配水管渡架材	明和工業 (PPLP)			

【仮設工事】

レンタル鋼管	REPCS 明和工業			
レンタル鋼管継手	G 型(グロータイプ)、H 型(ハウジングタイプ)	明和工業		
ゲートバルブ・				
ストップバルブ	水道用または JIS 10kgf/cm ² JIS B 2011			
ビニル管	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129・JIS K 6742		
ビニル管継手	水道用硬質塩化ビニル管用 FCD 製異形管(抜止機構内蔵形) 積水クボタ			
VC ジョイント等	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			
ポリエチレン管	配水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742		
	給水：水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6742		
ポリエチレン管継手	配水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装			
	給水：KMP ポリエチレン管継手 前沢給装			
不断水割 T 字管	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			
不断水バルブ	大成機工 コスモ工機(粉体塗装)			

3、工事配管工事

- 1)、管布設位置は平面的に見て、管面で 30 cm他の構造物と離れる位置に布設するものとする。
- 2)、管の接合にあたっては規定の量を挿入し、水漏れが生じないよう充分注意の上で施工すること。
- 3)、本管の既設管との接合は、監督員の指示する時間内に速やかに行うこと。
必要に応じて試験掘を行う場合や夜間作業となる場合もあるが、一部分的であり請負人はこれに従うものとし、この精算も行わない。
- 4)、配水管については通水試験を自記録水圧計で 60 分行うものとし、試験圧は 0.74MPa とする。
尚、記録紙は当町監督員に提出するものとする。
又、原則として給水管接続工事を済ませて行うものとする。
- 5)、給水管についてはポリエチレン管とし、既設接続とする。又、量水器ボックスを取替える場合があり、これらの材料は当町指定品を使用するものとする。
給水管布設位置について、汚水樹取付管とメーター位置が 2m 以内しか離れない場合は、汚水取付管と同じ場所に布設するものとする。そうでない場合は、水道単独でメーター位置で布設替するものとする。但し、1 戸毎はメーター位置の確認を当町監督員と打合せをする。
尚、分水栓の取付位置、量水器位置を明確にする台帳を作製し、提出するものとする。
- 6)、铸铁管の外面は全長に渡りポリエチレンスリーブを被覆するものとする。ビニル管の铸铁

異形管部やサドル分水栓部も被覆する。

- 7)、水路及びヒューム管を伏越する場合は、その底部に直接継手個所を設けてはならない。又、その部分に管割上継手がくる場合は前後に切管を設ける。
- 8)、鑄鉄管からの給水管引込みについては、サドル分水栓取付に際し、インサートリングを使用する。（但し、メーター口径の確認を当町監督員と打合せし決定する。）
- 9)、アスファルト・コンクリート等の廃棄物については、当町監督員にマニフェストを提出するものとする。

4、仮設配管工事

- 1)、管の布設位置は現地を確認の上、支障のない位置に布設するものとする。
- 2)、管の接合にあたっては規定の方法に従うものとし、水漏れが生じないよう充分注意の上で施工すること。
- 3)、本管の既設管との接合は、監督員の指示する時間内に速やかに行うこと。
必要に応じて試験掘を行う場合や夜間作業となる場合もあるが、一部分的であり請負人はこれに従うものとし、この精算も行わない。
- 4)、フレキ管を使用する場合は、規定の曲げ角度に留意すること。
- 5)、フレキ管や曲管部、長い直管部は、土のうや木杭、Co 防護による振れ止め施すこと。
- 6)、仮設配管完了時の通水試験にて、漏水および振れ止め等の確認を行うこと。
- 7)、給水管についてはポリエチレン管とし、既設接続とする。
- 8)、アスファルト・コンクリート等の廃棄物については、当町監督員にマニフェストを提出するものとする。

5、施工管理は石川県土木工事施工管理基準に準じる。

6. 安全対策

車道にて工事車両の駐車や重機の配置など道路の通行を制限する可能性がある場合、または地理的要因や規制に伴う視界不良の現場での工事を行う場合には、適切に交通誘導員を配置する必要がある。ただし、石川県公安委員会が指定する道路において交通誘導警備業務を実施する場合（道路における危険を防止するため交通誘導警備が必要と認める区間の工事）では、有資格者警備員を一人以上配置すること。

以上

志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その２）
標準仕様書

第１条 適用範囲

- 1、本仕様書は志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その２）に適用する。
- 2、工事は本仕様書及び設計図書に基づき施工を行うこと。
- 3、特記仕様書と本仕様書との内容に相違がある場合は、特記仕様書を優先する。

第２条 他の共通仕様書の準用

本仕様書は、宝達志水町が定めた当該工事の施工に関する一般的事項を示したものであり、この仕様書のほか、石川県土木工事標準仕様書および日本水道協会水道工事標準仕様書を準用のうえ施工しなければならない。

なお、石綿セメント管の撤去等が発生した場合については、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」に基づき施工しなければならない。

第３条 法令・条例等の適用

本工事に際して、法令、条例、規則等を遵守すること。

第４条 工事工期

- 1、工事竣工日時における当町の指定する日時は工事の完了を示すもので、通水テストを行い直し工事をも終了して、この指定する日時に完了するものとする。
- 2、工程通りの施工が出来ず第３者に損害を与えた場合は、当事者間で話し合い解決するものとし、当町はその損害を一切負わないものとする。

第５条 工事管理

- 1、請負者は工程表に付いて当町監督員の承諾を受け、適切な工程管理を行わなければならない。これを変更する場合も同様とする。
- 2、請負者は、工事実施状況を記録した工事日報を提出しなければならない。

第6条 工程会議

- 1、請負者は、当町主催の工程会議に出席すること。
- 2、請負者は工事着手前に仕様書及び設計図書を充分検討し、不明疑問な点は速やかに申し出て当町監督員の指示を受け、これに従うものとする。
- 3、各工事請負者間の連絡を密にし、工程会議において現段階の工事進捗状況、施工の疑問点、施工方法及び以後の工程等の説明を行い、各工事請負者間の問題点を解決し、監督員の承認を求めながら後戻り工事がないう工事を進行し、各施設の機能が完全に果たされるよう施工すること。

第7条 施工計画

- 1、請負者は、施工方法及び順序に付いてあらかじめ当町監督員の承認を受けなければならない。
- 2、請負者は、工事施工に必要な仮設建物、主要な機械設備及び材料置場等の配置計画並びに段取りに付いて、あらかじめ当町監督員と協議しなければならない。

第8条 用地の使用

- 1、請負者は工事施工の為に直接必要な官有地を使用する時は、あらかじめ当町監督員の承諾を受けなければならない。
- 2、民有地を使用する場合の土地の借上げ及び保証費等は、すべて請負者の負担と責任において行わなければならない。

第9条 施工検査

特記仕様書又は、あらかじめ当町監督員の指示した個所など主要な工事段階の区切り等には、当町監督員の検査を受けなければ次の作業を進めてはならない。

第10条 材料検査

- 1、材料検査は指定材料及び指定外材料の全てに付いて行うものとし、材料搬入後速やかに行うもので、この検査を受けた後で工事を行うことを原則とする。
- 2、不合格品は、速やかに場外へ搬出するものとする。
- 3、試験成績表は、材料検査毎に提出するものとする。
- 4、性能検査を必要とする物件で工場検査を要するものは、10日前にその理由を記し書類にて申請すること。
- 5、検査に必要な費用は全て請負者の負担とする。

第 11 条 資材の選定

- 1、本工事に使用する資材,材料の選定は、各工事特記仕様書に指定するもので、JIS 規格品及び水道協会規格品とし、指定外及び規格品以外の物件に付いては、事前に当町監督員の承認を求めて搬入すること。
- 2、仕様不一致の場合は速やかに場外に搬出するものとし、これによって工事等に遅れが生じた場合の他の工事請負者への損害は、全てその工事請負者が補償、費用負担を行うこと。

第 12 条 承認図の提出

請負者は契約後十分な工事打ち合わせを行って詳細な施工図を作成し、承認を受けた後で施工に着手することとし、承認を受けずに施工したものにあつては、取替、修正を求める場合もある。

承認図を得るための提出図は各 3 部とし、下記の通りとする。

- 1)、仕切弁、空気弁、消火栓、補修弁類
- 2)、筐及び鉄蓋類
- 3)、その他指定する製品見本及び色見本

第 13 条 許可書及び申請書の提出

- 1、各工事に要する許可書及び申請書は、請負者がこれに応じて関係官庁に提出するものとする。
- 2、道路関係工事において、工事期間中に夜間工事等の条件が付帯する場合はこれに従うこと。

第 14 条 既設水道施設関連工事

- 1、既設水道施設に関する工事を行う場合は、事前に当町監督員に工事施工図を提出してあらかじめ試掘等を行い、現場確認の上で承認を受けるものとする。
- 2、夜間工事等により施工する場合もあり、請負者は異議の申し立ては出来ないものとする。

第 15 条 工事現場管理

- 1、請負者は工事現場が隣接又は、同一場所において別途工事がある場合は常に相互協調して紛争を起こさないように処理しなければならない。
- 2、請負者は工事個所及びその周辺にある地下、地上の既設構造物及び立木農作物に支障を及ぼさないよう当町監督員と協議の上で必要な防護工等の措置を施さなければならない。これを行わずして発生した事故は、請負者の責任となる場合もある。
- 3、請負者は、豪雨出水、その他天災に対しては平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をして事故防止に努めなければならない。
- 4、火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、その保管及び取扱いについて関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。
- 5、工事期間中、請負者は保安施設設置基準による標識を揚げなければならない。
- 6、請負者は、工事の実施に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた時又は第3者に損害を与えた事故が発生した時は、遅滞なくその状況を当町監督員に報告しなければならない。
- 7、ダンプ出入口の幹線道路に付いては、誘導員が立つ等の配慮を必要とする。
- 8、土砂運搬及び重機運搬等に関しては、道路管理者の指示がある場合はこの指示に従うものとする。

第 16 条 工事測量

- 1、請負者は、工事着手前に必要な測量を実施しなければならない。
- 2、測量の結果で設計図書と現地に差違が生じた場合は、当町監督員に報告して指示に従うものとする。
- 3、用地杭、仮 B.M. 及び重要な工事測量標は原則として移設してはならない。但しこれを存置することが困難な場合は、当町監督員の承認を得て移設することが出来るものとする。
- 4、工事に必要なやり方、その他工事施工の基準となる仮施設は、請負者が設置して当町監督員の検査を受けなければならない。

第 17 条 工事検査

- 1、工事完成検査、一部完成検査及び中間検査にあたり、請負者又は現場代理人は主任技術者と共に当該検査に必ず立ち会わなければならない。
- 2、請負者は、検査に際しあらかじめ出来形図、資材受払簿、工事日報、工事写真、その他当町監督員の指示する資料及び記録を準備して、検査にあたるものとする。
- 3、検査の方法は本仕様書に定めるところに従い、請負者は異議を申し立てることは出来ない。尚、工事施工に疑いのある時は破壊検査を行い、その費用及びその結果に不都合な点があれば、その復旧に要する費用は請負者の負担とする。
- 4、誤差が著しく施工の機能に障害が生じた場合は、請負者の責任により正しく機能が働くようにすること。

第 18 条 工事写真

工事写真は工事の進行に伴い、請負者は自己の負担において次の事項に付いて記録写真を撮影し、必要に応じて当町監督員に提出しなければならない。

- 1)、工事着手前、完成後全景写真（出来るだけ同一位置から撮影する）
- 2)、施工中及び施工方法の記録
- 3)、後刻検査困難又は、不可能な箇所

撮影にあたっては被写体の名称、寸法及び施工項目を明確にし、目盛尺を当てて撮影しなければならない。

第 19 条 工事契約時に提出すべき書類

請負者は規則に定める様式により、指定期日迄に次の書類を提出しなければならない。

- 1)、工事請負契約書
- 2)、工事工程表
- 3)、施工計画書
- 4)、現場代理人及び主任技術者
- 5)、下請承認願い
- 6)、その他当町監督員の指示する書類

第 20 条 工事竣工時に提出すべき書類

請負者は、規則に定める様式により、指定期日迄に次の書類を提出しなければならない。

- 1)、工事写真 1 部現況、工事着手～完了
- 2)、出来高図面 2 部
 - (イ)、元設計によらず変更した分
 - (ロ)、配管布設位置の変更
 - (ハ)、道路上の配管位置図及び深度（寸法記入）
 - (ニ)、道路上の配管構造物の位置（寸法記入）
- 3)、保証書及び検査書 1 部
 - (イ)、材料検査書
 - (ロ)、工事日報

第 21 条 工事保証期間

配管関係稼働後 1 ケ年

- 1、上記期間内に発生した事故及び漏水等は、無償で補修取替えに応じるものとする。
- 2、保証期間終了の直前に技術員を派遣し、整備点検を行うものとする。

第 22 条 後片づけ

工事の終了した時は、後片づけ及び清掃等を工事期間内に完了しなければならない。又、当町監督員の確認を受けること。

第 23 条 石綿セメント管の取り扱いについて

石綿セメント管更新事業については、労働安全衛生法に基づいた「石綿障害予防規則」が施行されたことにより、石綿セメント管の取り扱いについては同規則の遵守が義務づけられている。

- 1、請負者は、特定化学物質等作業主任技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任する。
- 2、請負者は、あらかじめ、石綿セメント管の埋設状況を設計図書等により調査し、事前調査結果報告書を作成し、当町監督員に提出する。
- 3、請負者は、石綿粉じんの発散防止、抑制する方法、労働者への石綿粉じんのばく露を防止する方法を作業計画書に定め、当町監督員に提出する。
- 4、請負者は、石綿管作業日報を作成し、当町監督員に提出する。
- 5、請負者は、撤去された石綿セメント管を廃棄する場合は、産業廃棄物の処理基準に基づいて処理を行う。また、マニフェストを当町監督員に提出する。
- 6、請負者は、工事完了後、完了報告書を作成し当町監督員に提出する。

第 24 条 工事カルテ作成、登録について

請負者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は、工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。（ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。）

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金 2,500 万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に報告しなければならない。なお、工事請負代金2,500万円以上の工事に変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の報告を省略できるものとする。

以上

石川県土木工事特記仕様書〔共通編〕

当該工事の対象は、○印の項目とする。

令和7年10月1日適用

対象

- 1 検査指定材料 (約款第13条第2項)
- 2 見本資料指定材料 (共通仕様書第2編第1章第2節第4項)
- 3 資料指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第2項)—~~
- 4 段階確認指定工種 (共通仕様書3-1-1-3第6項)
- 5 立会い指定材料及び工種 ~~—(約款第14条第1項及び2項)—~~
- 6 中間検査 ~~—(共通仕様書1-1-1-24第8項)—~~
- 7 安全管理
- 8 施工条件明示
- 9 再生資源（利用及び利用促進）計画書及び実績表 ~~—(共通仕様書1-1-1-20)—~~
- 10 使用機械
- 11 廃棄物処理及び清掃に関する法律による管理表(マニフェスト)制度
(共通仕様書1-1-1-20第2項)
- 12 ~~コンクリート構造物の品質確保~~
- 13 電子納品・情報共有システムの対象
- 14 工事における創意工夫等の実施状況や総合評価方式における技術提案の履行状況
- 15 ~~建設リサイクル法の対象~~
- 16 自主施工工事の対象
- 17 ~~ＩＣＴ施工工事の対象~~
- 18 いしかわ週休２日工事の対象 発注方式：【発注者指定型（現場閉所）】
- 19 ~~余裕期間制度（フレックス方式）試行工事の対象~~
- 20 ウィークリースタンス等の推進
- 21 その他
- 22 「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」および、
「遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更」の対象工事
※運用基準は県のHP「<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/kiyun.html>」を参照
- 23 災害復旧工事における現場環境改善費及び快適トイレの対象
※運用基準は県のHP「https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/r7/genbakannkyoukaizen_saigai.html」
を参照

・本工事は、本特記仕様書〔共通編〕および「石川県土木工事共通仕様書」により施工すること。
・作成する書類については、発注者より特別な指示のない限り「石川県土木工事様式」
及び「石川県土木工事施工管理基準」に基づき作成すること。

1 検 査 指 定 材 料 (約款第13条第2項)

区 分	印	材 料 検 査 の 対 象 と な る も の
1. 不可視部分の材料		(1) 基 礎 工 (木杭、鋼杭、プレキャストコンクリート杭)
		(2) 矢 板 類 (木矢板、鋼矢板、コンクリート矢板、PC矢板)
		(3) 胴 木 類 (胴木、鉄筋コンクリート胴木)
	○	(4) 管 類 (鋼管、コルゲートパイプ、鉄筋コンクリート管、 铸铁管、合成樹脂製管類、消雪パイプ)
		(5) 暗 渠 類 (プレキャストボックス)
		(6) 鉄 筋 類 (普通丸鋼、異形棒鋼)
		(7) 目 地 類 (止水板、目地板、タイバー、スリップバー、 チェアクロスバー)
		(8) 形 鋼 類 (トンネルの支保工材、基礎杭の補強材)
		(9) 網 類 (法面吹付等及び舗装用金網)
		(10) シート類 (河川海岸用の吸出し防止材、路盤紙)
		(11) アンカー類 (アンカーボルト、ロックボルト、タイロッド、 アンカーケーブル、定着材料)
		(12) マンホール類 (人孔用斜壁及び直壁)
		(13) 土壌改良材 (タンカル等の他肥料を含む)
		(14) 地盤改良材 (セメント系等)
		(15) 基盤材・種子類 (法面緑化)
2. 重要構造物の材料		(1) 橋 梁 類 (鋼橋及びP C 橋の材料)
		(2) 落石及び 防雪柵類 (落石防止柵、スノーシェッド、なだれ防止柵、 スノーシェルター)
		(3) 水 門 類 (ゲートの材料)
		(4) ポンプ及び原動機類
3. その他の材料		特に監督員が必要と認めるもの。

(注) 指定材料は、○印とする。

2 見 本 資 料 指 定 材 料 （共通仕様書第2編第1章第2節第4項）

JISマーク表示品については、製品にJISマークが表示されていることが分かる写真等を監督員に提示することで、見本または品質を証明する資料の提出を省略できる。

区 分	印	見 本 又 は 資 料 提 出 の 対 象 と な る 材 料
1. 見 本		(1) 塗 料 (鋼橋、水門、鋼矢板、コンクリート面、 落石・なだれ防止柵、スノーシェッド各塗装)
		(2) 捨 石 (港湾、海岸及び河川)
		(3) そ の 他 ()
2. 資 料 (検査指定材料以外のもの)		(1) コンクリート二次製品 ()
		(2) 形 鋼 類 ()
		(3) リサイクル製品 ()
		(4) リサイクル認定製品 ()
		(5) そ の 他 ()
3. その他の材料	○	(1) レディーミクストコンクリート（共通仕様書1-3-3-2） JISマーク表示認証製品を製造していない工場で製造する場合は、 配合計画書及び基礎資料を提出 ※上記以外は、省略可
	○	(2) アスファルト混合物（次のうちいずれかを提出すること） ・アスファルト混合物事前審査認定書（写） ・配合設計・試験練り結果報告書 ・実績または定期試験による配合設計・試験練り結果報告書 (小規模工事：500t未満あるいは2,000m ² 未満)

（注）指定材料は、○印とする。

3 資 料 指 定 工 種 （共通仕様書3-1-1-3第2項）

区 分	印	資 料 事 前 提 出 の 対 象 と な る 工 種
1. 資料の事前提出		(1) トンネル (両坑口間の基準点、中心線測量結果)
		(2) P C 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(3) 鋼 橋 (下部工の橋座高、支承間距離測定結果)
		(4) 道路維持 (路面切削計画図)
		(5) 薬液注入 (事前調査)
2. そ の 他		

（注）指定工種は、○印とする。

4 段階確認指定工種（共通仕様書3-1-1-3第6項）

水道・下水道・その他編

印	工 種・個 所	項 目	確 認 時 期	摘 要
○	工事測量	位 置	設 定 時	仮B・M、中心線等、入孔芯等
	支障物件移設	〃	着手前、埋戻前	地下埋設物等
	ウエルポイント工	〃	設 置 前	布設位置、排水設備、観測井
	基礎杭、鋼矢板、土留	出 来 形	打止め完了時	
○	床 掘	〃	完 了 時	床掘底面高
	基 礎 工	〃	〃	基準高
○	管渠築造工	〃	埋 戻 前	基準高、接合
	鉄 筋	〃	組立て完了時	
	入孔築造工	〃	埋 戻 前	
	薬液注入工	止水状況	完 了 時	止水効果
	推進掘進工	位 置	掘 進 前	方向、中心線、勾配等
	滑材裏込注入工	注 入 量	完 了 時	空袋検査
	シールド掘進工	位 置	掘 進 前	方向、中心線、勾配等
	シールド一時覆工	出 来 形	完 了 時	基準高、蛇行
	シールド二時覆工	〃	〃	基準高、覆工厚
○	水压試験工	圧 力	管路布設完了時	0.75MPa、1h

（注）確認対象工種は○印とする。なお、確認頻度の多い場合は、監督員と協議すること。

7 安全管理

- 1 受注者は、安全管理のための自主点検を実施するものとする。
- 2 自主点検の結果は点検書に記載し、保管するものとする。
- 3 受注者は、土石流の到達する恐れのある指定現場において、土石流に対する安全対策として監視員 1 名を設置し、流域状況の点検及び記録整理を実施するものとする。

4 安全訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に則した安全訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割当て下記の項目から実施内容を選択し、安全訓練を実施するものとする。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- (2) この工事内容等の周知徹底
- (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
- (4) この工事における災害対策訓練
- (5) この工事現場で予想される事故対策
- (6) その他、安全訓練等として必要な事項

また、土石流の到達する恐れのある指定現場については、関係作業員に対して工事着手後遅滞なく 1 回、及びその後 6 ケ月に 1 回の避難訓練を実施するものとする。

5 安全訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、この工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

6 安全訓練等及び土石流監視報告書の実施状況報告

安全訓練等及び土石流監視の実施状況報告をビデオ等、または実施状況報告書に記録し、報告するものとする。

7 安全のための適切な臨機の措置

- (1) 気象状況等に関して常時十分な注意を払うこと。
- (2) 作業時に危険を予知した場合等においては、ただちに作業を中止し作業員を安全な場所に退避させること。
- (3) 異常箇所の点検・原因の調査等は、二次災害防止のための応急措置を行った後、十分注意して行うこと。

8 施工条件明示

下記明示項目、事項のうち○印該当欄は、工事施工にあたって制約等を受けること
ので留意すること。

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等	
I 工 程	1 関連する別途発注工事あり ア 工 事 名：（道路災(6-5251、6-10712)） イ 入 札 予 定：（ ） ウ 制 約 工 種：（ ） エ 施工可能工種：（ ） オ そ の 他：（ ）		
該 当 ○	2 他機関協議による工程条件あり ア 工 種：（ ） イ 期 間：（ ） 年 月 ～ 年 月 ウ 協議機関名：（ ） エ 協 議 内 容：（ ）		
	3 その他条件（ ）		
	II 用 地	1 補償物件撤去まで着工制限あり ア 着工予定（ ） 年 月 イ 区 間（No. ～ No. ） 対象物件：建 物（ ） 散去予定（ ） 年 月 ： 工 作 物（ ） 散去予定（ ） 年 月 ： 立 木（ ） 伐採予定（ ） 年 月 ： そ の 他（ ） 散去予定（ ） 年 月	
該 当 ×	2 その他条件（ ）		
	III 公害対策	1 施工法の制限あり（条件及び位置については別紙及び位置図参照） ア 騒音 イ 振動 ウ 水質 エ 大気 オ その他（ ） 必要対策：工場（ ） 井戸等（ ） ： 学 校（ ） その他（ ） ： 病 院（ ）	
該 当 ×	2 その他条件（ ）		
	IV 安全対策	1 鉄道等の近接作業制限あり ア 工法制限あり イ 作業時間制限あり ウ 列車見張員（配置人員：1日 名、延べ 名）	
	2 発破作業制限あり ア 防護工指定あり イ 作業時間制限あり		
	対策対象物（ ）		
	3 交通誘導員 配置人員 交通誘導警備員A：1日 名、延べ 名 交通誘導警備員B：1日 2名、延べ 196名 ※上記交通誘導警備員Aについては、石川県公安委員会が道路における危険を防止するため 交通誘導警備が必要と認める区間の工事で、交通誘導警備業務を警備会社に委託する場合		
	4 土石流発生のおそれがある 渓流あり ア 監視体制の強化が必要 イ その他（ ）		
	5 夜間作業あり（ ）		
6 その他条件（ ）			

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
V 工事用道路 該 当 ○	1 一般道路（搬入路）の使用制限あり	ア 搬入経路指定あり イ 時間帯制限あり
	2 一般道路の占用可能	ア 全面占用可 イ 片側占用可 ウ 時間制限あり
	3 仮設道路の設置条件あり 標識等の配置位置図等は 共通仕様書1-1-1-34による。	ア 一般交通供用あり イ 安全施設必要 ウ 路面工(工種 簡易舗装(標準横断面図)を参照) エ 工事完了後存続 W= m (最低総幅員)
	4 その他条件 ()	
VI 仮 設 備 該 当 ×	1 仮設構造物の転用 ()	
	2 仮設構造物の兼用 ()	
	3 その他条件 ()	
VII 建設発生土, 補足土, 産業廃棄物 等 該 当 ○	受注者は、下記によらず施工する場合は、監督員と協議すること。	
	1 建設発生土	ア 名 称 (河北郡市環境整備事業 (協)) イ 所在地 (河北郡津幡町興津地内) ウ 引渡し条件
	2 補足土	ア 名 称 () イ 所在地 () ウ 引渡し条件
	3 産業廃棄物	ア コンクリート塊 (処分施設) イ アスファルト塊 (処分施設 (株) エコマスク) ウ 木くず (処分施設) エ その他 (処分施設 鋳鉄管 中部資源再開発 廃プラスチック(有)國富産業)
	4 その他条件 ()	
VIII 工事支障物件 該 当 ○	受注者は、共通仕様書1-1-1-28に基づき、現場着手時に地下埋設物等の事前調査を行う。	
	1 占用支障物件	ア 電気 (電柱、支線、架空線) 移転日 (月 日) イ 電話 (地下、電柱、架空線) 移転日 (月 日) ウ 水道 (本管、給水管) 移転日 (月 日) エ ガス (本管、引込管) 移転日 (月 日) オ その他 () 移転日 (月 日)
	2 その他条件 ()	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等	
IX 現場環境改善 (5内容) ・率計上分	1 仮設備関係	ア 用水・電力等の供給設備 イ 緑化・花壇 ウ ライトアップ施設 エ 見学路及び椅子の設置 オ 昇降設備の充実 カ 環境負荷の低減	
該 当 ×	2 安全関係	ア 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) イ 盗難防止対策 (警報機等) ウ 避暑 (熱中症対策※) ・防寒対策 ※主に現場の施設や設備に対する熱中症対策 エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど	
	3 営繕関係	ア 現場事務所の快適化 イ 労働者宿舍の快適化 ウ デザインボックス (交通誘導警備員待機室) エ 現場休憩所の快適化 オ 健康関連設備及び厚生施設の充実等	
	4 地域とのコミュニケーション	ア 完成予想図 イ 工法説明図 ウ 工事工程表 エ イメージアップ看板 オ デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) カ 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) キ 見学所 (インフォメーションセンター) の設置 及び管理運営 ク パンフレット・工法説明ビデオ ケ 地域対策費等 (地域行事等の経費を含む)	
	①個別積上	内容：	費用：
	②避暑・避寒対策費 (精算時の設計変更対象で積上) 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用 (エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど) については、対策の妥当性を確認の上、設計変更となる。 現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される現場環境改善費の50%を上限とする。		
・積上分			
X 快適トイレ	「快適トイレ実施要領」に基づき実施すること。 実施内容および実施した場合の変更については、上記要領を参照すること。		
該 当 ×	1 快適トイレを原則設置すること		
	2 契約後、監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる。		
X I 熱中症補正	「熱中症対策に資する現場管理費の補正の要領」に基づき、熱中症対策に係る現場管理費の補正※を希望する場合は、監督員と協議すること。 ※主に作業員個人に対する熱中症対策 (塩飴、経口保水液等の飲料水、冷却用品、空調服、熱中症対策キットなど)		
該 当 ○			
X II 遠隔臨場	「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場を希望する場合は、監督員と協議すること。		
該 当 ○	1 現場発生材あり	品名・納入場所 ()	
	2 支給材あり	品名・納入場所 ()	
	3 工事の使用材料は、石川県エコ・リサイクル認定製品を優先的に使用してください。		
	4 工事の使用材料は、石川県内で生産された材料・製品を優先的に使用すること。 県外産を使用する場合は「様式25-2 県内産品の不採用調書」を提出すること。		
	5 施工地域・工事場所区分	ア 市街地 (DID補正)	
		イ 一般交通影響有 (2車線以上かつ交通量5000台/日以上)	
		ウ 一般交通影響有 (イ以外、常時全面通行止めを含む)	
		エ 山間僻地及び離島	
6 設計図書の照査	土木工事設計図書の照査ガイドライン(案)に基づき実施し、照査項目チェックリストを提出すること。 (土木一式3千万円以上、舗装・造園工事1千万円以上、その他工事1.5千万円以上)		
7 品質証明の対象工事 (共通仕様書第3編3-1-1-5)			
8 労務補正 (補正内容： 補正工種：)			

9 契約後VE適用 VE提案を行う場合、以下を参照のうえ、発注者と協議すること
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/vekouji_toriatukaiyouryou.html

10 その他条 ()

10 使用機械

1. 本工事において、工事の施工にあたり石川県土木工事共通仕様書1-1-1-34第6項の表1-1-1に示す建設機械を使用する場合は、表1-1-1の下欄に示す建設機械を使用しなければならない。
ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械（共通仕様書 表1-1-1）	
機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入・引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。

2. 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス対策装置を使用する場合の確認方法等
 - 1) 施工計画書への記載
施工計画書の指定機械項目に
 - ①機械名、
 - ②メーカー名、
 - ③形式名、
 - ④台数等を明記すること。

11 廃掃法による管理票（マニフェスト）制度

（共通仕様書1-1-1-20第2項）

●電子マニフェストを使用する場合（石川県では、電子マニフェストの導入を推進）

電子マニフェストにより報告した内容を確認出来る書類（受渡確認表など）を提示するものとする。

●紙マニフェストを使用する場合

建設副産物の適正処理を確認するため、紙マニフェストの処分終了票（E票）を完成検査時に提示するものとする。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合は、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。

この場合、受注者は紙マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票を提示しなければならない。

また、最終処分終了後すみやかにE票を提示しなければならない。

1 対象となる廃棄物

- （1）燃え殻
- （2）汚泥 ※
- （3）廃油
- （4）廃酸
- （5）廃アルカリ
- （6）廃プラスチック類
- （7）紙くず
- （8）木くず
- （9）繊維くず
- （10）動植物性残渣
- （11）ゴムくず
- （12）金属くず
- （13）ガラス及び陶磁器くず
- （14）鋳さい
- （15）がれき類
- （16）動物のふん尿
- （17）動物の死体
- （18）ばいじん
- （19）産業廃棄物を処分するために処理したもので、（1）～（18）に該当しないもの

※ 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。なお、排水処理費及び運搬費については契約変更の対象とする。

13 電子納品・情報共有システムの対象

本工事は、電子納品及び情報共有システムの対象工事である。

(電子納品について)

- 1 工事完成図書を電子データで納品する時の各種基準は、国土交通省並びに農林水産省の各種電子納品要領等及び石川県電子納品ガイドライン等で定めるファイルフォーマットに基づいて作成するものとする。
- 2 実施内容は以下のとおりとする。
 - 1) 別紙に示す工事関係書類の最終成果を、CD-RまたはDVD-R等で2部納品する。
なお、電子納品した工事関係書類については、紙で提出する必要はない。
 - 2) 別紙に記載がない項目については、監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。
- 3 工事着手時には、石川県電子納品ガイドラインで定める「事前協議チェックシート」を用いて事前協議を行うものとする。
入手先：石川県ホームページ 電子納品
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/cals-ec/e_delivery.html
- 4 発注者が行う電子納品アンケート等の調査に協力する。
- 5 工事完成図書の納品に際し、以下の事項を事前に確認する。
 - 1) 電子納品チェックシステムによるチェックを行いエラーがないことを確認する。
入手先：電子納品チェックシステム（土木）
http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/
※電子納品チェックシステムの最新バージョンを使用すること
 - 2) 最新のウイルス対策ソフトで、成果品にウイルスが混入していないことを確認する。
- 6 原本性を確保するため、電子媒体はCD-RまたはDVD-R等を使用することとする。

(情報共有システムについて)

- 1 情報共有システムの使用にあたっては、本県で使用する情報共有システムの機能や条件を定めた「石川県情報共有システム機能仕様書」を熟読し、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議のうえ利用すること。
- 2 現場にインターネット環境が整っていないなど、当システムの使用が困難な場合、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議し、その理由が適正であるときは、システムを使用しないことを認めることができる。

3 実施内容は以下のとおりとする。

- ① 受発注者間の書類の受け渡し
- ② 決裁
- ③ 承認、指示、承諾
- ④ 確認、検査 等

以上の行為を行う、または、受ける際、通常的手段（紙の書類の受け渡しや印鑑による決裁等）に代えてシステムを使用する。

4 監督員が指示するシステムの使用状況や結果に関する調査等に協力する。

5 本工事に使用するパソコンは、常に以下の状態を保たなければならない。

- 1) 最新のウイルス対策ソフトを導入する。
- 2) OS、ブラウザ及びメールソフトに最新のセキュリティパッチを適用する。
- 3) ウィニー等のファイル交換ソフトを導入しない。

完成検査時提出書類一覧（電子納品対応版）

別紙

令和7年7月版

名 称	代理人 ﾏﾈｸﾞﾙ	監督員 ﾁｪｯｸ	情報共有システム使用の有無				検査時 提示のみ	フォルダー	備考	摘要
			有	無	有	無				
電子納品	従来納品 (紙)	電子納品	従来納品 (紙)	電子納品	従来納品 (紙)	電子納品	従来納品 (紙)			
契約書				○		○				契約時
発注図								DRAWINGS	発注者を作成し、 受注者に渡す	
特記仕様書								DRAWING /SPEC	発注者を作成し、 受注者に渡す	
現場代理人及び主任技術者等選任届				○		○				約款第10条
工事工程表・変更工程表				○		○				締結の7日以内
施工計画書			○		○			PLAN/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-45 課負担1千万円以上
施工体制台帳・施工体系図			○		○			MEET/ORG	下請契約書等は従来通り紙での 提出も可とする	共通仕様書第1編1-1-1-11
再生資源（利用、利用促進）計画書・実績表			○		○			MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-20
工事打合せ簿			○		○			MEET/ORG		約款第9条 共通仕様書第1編1-1-1-2
材料検査願			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第13条 特記で指定されている項目
材料検査願(自主施工)			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第13条 特記で指定されている項目
見本資料指定材料確認願			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第14条 特記で指定されている項目
立会確認願			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第14条 特記で指定されている項目
段階確認願			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	共通仕様書第3編3-1-1-3 特記で指定されている項目
段階確認書(自主施工)			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	共通仕様書第3編3-1-1-3 特記で指定されている項目
中間検査願				○		○			紙での提出。添付資料を、シス テムで提出した場合は、電子納 品とする	共通仕様書第1編1-1-1-24
確認願			○		○			MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第18条
調査結果通知書、設計図書訂正・変更通知書				○		○		MEET/ORG	発注者を作成し、 受注者に渡す	約款第18条、第19条
既済部分検査願				○		○				約款第37条 部分払いのある場合
仮設交通安全標示施設等自主点検書							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
安全管理自主点検書							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
安全・訓練等実施状況報告							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
マニフェスト（総括表）			○		○		○ (E票、B2票)	MEET/ORG	総括表のみ提出 E票又はB2票は提示のみ	共通仕様書第1編1-1-1-20
品質管理表			○		○			MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は従来 通り提出	共通仕様書第1編1-1-1-23
品質証明員通知書			○		○			MEET/ORG	作成に用いた電子ファイル	共通仕様書第3編3-1-1-5 (100,000千円以上)
品質証明書			○		○			MEET/ORG	作成に用いた電子ファイル	共通仕様書第3編3-1-1-5 (100,000千円以上)
コクリット耐久性向上対策（自社ソフトで作成）			○		○			MEET/ORG	PDFファイルに変換して提出	特記仕様書による
〃（エクセルで作成）			○		○			MEET/ORG	エクセルファイルを提出	
出来形管理表・出来形図（自社ソフト作成）			○		○			MEET/ORG	PDFファイルに変換して提出	共通仕様書第1編1-1-1-23
〃（エクセルで作成）			○		○			MEET/ORG	エクセルファイルを提出	
コンクリート構造物の品質管理			○		○			MEET/ORG		特記仕様書による
工期延期願				○		○				共通仕様書第1編1-1-1-17
工事中写真			○		○			PHOTO/PIC	解像度は100dpi程度 枚数は写真管理基準	共通仕様書第3編3-1-1-6
完成写真			○	○	○	○		PHOTO/PIC	〃	共通仕様書第3編3-1-1-6
参考図			○		○			PHOTO/DRA	形式はJPEGまたはTIFF (G4)	
植樹保険証書				○		○				植栽直工50万以上の場合 共通仕様書第1編1-1-1-44
建退共掛金収納書 (中小企業退職金共済制度、林業退職金共済制度は等)				○		○				締結後1ヶ月以内 100万円未満省略可
建退共掛金充当実績総括表							○			共通仕様書第1編1-1-1-44
完成図			○		○			DRAWINGF		共通仕様書第1編1-1-1-22 発注図をCADで渡した場合
完成通知書				○		○				約款第31条
請求書				○		○				約款第31条
引渡書				○		○				約款第31条
電子納品成果品CD-R等				○		○			CD等を確認	CALS/EC対象工事
照査項目チェックリスト			○		○					特記仕様書による
創意工夫実施状況			○		○					特記仕様書による
技術提案履行確認シート			○		○					特記仕様書による
交通誘導員伝票（総括表）			○		○		○ (伝票)	MEET/ORG	総括表のみ提出 伝票は提示のみ	

14 創意工夫・現場条件への対応・社会性等に関する実施状況

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や現場条件への対応に関する項目、または地域社会への貢献に関する事項について、工事完了時までに下記の様式により提出することができる。なお、総合評価方式における技術提案事項も、創意工夫等の対象となる。

工 事 名	受注者名	
項 目	内 容	備 考
☐ 創意工夫 (軽微な工夫)	☐ 施工	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫
	☐ 新技術登録技術	登録技術のうち「有効とされる技術」 登録技術のうち「有効とされる技術」以外 石川県新技術認定製品
	☐ 品質	工作物の品質向上に関する工夫 品質向上のための施工上の工夫
	☐ 安全衛生	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫
	☐ その他	
☐ 工事特性 (施工条件への 対応)	☐ 構造物の特性	規模が特殊な構造物 複雑な形状の構造物
	☐ 作業環境 社会条件	地盤変形、近隣構造物、地下埋設物への影響 作業条件、工程等への影響 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 作業スペース制約・現道上の交通規制 緊急時の対応 広範囲にわたる施工箇所
	☐ 自然・地盤条件	湧水、地下水の影響 軟弱地盤、支持地盤の状況 気象条件の影響 地すべり、急流河川、潮流等、動植物等
	☐ その他	
☐ 社会性等 地域社会や住民に対 する貢献	☐ 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 災害時の支援、協力 ボランティアの実施

注 創意工夫等、該当する項目の□にレマークを記入し、写真・参考図等により
実施内容の詳細を任意様式（技術提案の説明資料や写真帳など）で提出すること。

14. 総合評価方式における技術提案の履行状況

判定	履行	不履行有
----	----	------

技 術 提 案 履 行 確 認 シ ー ト	
工 事 名	△△
受 注 者 名	□□
現 場 代 理 人	☆☆
主 任・監 理 技 術 者	☆☆
監 督 員	石川太郎

項 目	番号	具体的な 技術提案の内容	施工計 画書への 記載	履行状況の確認方法			履行の 確認者	履行の 確認日	履行 確認	備考	
				確認方法	受注者と監督 員との協議日	監督員と工事管 理担当職員等と の協議日					
技術提案	(参考)記入例	1①	▲▲による■ ■ ■ ■	○	● ● ●	H29.1.1	H29.1.2	石川	H29.3.3	履行	
特記事項											
不履行の処理		再施工の有無 有 ・ 無(再施工が合理的でない場合)							減点		点

- 注 1) 総合評価方式における技術提案事項については、履行のための施工方法とその確認方法を施工計画書に記載すること。
- 2) 技術提案事項の履行確認は、監督員との協議により立会または写真などの書類によるものとし、その記録は説明資料として提出すること。
- 3) 本紙は、当初施工計画書に合わせて、監督員に提出すること。
- 4) 「判定」、「受注者と監督員との協議日」、「監督員と工事管理担当職員等との協議日」、「履行の確認者」、「履行の確認日」「履行確認」、「特記事項」、「不履行の処理」、「減点」については、受注者での記入は不要。
- 5) 確認方法については、受注者と監督員、監督員と工事管理担当職員等で協議し、決定すること。
- 6) 本紙提出後に、記載事項の変更があれば、受注者から監督員へ本紙を更新して提出すること。
- 7) 受注者の責により入札時の評価内容が満足できない場合は、原則として再施工を行うとともに工事成績評定点を5点減点する。
- 8) 再施工が合理的で無い場合は、工事成績評定点を5点減点するとともに加算点を再計算して修正の契約額を算出し、差額分を受注者へ課すこととする。

説 明 資 料 （ 実 施 状 況 ）

工 事 名		
受 注 者		
項 目		
番 号 (技術提案)	内 容	
詳細な内容		
添付写真、図		

説明資料は、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

16 自主施工工事の対象

本工事は、自主施工対象工事であり、自主施工実施要領（試行案）の適用する受注者において自主施工工事を希望する場合は下記の様式により申請を行うこと。

※「自主施工工事実施要領（試行案）」

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/index.html>

参考「自主施工工事実施要領（試行案）」より抜粋

適用範囲

特記仕様書に自主施工工事の対象であることが明記された工事で、以下の要件を全て満足し、かつ受注者が希望する工事とする。

（１）提出資料

- ① 申請書[自主施工工事様式－2]
- ② ISO9001の認証取得を示す登録証の写し
- ③ ISO9001の審査に係る次の書類
 - イ. 直近の審査報告書（初回審査、定期審査又は更新審査のいずれかを対象として審査登録機関が発行したものに限る。）の写し
 - ロ. イの審査に係る合格判定結果の写し
- ④ 申請に係る工事を担当する内部組織が、ISO9001認証を取得していることを示す書類
- ⑤ ISO9001認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類。ただし、②でその内容が確認できる場合は④、⑤は提出しなくてよい。
- ⑥ 内部監査※1 チームリーダーが、(財)日本適合性認証協会(JAB)の認定を受けている審査員養成機関が実施する内部品質監査員養成研修又はそれと同等の研修を修了していることを示す修了証の写し
- ⑦ 内部監査チームリーダーが、以下の要件をすべて満足することを証明する経歴証明書の写し[自主施工工事様式－4]
 - イ. 10年以上の現場経験を有する。
 - ロ. 以下の資格の少なくとも1つ以上を有する。
 - (イ) 技術士
 - (ロ) 1級土木施工管理技士
 - (ハ) 1級造園施工管理技士
 - ハ. 内部監査員としての経験を有すること。
- ⑧ 当該工事における監視・測定（検査）の結果を確認して承認する承認者（検査 承認者）が、以下の資格を有していることを証する写し
 - ・技術士 ・2級又は1級土木施工管理技士 ・2級又は1級造園施工管理技士

（２）請負者が県の請負業者有資格者名簿に登録されたもの（以下、「有資格者」という。）のうち指名基準表の等級A及びBに格付けされた有資格者である工事。

（３）自主施工工事の試行対象工事は、土木部出先機関等で発注する単年度工事の中から道路建設、道路整備、河川、砂防、港湾、都市計画、公園緑地、漁港、水道、下水道等の工事とする。ただし、新工法を採用した工事、施工条件が厳しい工事、第三者に対する影響のある工事、低入札価格調査制度対象工事等は、工事の適切・確実な履行を確保する観点から自主施工工事の試行対象とはしない。（石川県土木工事監督要綱の監督技術基準の取扱いについて参照）

18 いしかわ週休2日工事

・週休2日工事(現場閉所)の対象

本工事は、建設現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」の対象工事である。

週休2日工事(現場閉所)は、原則、工事着手日から工事完了日において、週単位の週休2日の現場閉所を確保することとする。なお、港湾工事においては、月単位の週休2日の現場閉所(4週8休相当)を確保することとする。

実施にあたっては、いしかわ週休2日工事实施要領及び細則の規定に基づき実施すること。

■週休2日工事(現場閉所)

- (1) 当初設計において週単位の週休2日に係る補正係数を乗じている。
港湾工事では、月単位の週休2日(4週8休相当)に係る補正係数を乗じている。
- (2) 災害復旧工事(港湾・営繕・機械設備工事を除く)の受注者は、週休2日工事(交替制)への変更を希望する場合は、現場着手前に、週休2日工事(交替制)変更協議書(様式2)にて監督員と協議すること。
なお、週休2日工事(交替制)の費用計上にあたっては、達成状況を確認の上、達成状況に応じた補正係数に変更するものとする。
- (3) 受注者は、現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板(参考図参照)を設置すること。
- (4) 受注者は、現場着手前に対応する週休2日の休日取得[計画]表を作成し、監督員に提出・共有すること。
- (5) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は、対応する休日取得[計画]表を修正し、監督員に提出・共有すること。
- (6) 受注者は、工期最終日までに、対応する休日取得[実績]表を記入し、監督員に提出のうえ確認を受けること。
監督員が休日取得[実績]表により現場閉所の達成状況を確認し、週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日(4週8休相当)の補正に減額するものとし、月単位の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、補正分を減額変更する。

■工事看板参考図

(イ) ご協力をお願いします	
(ロ) ○○○○○を なおしています	
(ハ) 令和 ○年 ○月 ○日まで 時間帯 0:00 ~ 0:00	
(ニ) ○○○○○工事	
発注者	石川県○○○事務所
電話番号	000-000-000
施工者	○○○建設株式会社
電話番号	000-000-000
この工事は、週休2日工事です	
	ようこそ石川県へ! Welcome to Ishikawa! 歡迎光臨石川縣!
	

20 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、建設業の働き方改革を推進するため、受発注者協力のもとウィークリースタンス等に取り組むこととする。なお、工事着手前に受発注者間で下記事項について協議のうえ実施し、就業環境の改善に努めること。

<発注者の取組>

- 受注者からの質問や協議に対する回答については、基本的に「その日のうち」に回答すること。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に行うこと。
- 「月曜日の朝一番」及び「各建設会社のノー残業デー翌日の朝一番」を期限とした作業を指示しないこと。
- 「金曜日の作業依頼」や「昼休み・定時間際・定時後の作業依頼や打合せ」は控えること。

<受注者の取組>

- 工事着手前に工程管理方法について綿密に検討のうえ、作業間の関連や工事の進捗状況等を常に把握すること。
- 工事実施中において問題が発生した場合は、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督職員と書面で協議すること。

21 その他

1 イメージアップ看板

イメージアップ看板とは建設業の担い手となる就業者を確保するため、建設業の持つ魅力を発信していくことを目的として設置するものである。

対象工事は、当初設計額1,500万円以上とし、現場環境改善費にて対応する。

なお、当初設計額1,500万円未満の工事については、任意とし、現場環境改善費による設置を妨げない。

【イメージアップ看板参考図】

野立型(大)
H1400×W1100



野立型(小)
H1400×W550

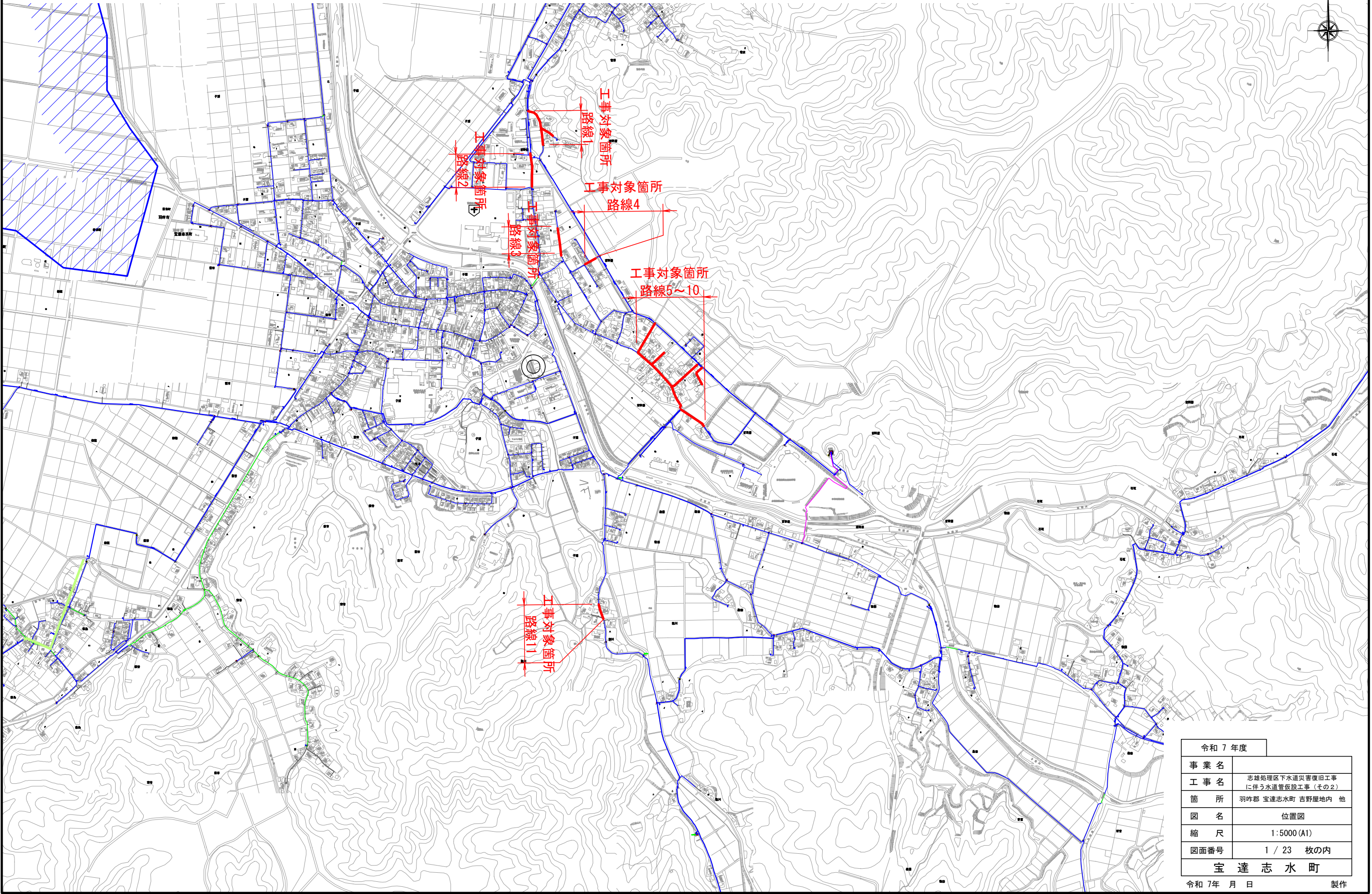


壁掛型
H750×W900



位置図

S=1:5000

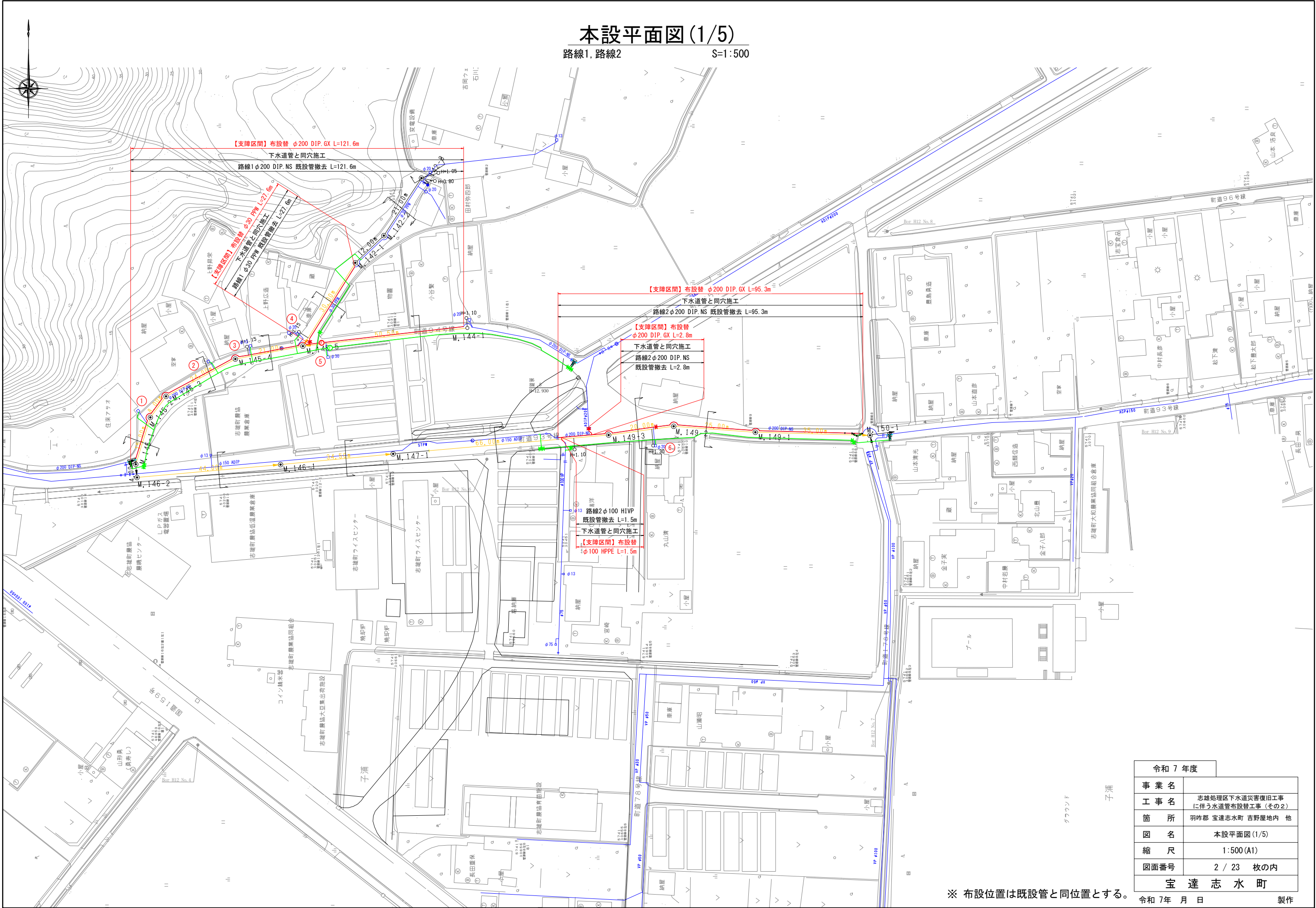


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管仮設工事（その2）
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	
図名	位置図
縮尺	1:5000 (A1)
図面番号	1 / 23 枚の内
宝達志水町	

本設平面図(1/5)

路線1, 路線2

S=1:500



※ 布設位置は既設管と同位置とする。

令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事(その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	
図名	本設平面図(1/5)
縮尺	1:500(A1)
図面番号	2 / 23 枚の内
宝達志水町	

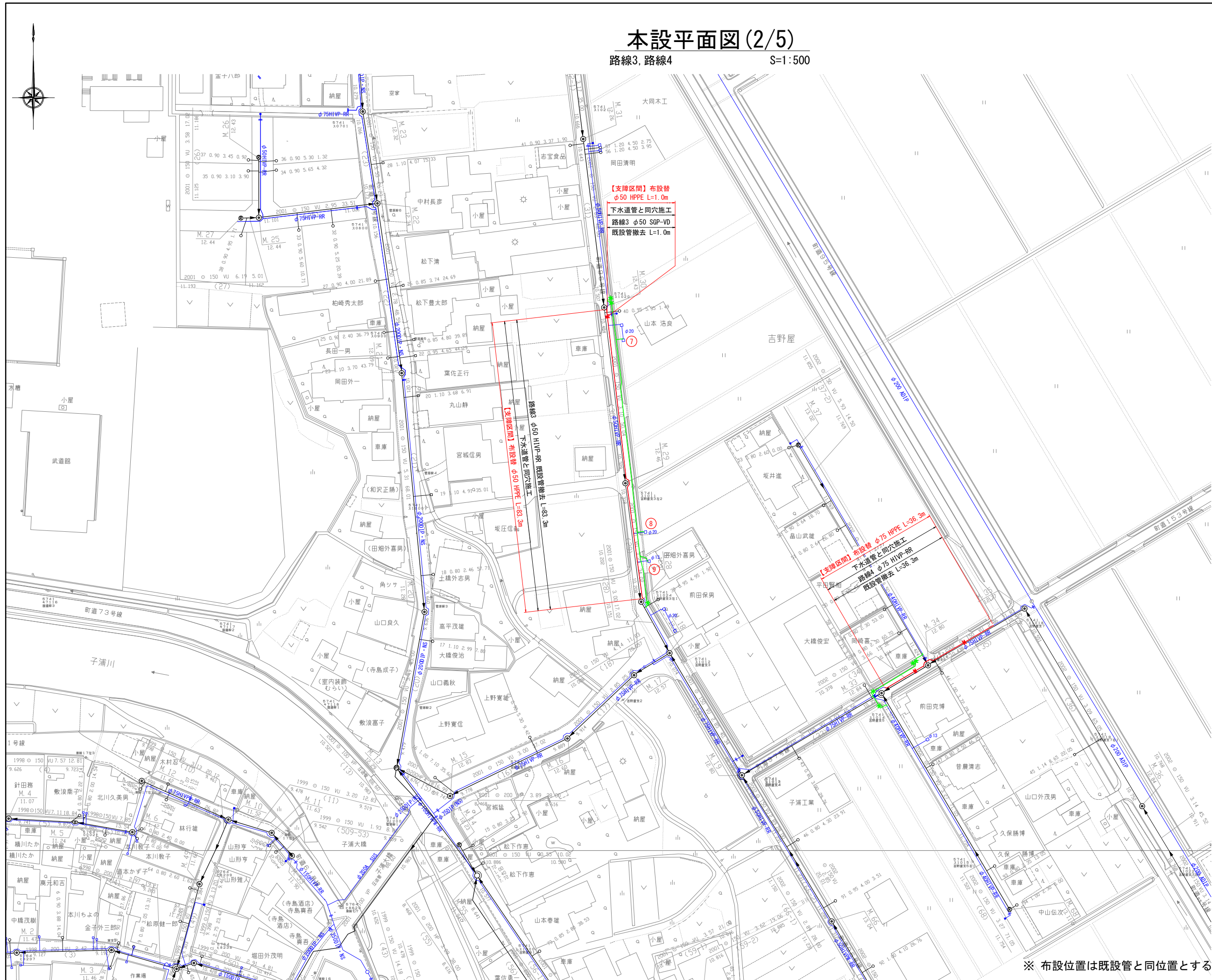
令和 7年 月 日

製作

本設平面図 (2/5)

路線3, 路線4

S=1:500



※ 布設位置は既設管と同位置とする。

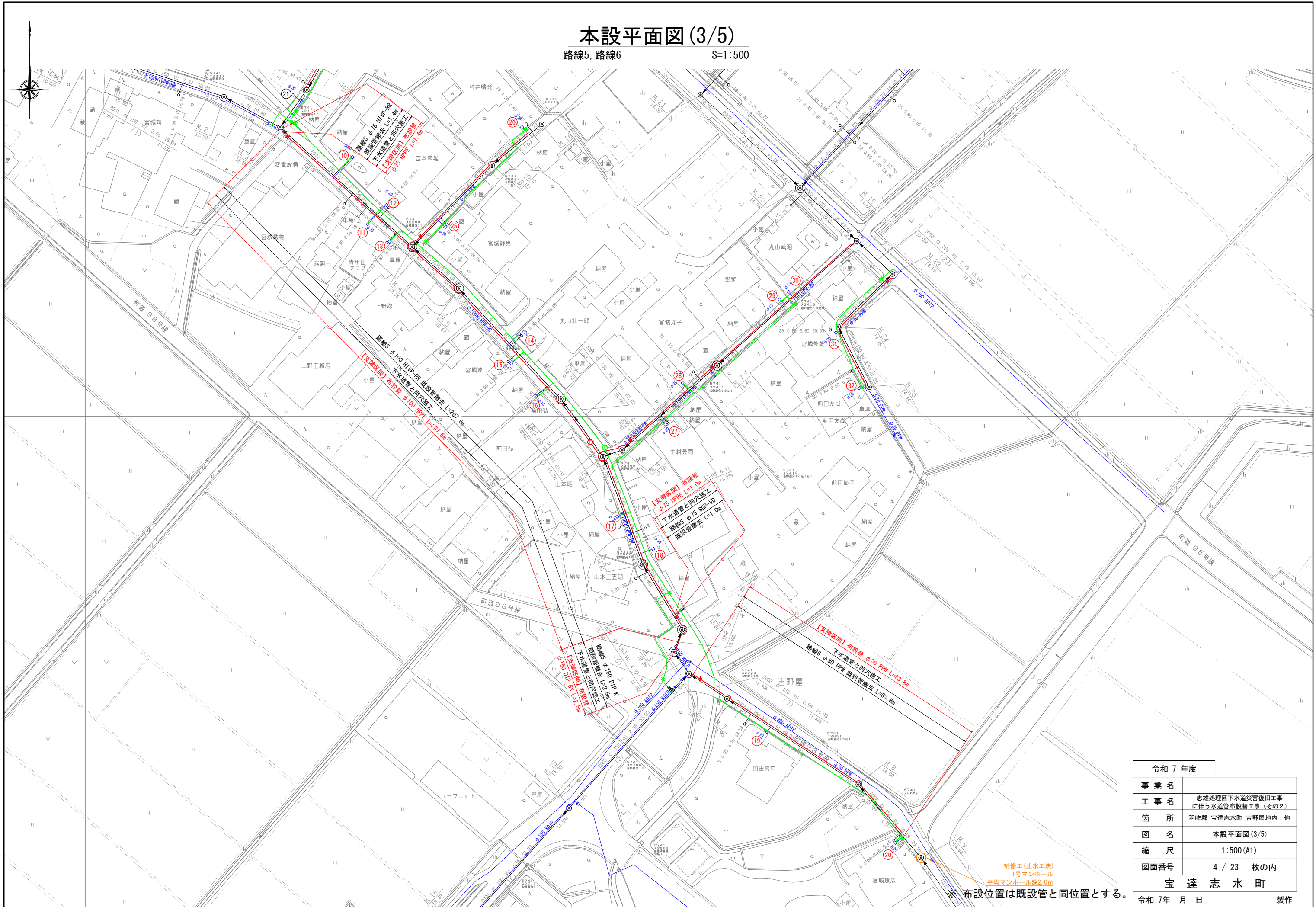
令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	宝達志水町
図名	本設平面図 (2/5)
縮尺	1:500 (A1)
図面番号	3 / 23 枚の内
宝達志水町	

令和 7 年 月 日 製作

本設平面図 (3/5)

路線5, 路線6

S=1:500

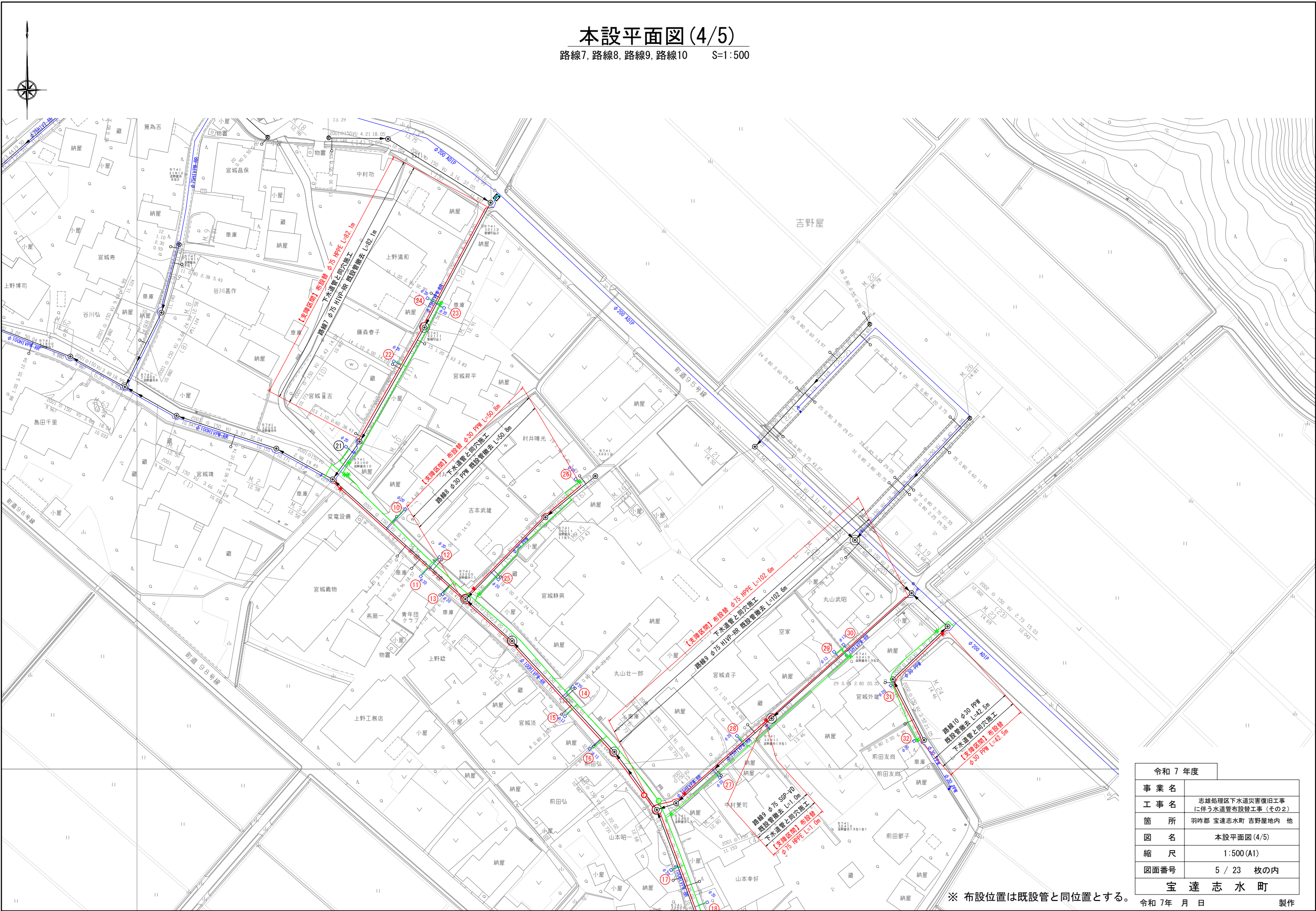


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	本設平面図 (3/5)
図名	1:500 (A1)
縮尺	4 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

補修工 (止水工法)
1号マンホール
平均マンホール深2.0m
※ 布設位置は既設管と同位置とする。

本設平面図 (4/5)

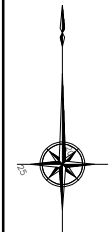
路線7, 路線8, 路線9, 路線10 S=1:500



本設平面図 (5/5)

路線11

S=1:500

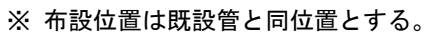


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設撤去工事（その2）
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	本設平面図 (5/5)
図名	1:500 (A1)
縮尺	6 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

※ 布設位置は既設管と同位置とする。

令和 7年 月 日 製作

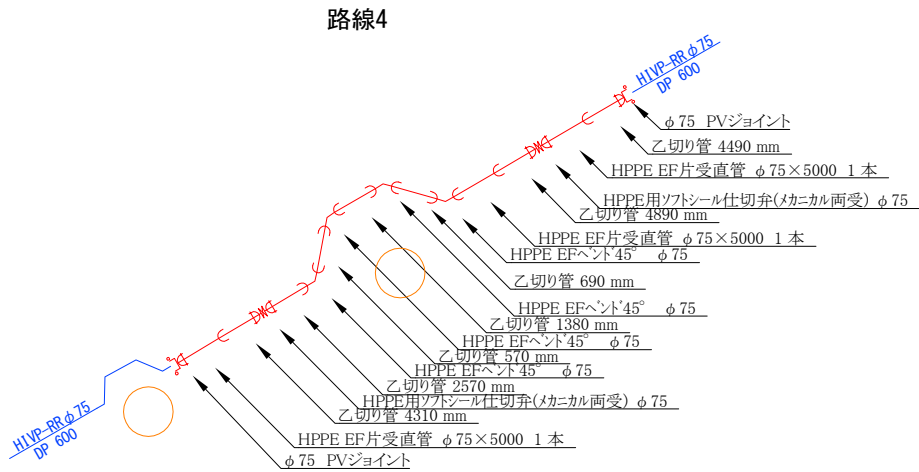
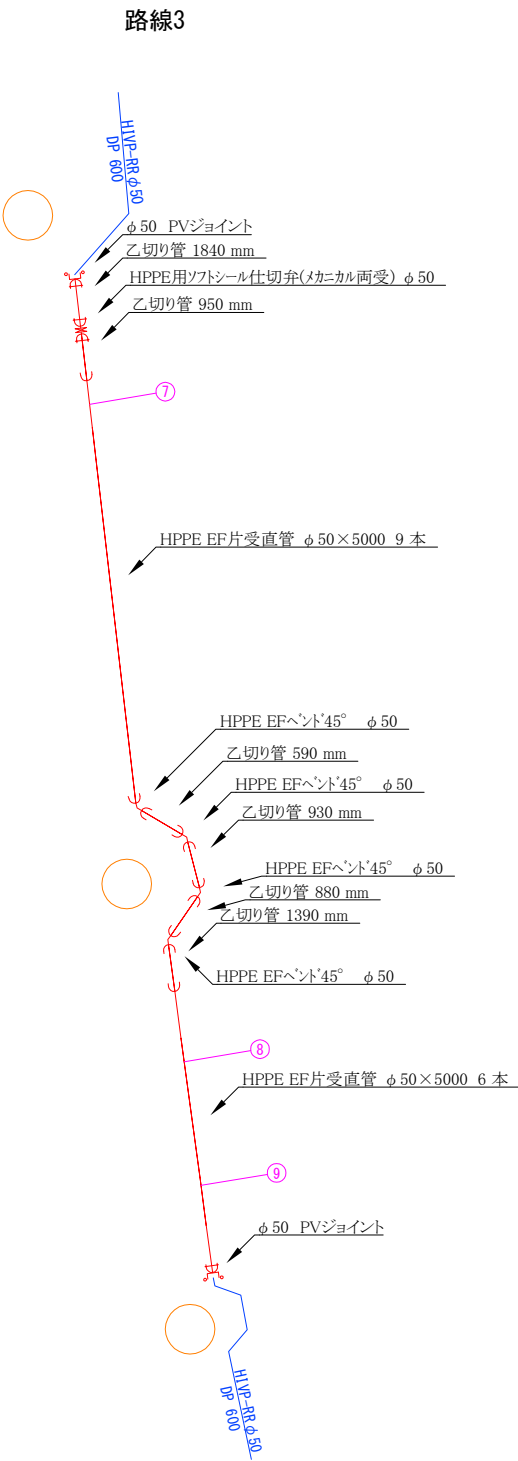
S=Free



本設詳細図 (2/5)

路線3, 路線4

S=Free



令和 7 年度	
事業名	
工事名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
箇所	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
図名	本設詳細図 (2/5)
縮尺	Free
図面番号	8 / 23 枚の内
宝達志水町	

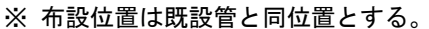
※ 布設位置は既設管と同位置とする。

令和 7年 月 日

製作

路線5(1/2), 路線7, 路線8 S=Free

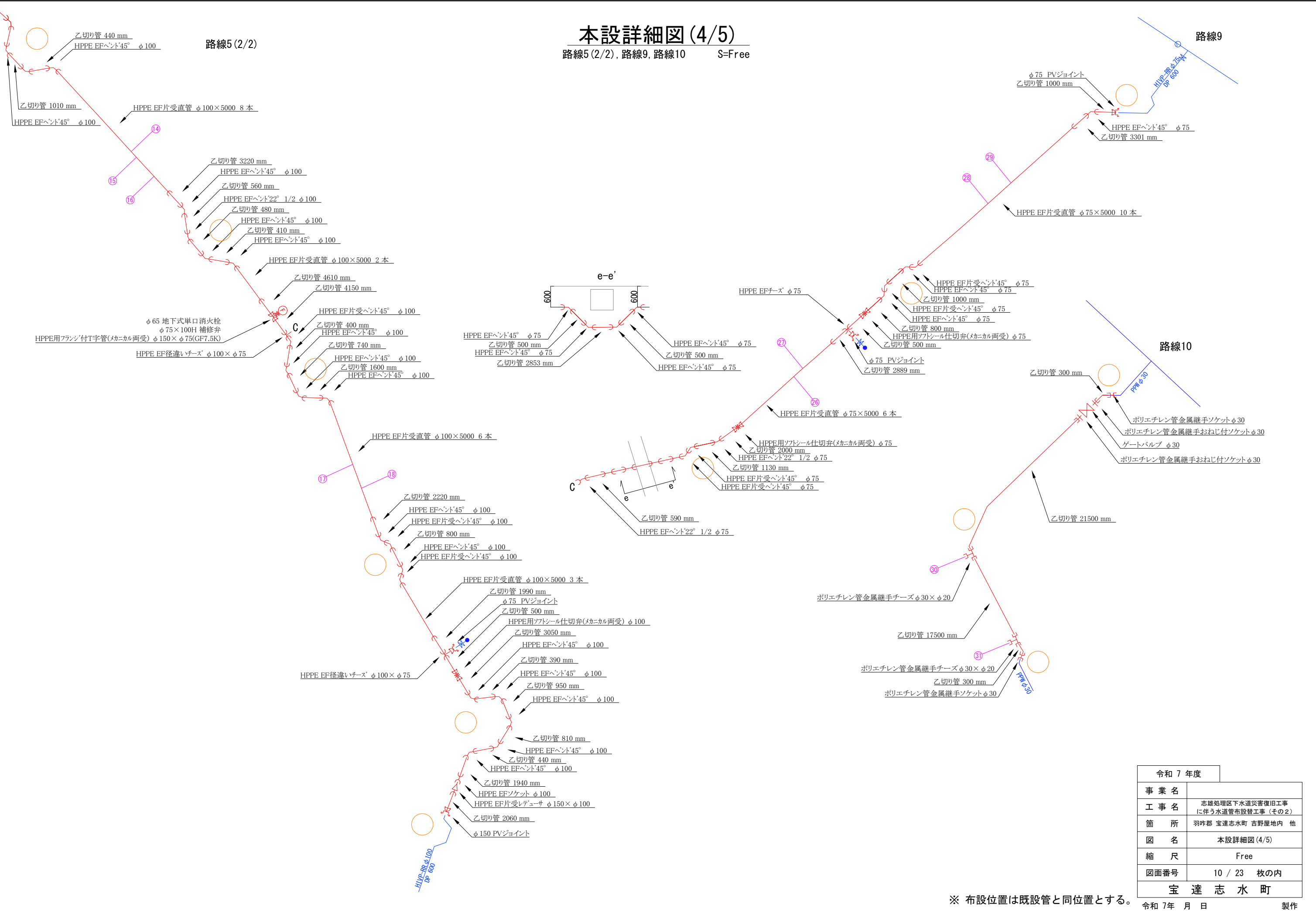
S=Free

令和 7年 月 日 製作

製作

本設詳細図 (4/5)

路線5 (2/2), 路線9, 路線10 S=Free



※ 布設位置は既設管と同位置とする。

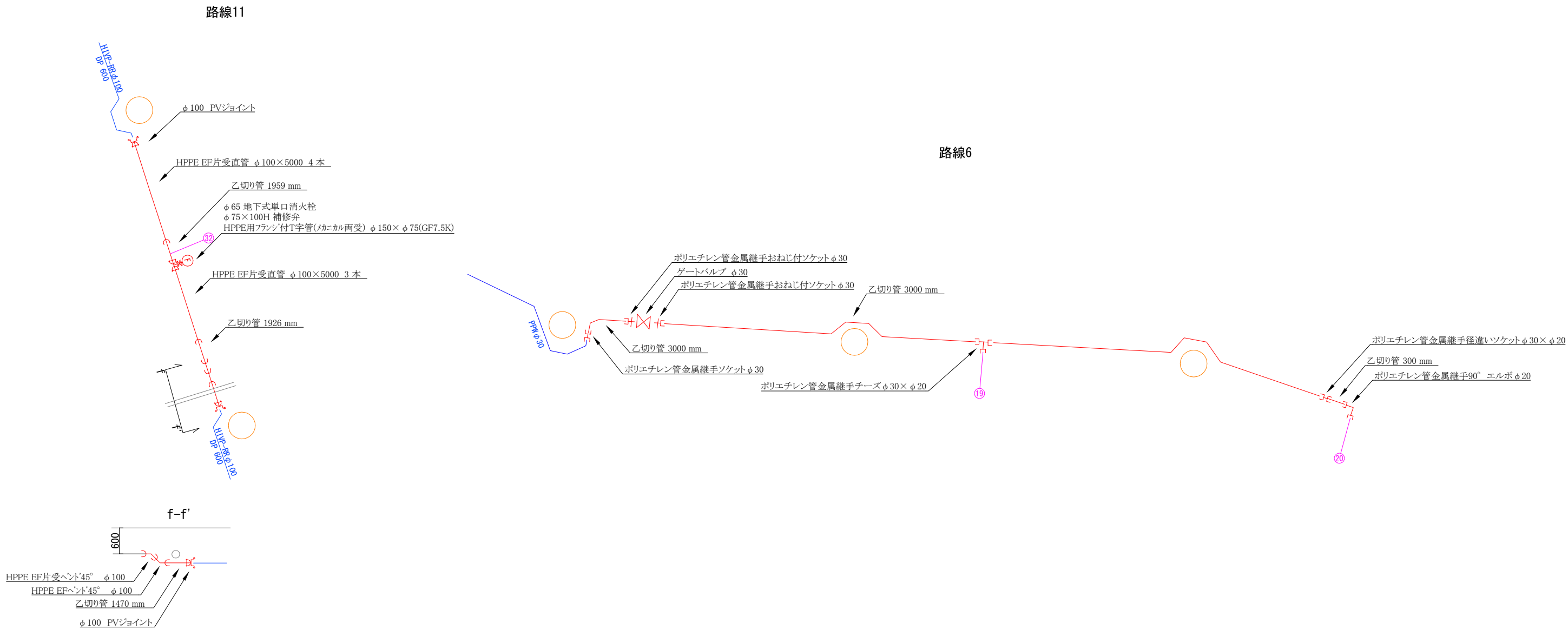
令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	宝達志水町
図名	本設詳細図 (4/5)
縮尺	Free
図面番号	10 / 23 枚の内
宝達志水町	

令和 7年 月 日 製作

本設詳細図 (5/5)

路線6, 路線11

S=Free



※ 布設位置は既設管と同位置とする。

令和 7 年度	
事業名	
工事名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
箇所	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
図名	本設詳細図 (5/5)
縮尺	Free
図面番号	11 / 23 枚の内
宝達志水町	

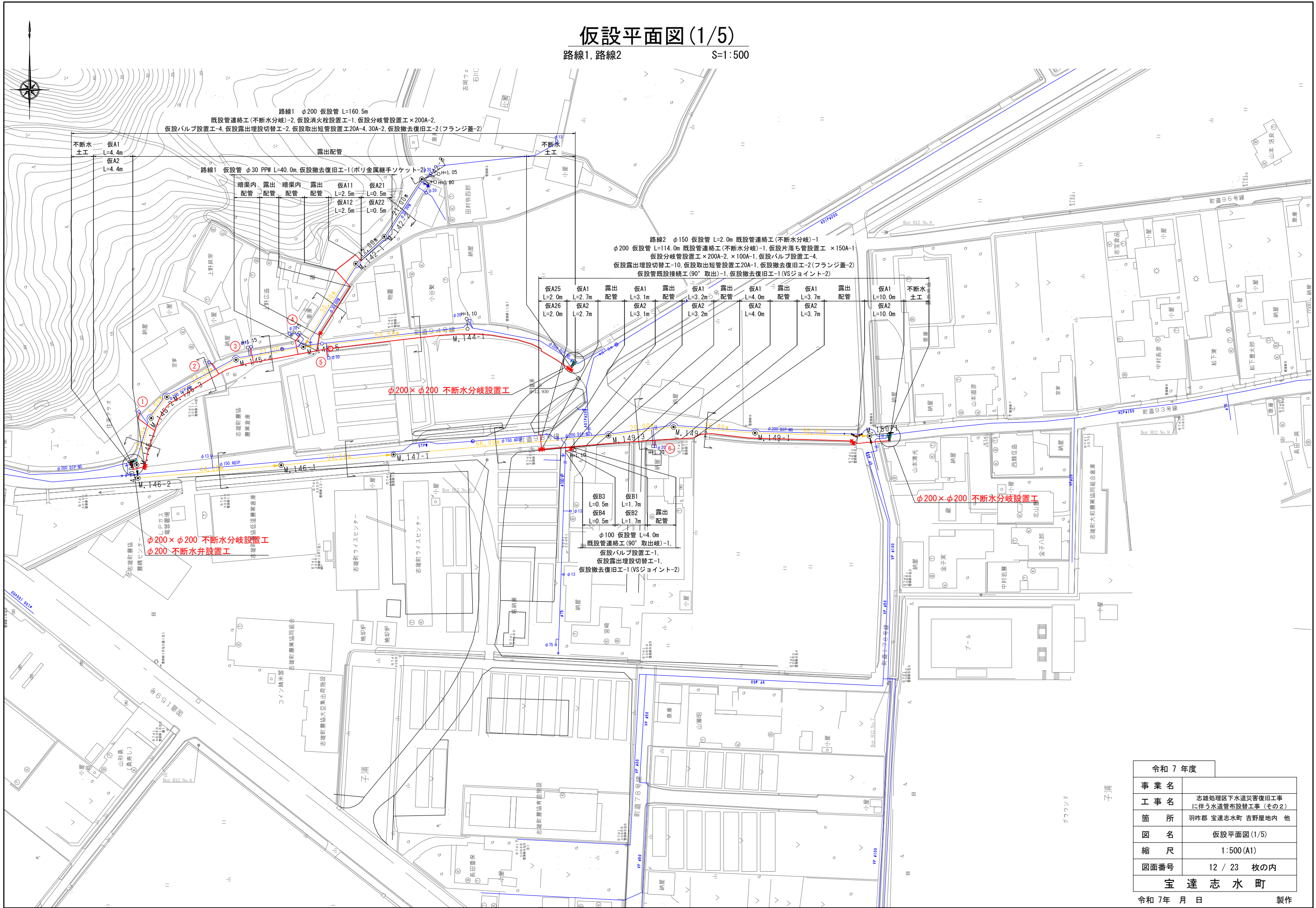
令和 7年 月 日

製作

仮設平面図 (1/5)

路線1, 路線2

S=1:500



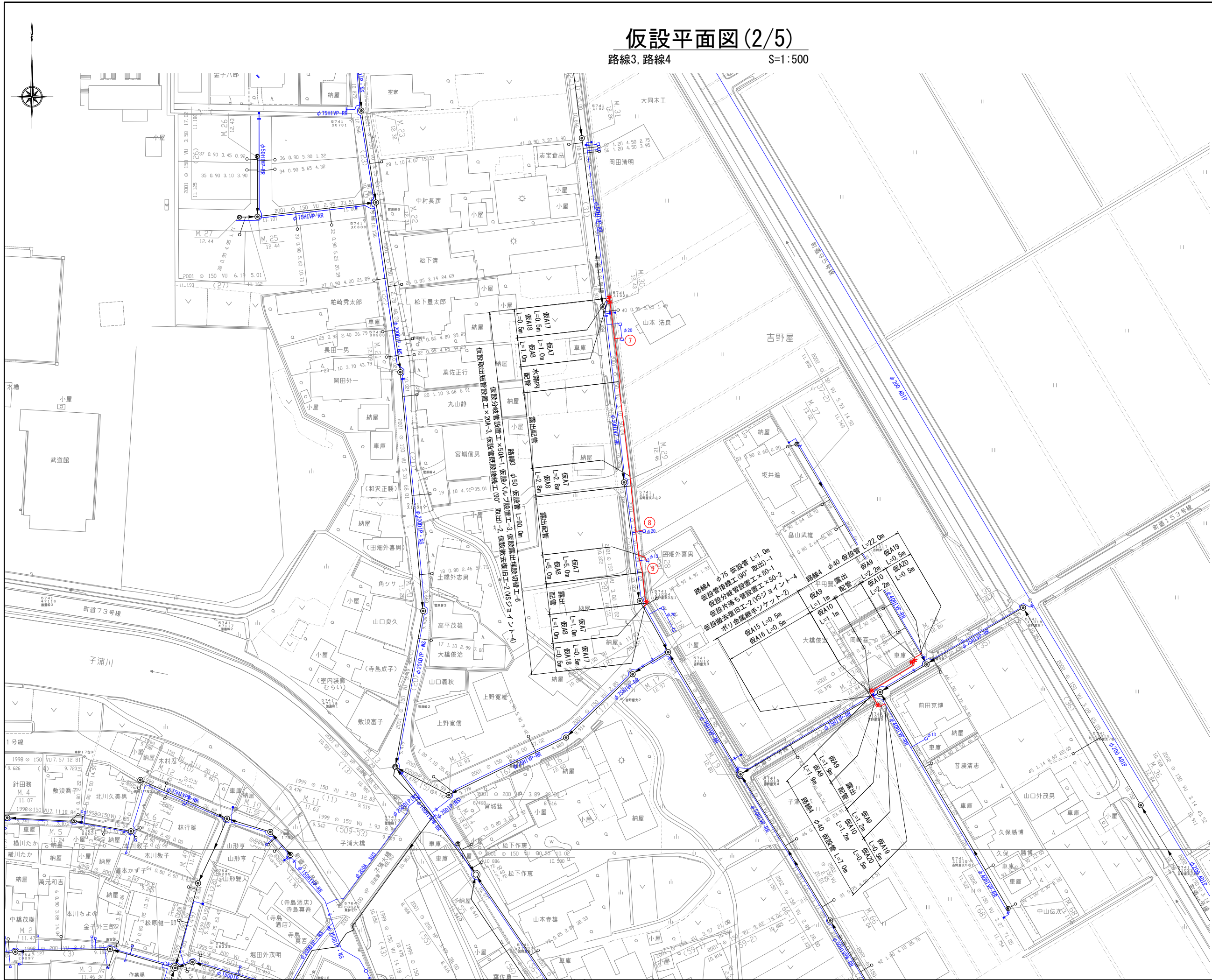
令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	
図名	仮設平面図 (1/5)
縮尺	1:500 (A1)
図面番号	12 / 23 枚の内
宝達志水町	

令和 7 年 月 日 製作

仮設平面図 (2/5)

路線3, 路線4

S=1:500

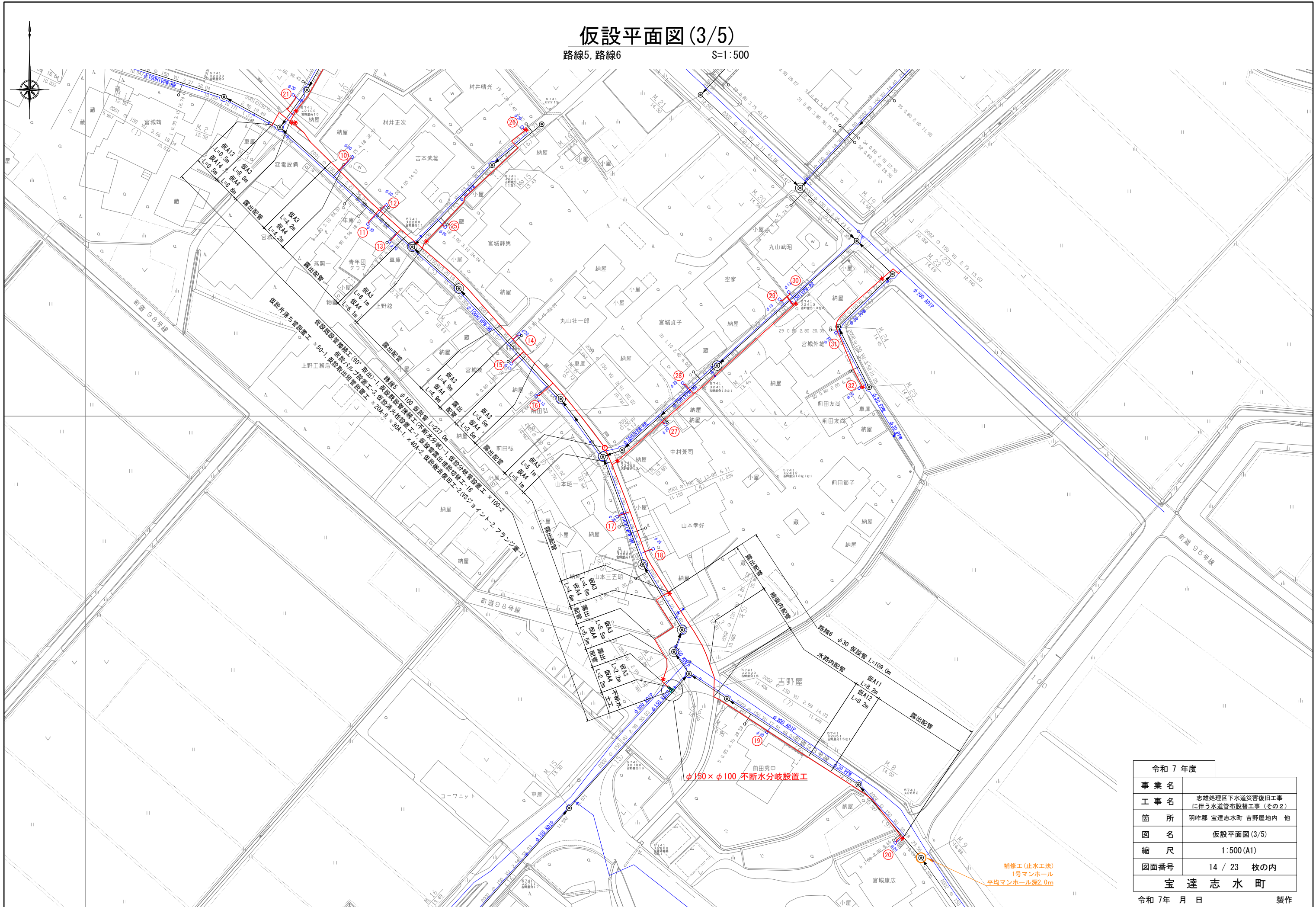


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	宝達志水町 吉野屋地内 他
図名	仮設平面図 (2/5)
縮尺	1:500 (A1)
図面番号	13 / 23 枚の内
宝達志水町	
令和 7 年 月 日	製作

仮設平面図 (3/5)

路線5, 路線6

S=1:500

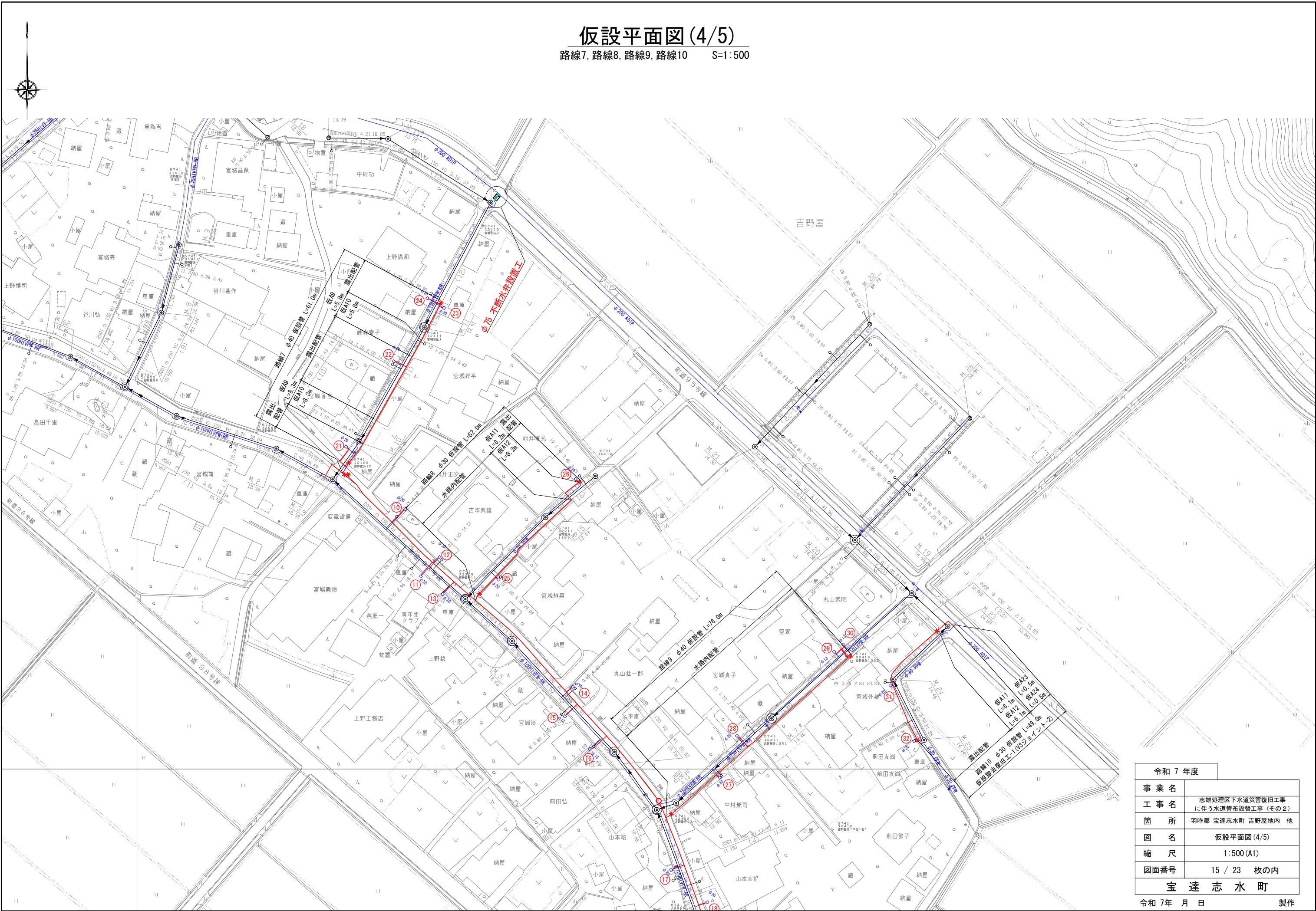


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	仮設平面図 (3/5)
図名	1:500 (A1)
縮尺	14 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

令和 7 年 月 日 製作

仮設平面図 (4/5)

路線7, 路線8, 路線9, 路線10 S=1:500



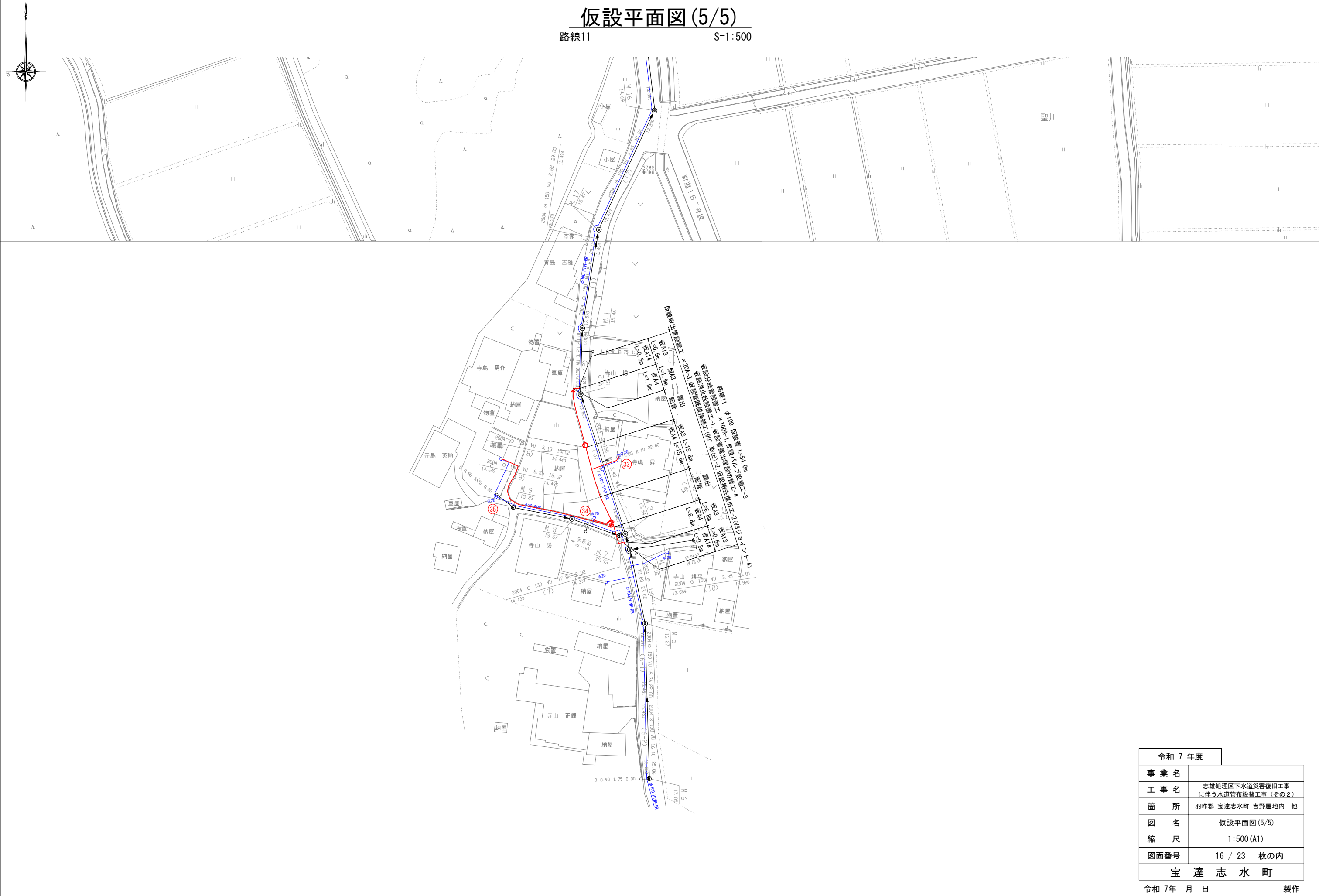
令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	仮設平面図 (4/5)
図名	1:500 (A1)
縮尺	15 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

令和 7 年 月 日 製作

仮設平面図 (5/5)

路線11

S=1:500

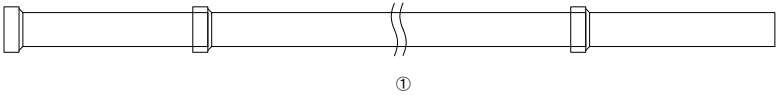


令和 7 年度	
事 業 名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
工 事 名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
簡 所	
図 名	仮設平面図 (5/5)
縮 尺	1:500 (A1)
図面番号	16 / 23 枚の内
宝 達 志 水 町	

仮設配管組合わせ標準図(1/2)

S=Free

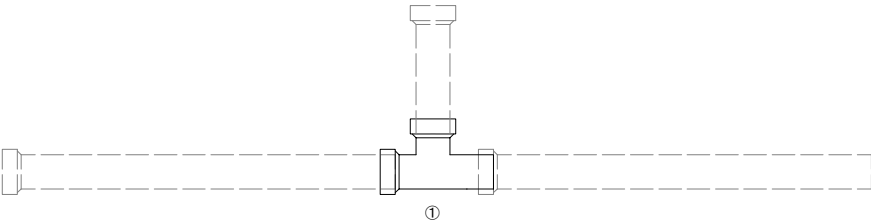
仮設直管部布設工
50A～250A



数量表 (30m当り参考数量)

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	直管 4.0m	50A～250A	5
	直管 2.0m	50A～250A	2
	直管 1.0m	50A～250A	3
	直管 0.5m	50A～250A	2
	フレキ管	50A～250A	2

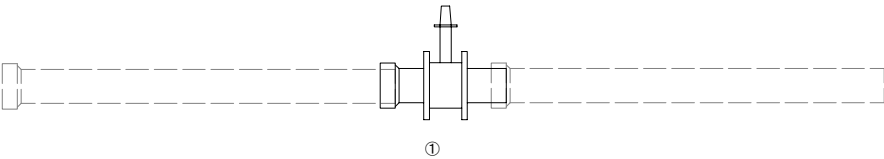
仮設分岐管設置工
80A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	50A～250A×50A～250A	1

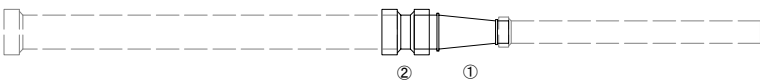
仮設バルブ設置工
50A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	バルブ (ホ-ル、ハ-グライ)	50A～250A	1

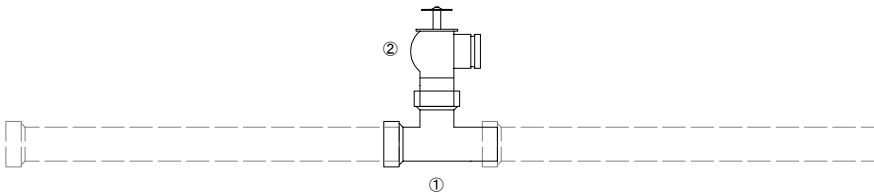
仮設片落ち管設置工
50A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	レジャーサー	80A～250A×50A～200A	1
②	接続短管 (受×受)	80A～250A	1

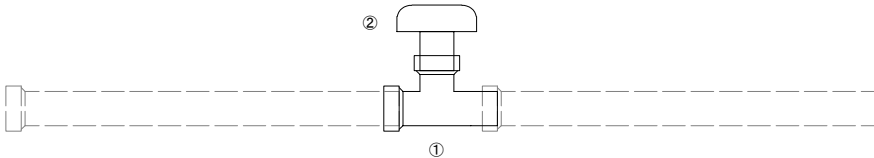
仮設消火栓設置工
80A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	80A～250A×80A	1
②	消火栓	65A	1

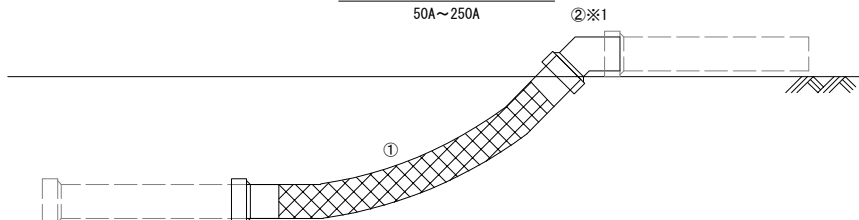
仮設空気弁設置工
80A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	80A～250A×80A	1
②	空気弁	80A	1

仮設管露出埋設切替工
50A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	フレキ管	50A～250A	1
②	45° エルボ ※1	80A～250A	1

※1 50Aはフレキ管のみ使用

仮設取出短管設置工
50A～250A



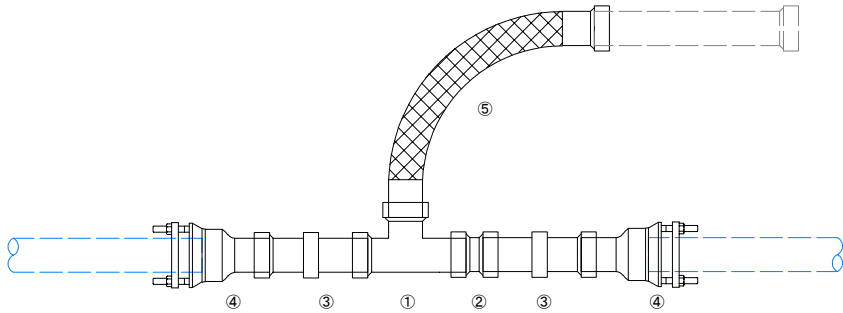
数量表 (取り出し口径20A, 25A)

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	取出短管	50A～250A×20A～25A	1

数量表 (取り出し口径30A, 40A)

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	50A～250A×50A	1
②	S×30おねじ, S×40おねじ	50A×30A～40A	1

仮設管既設接続工 (チーズ取り出し)
分岐管側 50A～100A



数量表 (本管側)

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	50A～250A×50A～100A	1
②	接続短管 (受×受)	50A～250A	1
③	撤去用直管	50A～250A	2
④	マルチジョイント ※1	50A～250A	2

※1 250A (既設鋼鉄管) は鋼鉄用ジョイント

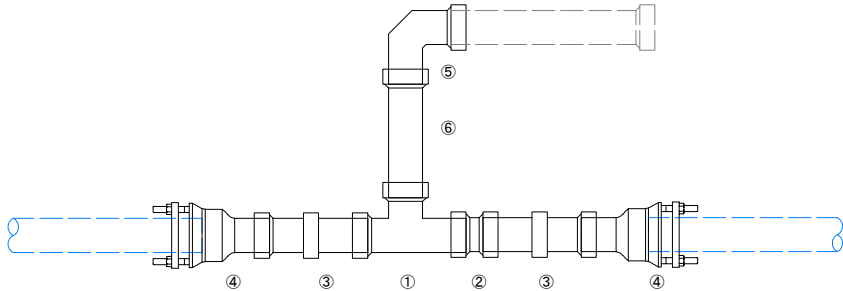
数量表 (分岐管側)

番号	名 称	形状・寸法	数量
⑤	フレキ管	80A～100A	1

数量表 (撤去復旧)

番号	名 称	形状・寸法	数量
	乙切管 1.5m	50A～250A	1
	ジョイント/継輪	50A～250A	2

仮設管既設接続工 (チーズ取り出し)
分岐管側 150A～250A



数量表 (本管側)

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	チーズ	50A～250A×150A～250A	1
②	接続短管 (受×受)	50A～250A	1
③	撤去用直管	50A～250A	2
④	マルチジョイント ※1	50A～250A	2

※1 250A (既設鋼鉄管) は鋼鉄用ジョイント

数量表 (分岐管側)

番号	名 称	形状・寸法	数量
⑤	90° エルボ	150A～250A	1
⑥	直管 0.3m	150A～250A	1

数量表 (撤去復旧)

番号	名 称	形状・寸法	数量
	乙切管 1.5m	50A～250A	1
	ジョイント/継輪	50A～250A	2

令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	宝達志水町
図名	仮設配管組合わせ標準図 (1/2)
縮尺	Free
図面番号	17 / 23 枚の内
宝達志水町	

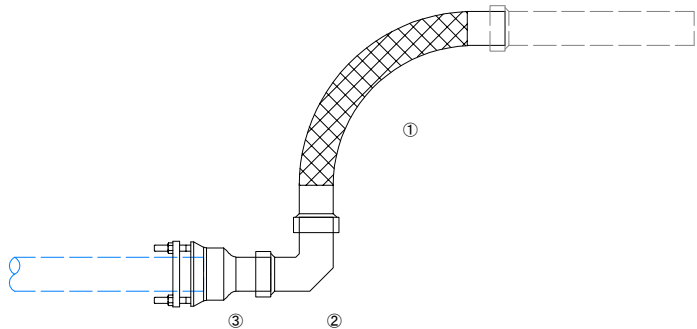
令和 7年 月 日

製作

仮設配管組合わせ標準図(2/2)

S=Free

仮設管既設接続工(90° 取り出し)
50A～100A



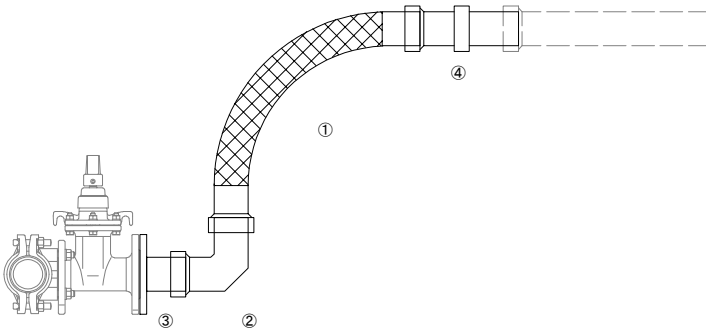
数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	フレキ管	50A～100A	1
②	90° エルボ	50A～100A	1
③	マルチジョイント	50A～100A	1

数量表（撤去復旧）

番号	名 称	形状・寸法	数量
	乙切管 1.0m	50A～250A	1
	ジョイント/継輪	50A～250A	2

仮設管既設接続工（不断水分岐）
50A～100A



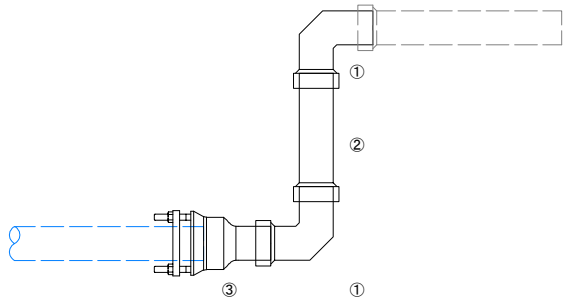
数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	フレキ管	50A～100A	1
②	90° エルボ	50A～100A	1
③	接続短管(フランジ)	50A～100A	1
④	撤去用直管	50A～100A	1

数量表（撤去復旧）

番号	名 称	形状・寸法	数量
	フランジ蓋	50A～250A	1

仮設管既設接続工(90° 取り出し)
150A～250A



数量表（既設管DIP）

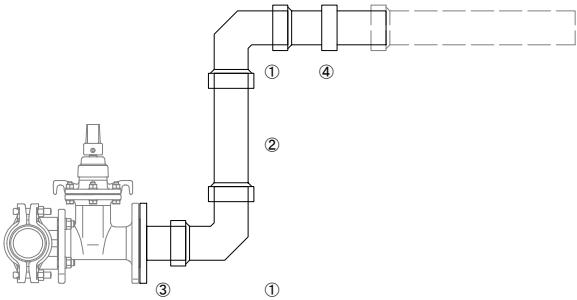
番号	名 称	形状・寸法	数量
①	90° エルボ	150A～250A	2
②	直管 0.3m	150A～250A	1
③	マルチジョイント ※1	150A～250A	1

※1 250A(既設鑄鉄管)は鑄鉄用ジョイント

数量表（撤去復旧）

番号	名 称	形状・寸法	数量
	乙切管 1.0m	50A～250A	1
	ジョイント/継輪	50A～250A	2

仮設管既設接続工（不断水分岐）
150A～250A



数量表

番号	名 称	形状・寸法	数量
①	90° エルボ	150A～250A	2
②	直管 0.3m	150A～250A	1
③	接続短管(フランジ)	150A～250A	1
④	撤去用直管	150A～250A	1

数量表（撤去復旧）

番号	名 称	形状・寸法	数量
	フランジ蓋	50A～250A	1

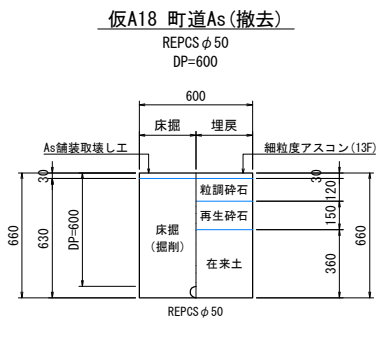
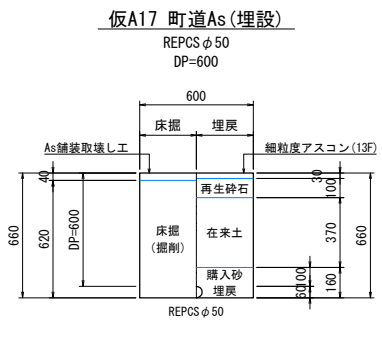
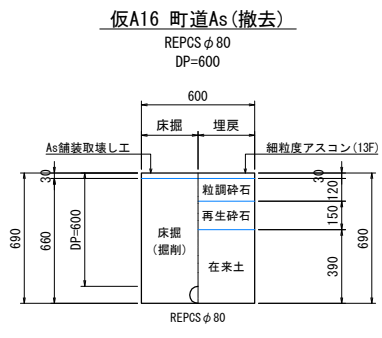
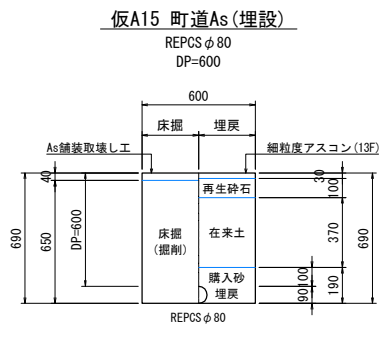
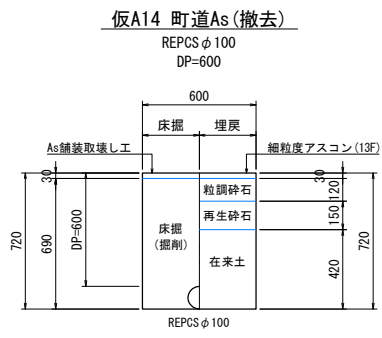
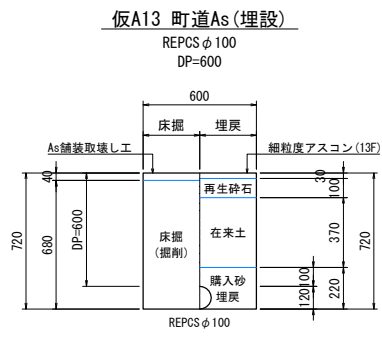
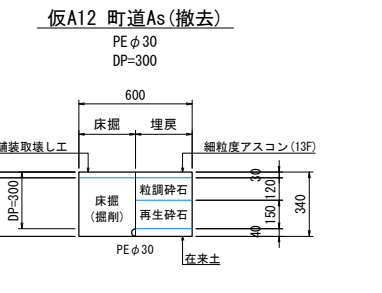
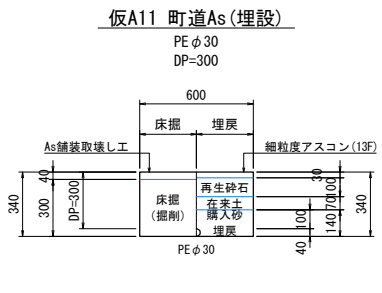
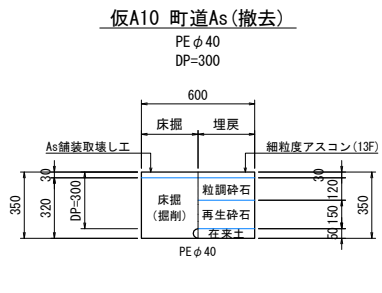
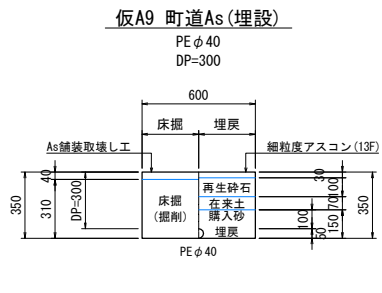
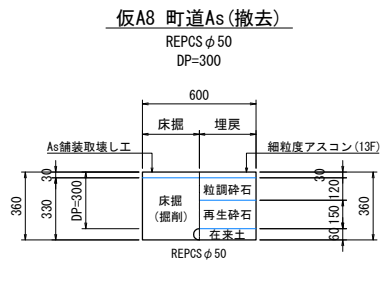
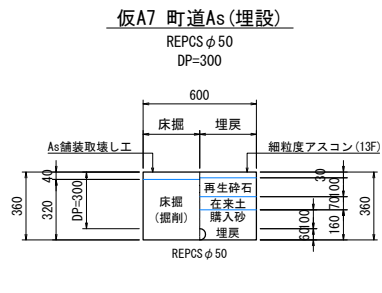
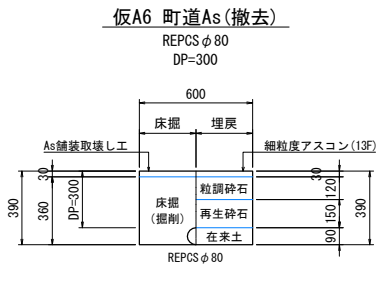
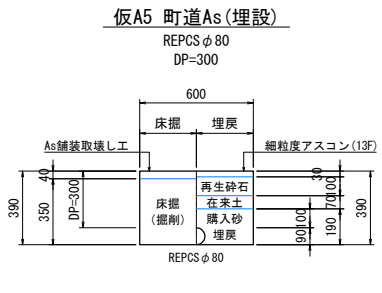
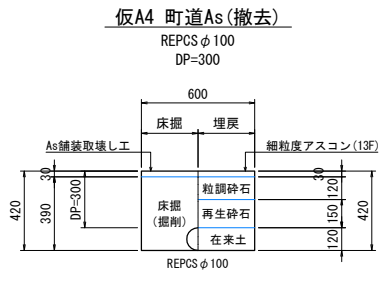
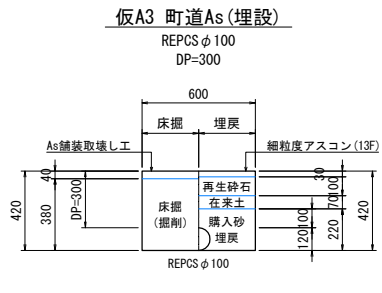
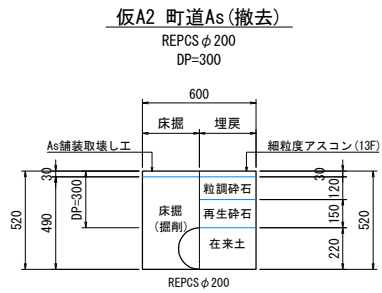
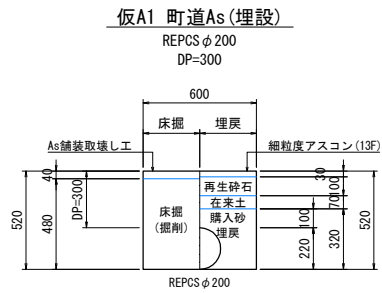
令和 7 年度	
事業名	
工事名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
箇所	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
図名	仮設配管組合わせ標準図(2/2)
縮尺	Free
図面番号	18 / 23 枚の内
宝達志水町	

令和 7年 月 日

製作

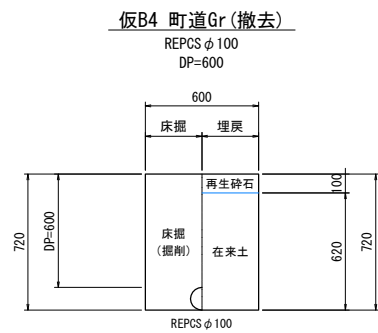
管土工図(1/4)

S=1:20



令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事 (その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	管土工図(1/4)
図名	1:20 (A1)
縮尺	19 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

S=1 : 20

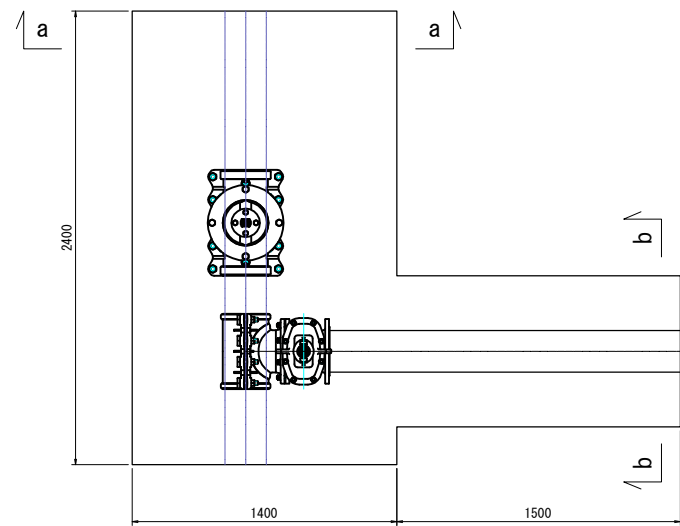


令和 7年 月 日 製作

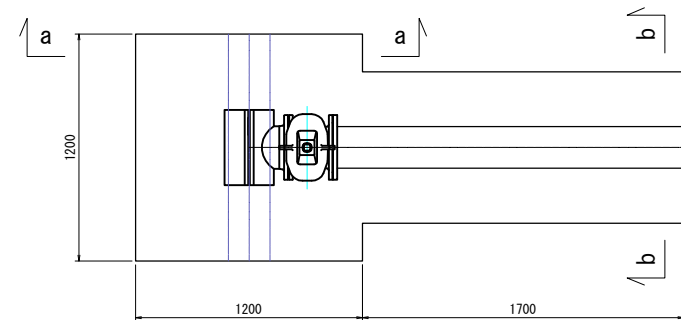
管土工図(3/4)

S=1:20

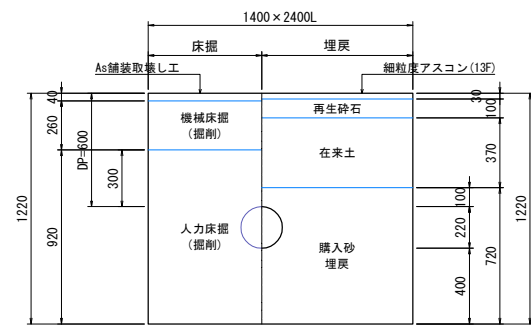
不断水分岐土工平面図
DIP φ200×REPCS φ200
DP=600



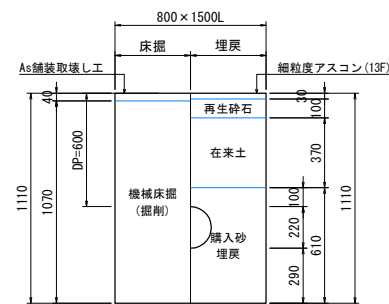
不断水分岐土工平面図
DIP φ200×REPCS φ200
DP=600



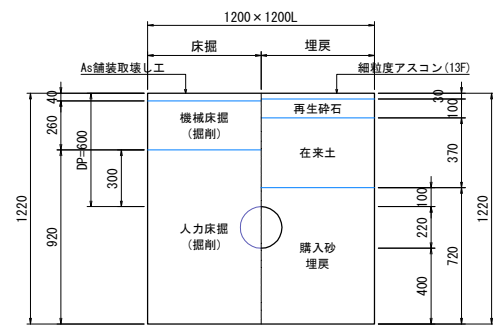
不断水分岐土工a
(a-a断面図)



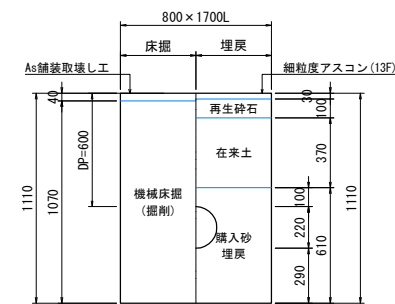
不断水分岐土工b
(b-b断面図)



不断水分岐土工a
(a-a断面図)



不断水分岐土工b
(b-b断面図)

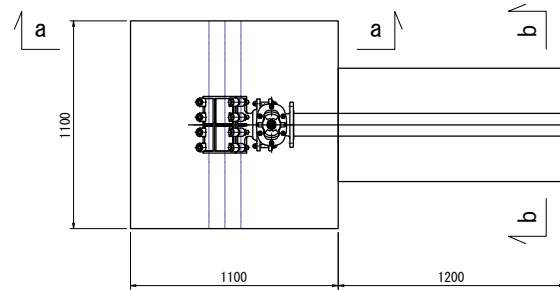


令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事(その2)
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	管土工図(3/4)
図名	1:20(A1)
縮尺	21 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

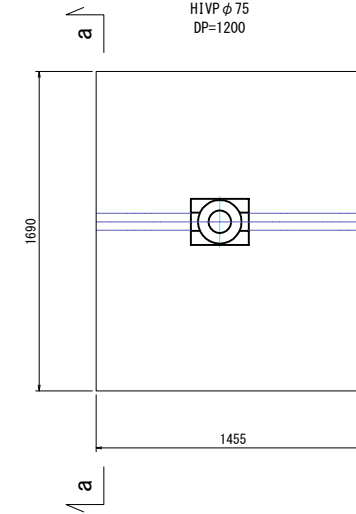
管土工図(4/4)

S=1:20

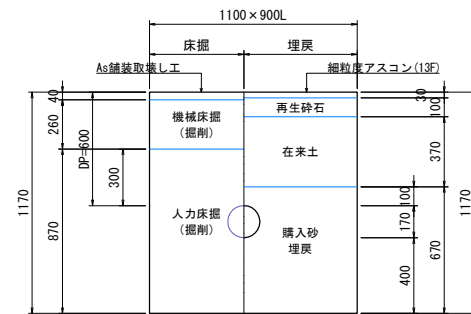
不断水分岐土工平面図
DIP φ150×REPCS φ100
DP=600



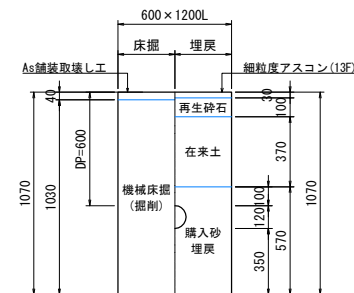
不断水弁土工平面図
HIVP φ75
DP=1200



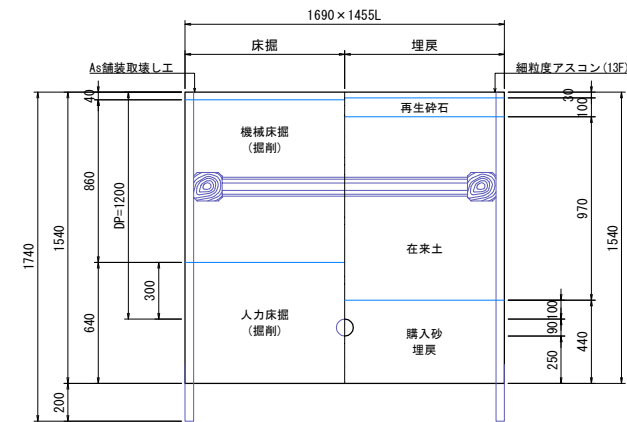
不断水分岐土工a
(a-a断面図)



不断水分岐土工b
(b-b断面図)



不断水弁土工
HIVP φ75
DP=1200



令和 7 年度	
事業名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
工事名	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
箇所	管土工図(4/4)
図名	1:20 (A1)
縮尺	22 / 23 枚の内
図面番号	宝達志水町

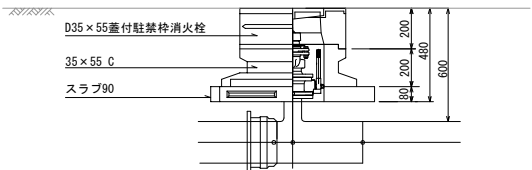
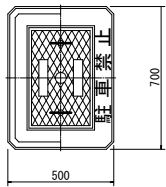
令和 7年 月 日 製作

弁室標準図

S=1:20

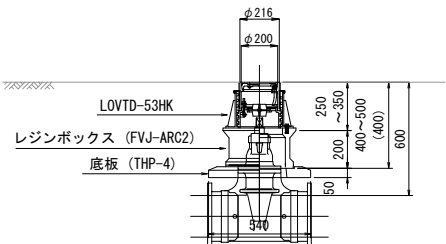
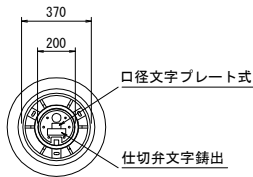
消火栓室工

H=800
φ250 DIP.GX



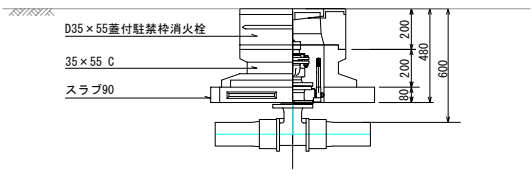
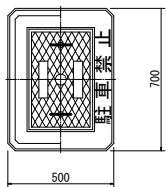
仕切弁室工図

H=600
φ200 DIP.GX



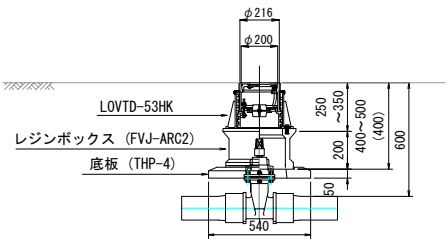
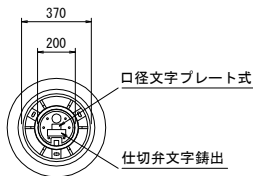
消火栓室工

H=600
φ100 HPPE



仕切弁室工図

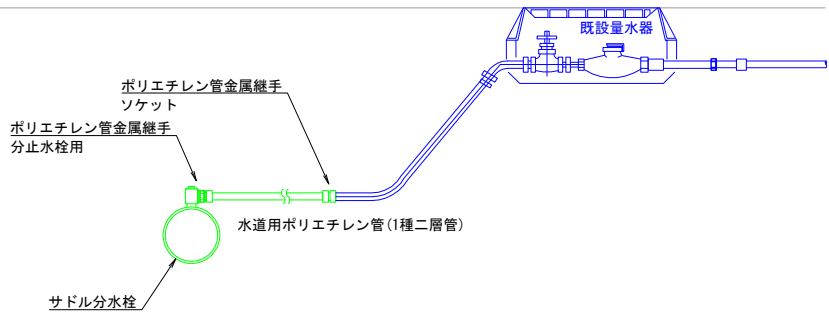
H=600
φ50, 75, 100 HPPE



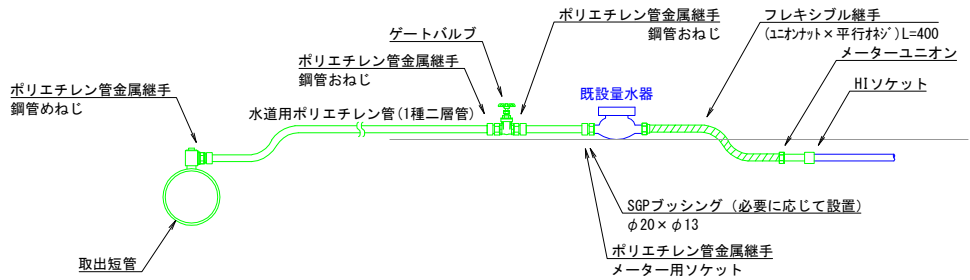
給水標準図

S=Free

本設給水管 量水器接続



仮設給水管 量水器接続



令和 7 年度	
事業名	
工事名	志雄処理区下水道災害復旧工事に伴う水道管布設替工事（その2）
箇所	羽咋郡 宝達志水町 吉野屋地内 他
図名	弁室標準図・給水管標準図
縮尺	1:20(A1)・Free
図面番号	23 / 23 枚の内
宝達志水町	

令和 7年 月 日

製作